B6FJ-7901-01

取扱説明書

ESPRIMO FHシリーズ

サポート情報のご案内

紙
マニュアル

『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』（本書）

この1冊でパソコンの取り扱い方法がわかります。

- 使用上のご注意
- 取り扱い方法
- ご購入時の状態に戻す方法
- パソコンを使うための準備
- Q＆A
- 各種お問い合わせ先

お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

Web
マニュアル
インターネットに接続してください

Web『補足情報』

『取扱説明書』の補足情報です。
細かい設定を変更する方法など説明しています。

「@メニュー」からご覧ください。

FMV
活用情報
インターネットに接続してください

AzbyClub サポート　http://azby.fmworld.net/support/

「AzbyClubサポート」には、お客様のパソコンライフを充実させる情報が満載です。

目次

4. 取り扱い

5. バックアップ

6. ご購入時の状態に戻す

7. Q&A

8. サポートのご案内

9. 廃棄・リサイクル

10. 付録

11. 仕様一覧

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをお取りください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   （1）本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   （2）前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
   本製品に「ＦＭＶ」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
   （1）弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
   また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   （2）弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   （3）本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
   記
   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞
LCD、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、キーボード、マウス、AC アダプタ、電源ユニット、ファン

消耗品について

- バッテリパックや電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について（無線 LAN 搭載機種の場合）

2.4 DS/OF 4

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- 本製品と 5GHz の周波数帯を使用する無線 LAN とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク)」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/

ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスについて

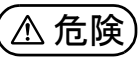
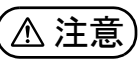
2.4DS1

上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
- 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお申しつけください。

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2011 年 10 月現在のものです。
お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■本文中での書き分けについて

このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。お使いの機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。
お使いの機種に機能が搭載されているかを「仕様一覧」や、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危険や障害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。			
破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	指のケガに注意	特定の条件において、ケガする可能性について注意を喚起します。

⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。			
一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。			
	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。		故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。

これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「▶」でつなげて記述しています。

例：(スタート) をクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」の順にクリックします。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	以降の手順が分かれることを表しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
Web	インターネットで公開している情報を表しています。参照方法は次のとおりです。 1. インターネットに接続した状態で、(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「3. ソフトを探す」の順にクリックします。 2. 「@メニュー」の画面で、「安心・サポート」▶「富士通のパソコンのマニュアルを見る」▶「このソフトを使う」の順にクリックします。
	CD や DVD などのディスクを表しています。
→	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■製品の呼び方

このマニュアルでの製品名称を、次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Ultimate 64ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	Windows または Windows 7 または Windows 7（64 ビット版）または Windows 7 Ultimate
Windows® 7 Ultimate 32ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	Windows または Windows 7 または Windows 7（32 ビット版）または Windows 7 Ultimate
Windows® 7 Professional 64ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	Windows または Windows 7 または Windows 7(64 ビット版)または Windows 7 Professional
Windows® 7 Professional 32ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	Windows または Windows 7 または Windows 7(32 ビット版)または Windows 7 Professional
Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	Windows または Windows 7 または Windows 7（64 ビット版）または Windows 7 Home Premium
Windows® 7 Home Premium 32ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	Windows または Windows 7 または Windows 7（32 ビット版）または Windows 7 Home Premium
Windows® 7 Starter 32 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	Windows または Windows 7 または Windows 7 Starter
Windows® Internet Explorer® 9	Internet Explorer 9 または Internet Explorer
Microsoft® Office Personal 2010	Office 2010 または Office Personal 2010
Microsoft® Office Personal 2010 2 年間ライセンス版	
Microsoft® Office Home and Business 2010	Office 2010 または Office Home and Business 2010
Microsoft® Word 2010	Word 2010
Microsoft® Excel® 2010	Excel 2010
Microsoft® Outlook® 2010	Outlook 2010
Microsoft® PowerPoint® 2010	PowerPoint 2010
Microsoft® OneNote® 2010	OneNote 2010
Microsoft® Office ナビ 2010	Office ナビ 2010
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Windows® Media Center	Windows Media Center
Windows Live®	Windows Live
Corel® WinDVD®	WinDVD
BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ	CD/DVD ドライブ
スーパーマルチドライブ	
ポータブル CD/DVD ドライブ	
ウイルスバスター 2012 クラウド™	ウイルスバスター
ノートン™ インターネット セキュリティ 2012	ノートン インターネット セキュリティ
マカフィー® サイトアドバイザーライブ 30 日期間限定版	サイトアドバイザーライブ
e 解説 Microsoft Office 2010 教室 （Excel+Word+PowerPoint）	e 解説 Microsoft Office 2010 教室
e 解説 Microsoft Office 2010 教室（Excel+Word）	
Roxio Creator LJ	Roxio Creator

■商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Live、Internet Explorer、Silverlight、Excel、OneNote、Outlook、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

インテル、Intel、インテル Core、Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Reader は、合衆国および／またはその他の国におけるアドビシステムズ社の登録商標または商標です。

Adobe® Flash® Player. Copyright© 1996 - 2010. Adobe Systems Incorporated. All Rights Reserved. Adobe および Flash は、合衆国および／またはその他の国における商標または登録商標です。

Roxio Creator は、Rovi Corporation の米国における登録商標または商標です。

Corel、Corel のロゴ、WinDVD は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

Corel and the Corel Paint it! are trademark or registered trademarks of Corel Corporation and/or its subsidiaries in Canada, the U.S., and/or other countries.

Symantec、Symantec ロゴは Symantec Corporation の登録商標であり、各製品名は Symantec Corporation の登録商標または商標です。

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

McAfee、マカフィー、サイトアドバイザーライブは、米国法人 McAfee,Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

「脳年齢 脳ストレス計 アタマスキャン」はセガトイズの登録商標です。

デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i- フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

e 解説は、株式会社イーフロンティアの登録商標です。

Copyright©2010 DigiBook Inc. All Rights Reserved.

デジブックは株式会社トリワークスの登録商標です。

Google は、Google Inc. の登録商標です。

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

「メモリースティック」、「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック PRO」、「メモリースティック PRO デュオ」、「メモリースティック PRO-HG デュオ」、「メモリースティック マイクロ」、「マジックゲート」および MEMORY STICK™ は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。

Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS UltraPC II Plus is a trademark, of DTS (BVI) Limited (in Hong Kong and China) and DTS, Inc. (outside of Hong Kong and China).

© DTS, Inc. All Rights Reserved.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

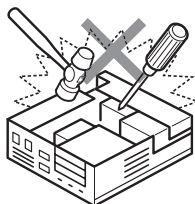
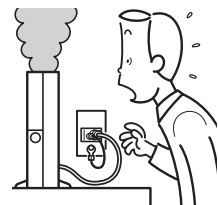
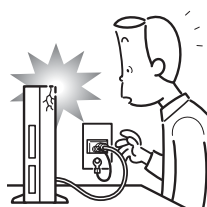
Copyright FUJITSU LIMITED 2012

安全上のご注意

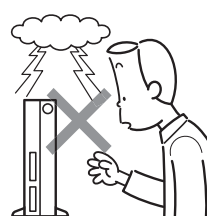
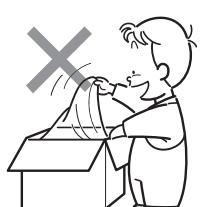
本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

パソコン本体／ AC アダプタ

⚠ 警告

本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。
万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電・火災の原因となります。

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

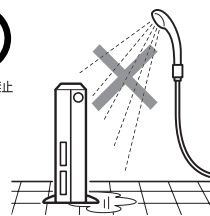
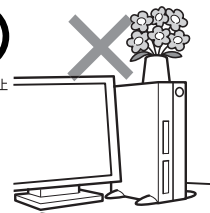
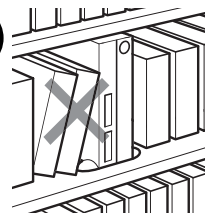
パソコンやパソコン台、テレビ台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

パソコン台やテレビ台を使う場合は、パソコンが台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、パソコンが倒れてけがや故障の原因となります。
ラックや床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

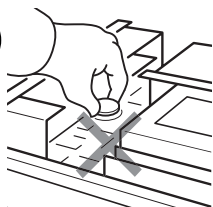
本体カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。また、作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。
お子様が手を触れると、本体および本体内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。

パソコン本体や AC アダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。また、お子様が排気孔付近に近寄らないよう注意してください。
低温やけどの原因になります。

本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。

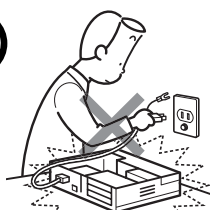
本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

清掃のときは、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
火災・故障の原因となります。

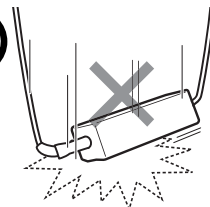
一般禁止

本パソコンの内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。
リチウム電池はご自身で交換せずに、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

パソコン本体や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけ転倒したり、パソコン本体や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。また、お子様が容易にケーブルに触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因となります。

添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

一般禁止

本体カバーを外した状態で電源ケーブルをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

一般禁止

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障・感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

⚠ 注意

使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間を空け、通風孔などの開口部をふさがないでください。また、通風孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本製品をAVラックに収納する場合は、AVラック前面にドアなどがないもの、およびAVラック背面がふさがれていないものをお使いください。
AV ラックを設置する場合は、AV ラック背面を壁などでふさがないように、壁から 10cm 以上離してください。
また、パソコンと AV ラック内側の壁との間は、10cm 以上のすき間を空けてください。(DH シリーズのみ)
火災・故障の原因となることがあります。

本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意してください。
目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。

・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

本製品を長時間使い続けるときは、1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとってください。
本製品を長時間使い続けると、近視やドライアイなどの健康障害の原因となります。

パソコン台やテレビ台の扉は、開けたままにしないでください。
扉に指をはさんだり、ひっかけたりして、けがの原因となります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

CD/DVD などのトレーやスロット、LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
けが・感電の原因となることがあります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

キーボードのキートップが外れた状態のまま使用しないでください。
内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

本製品を移動する場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。電池を取り外せる場合は、電池も取り外してください。
火災の原因となることがあります。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

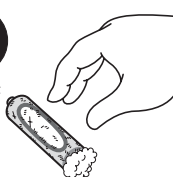
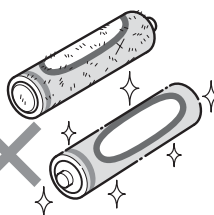
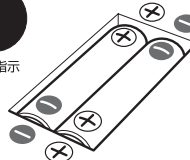
パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

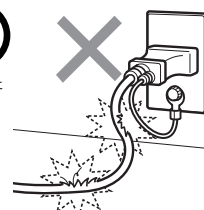
乾電池

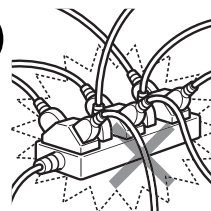
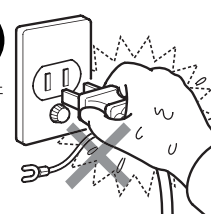
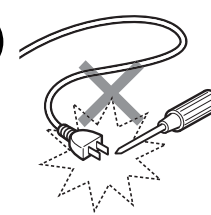
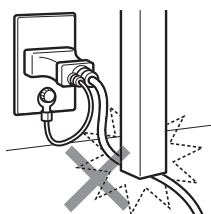
⚠ 警告

電池には以下のことをしないでください。
破裂・液もれ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。

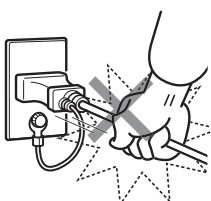
- ・ショートさせる
- ・加熱したり、火の中に入れたりする
- ・端子部分を濡らしたり、水の中に入れる
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与える
- ・乾電池を充電する
- ・ハンダ付けをする

長時間使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。
万一電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因となります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。
皮膚に障害を起こす原因となります。

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。

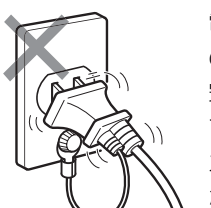
電源ケーブル

⚠ 警告

電源ケーブルが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

電源ケーブルは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。
感電・火災の原因となります。

タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源ケーブルに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
感電・火災の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。感電・火災の原因となります。

ACアダプタ本体に電源ケーブルをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。

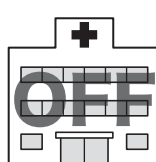
電源ケーブルはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。
1 年に一度は点検清掃してください。

電源ケーブルを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出したり断線して、感電・火災の原因となることがあります。

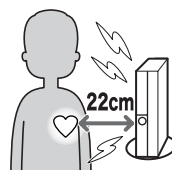
⚠ 注意

電源ケーブルは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

一般禁止

電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

無線について

⚠ 警告

無線 LAN、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの注意（搭載機種のみ）

次の場所では、パソコン本体の電源を切るか、無線通信機能をオフにしてください。
無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- 病院内や医療用電子機器のある場所
  特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- 満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

心臓ペースメーカーの装着部位からは 22cm 以上離してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。

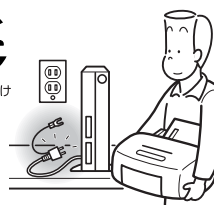
ヘッドホン

⚠ 注意

一般禁止

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

周辺機器

周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

注意

「SDメモリーカード」、「メモリースティック」の使用終了直後は、「SDメモリーカード」、「メモリースティック」が高温になっていることがあります。「SDメモリーカード」、「メモリースティック」を取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。
（使用できるメディアは、機種により異なります）

光学式マウスの底面の光を直接見ないでください。（添付機種のみ）
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メモリ（拡張 RAM モジュール）の取り付け／取り外しを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、本体のカバーを外さないでください。
感電の原因になります。

レーザの安全性について

□CD/DVD ドライブの注意

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザを使用しています。

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2007

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

警告

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・光源部を見ないでください。
CD/DVD ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線を覗きこまないでください。
レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。

・お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

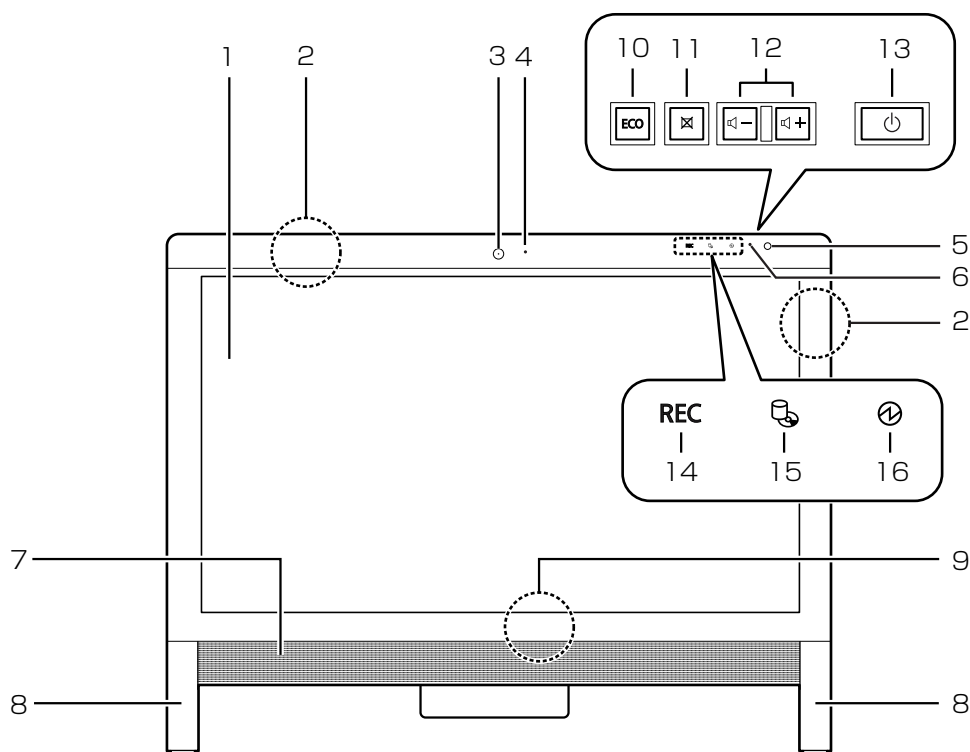
□レーザマウスの注意
（レーザマウス添付機種のみ）

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2007

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

マウス底面から、目に見えないレーザ光が出ています。クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、レーザ光を長時間、直接目に向けることは、できるだけ避けてください。

1 各部の名称と働き

パソコン本体前面

1 **液晶ディスプレイ**
入力した内容や、パソコン内のデータなどを表示します。

2 **無線 LAN アンテナ [注 1]**
無線 LAN のアンテナが搭載されています。

3 **Web カメラ**
この Web カメラは、次の機能で使用します。
・テレビ電話（→ P.91）
・ジェスチャーコントロール機能（→ P.69）
・Sense YOU Technology［センス ユー テクノロジー］（→ P.92）

4 **デジタルマイク**
テレビ電話用ソフトを利用して、音声通話ができます。

5 **リモコン受光部**
リモコンからの赤外線を受光します。

6 **明るさセンサー**
周囲の明るさを検知して、最適な輝度に自動で調整します。

7 **スピーカー**
パソコンの音声を出力します。
パソコンが電源オフ／スリープ／休止状態のときに、市販のオーディオプレーヤーをマイク・ラインイン兼用端子に接続して、外付けスピーカーとしても利用できます。（→ P.108）

8 **フット**

9 **キーボード／マウスアンテナ**
キーボード／マウスアンテナが搭載されています。

10 **ECO（エコ）ボタン**
ボタンを押すたびに、省電力モードと通常モードが切り替わります。
省電力モードについて、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。
Web『補足情報』

11 **画面オフボタン**
テレビ番組の録画中など、画面を暗くしておきたいときに押します。

12 **音量調節ボタン**

音量を調節します。

13 **電源ボタン（⏻）**

Windows をスタート／終了します。設定によって動作をかえることができます（→ P.59）。

14 **録画ランプ**

テレビ番組の録画中に点灯します。

15 **ハードディスク／ CD アクセスランプ（）**

内蔵ハードディスクや CD、DVD、Blu-ray Disc [注 2] にアクセスしているときに点滅します。

16 **電源ランプ（）**

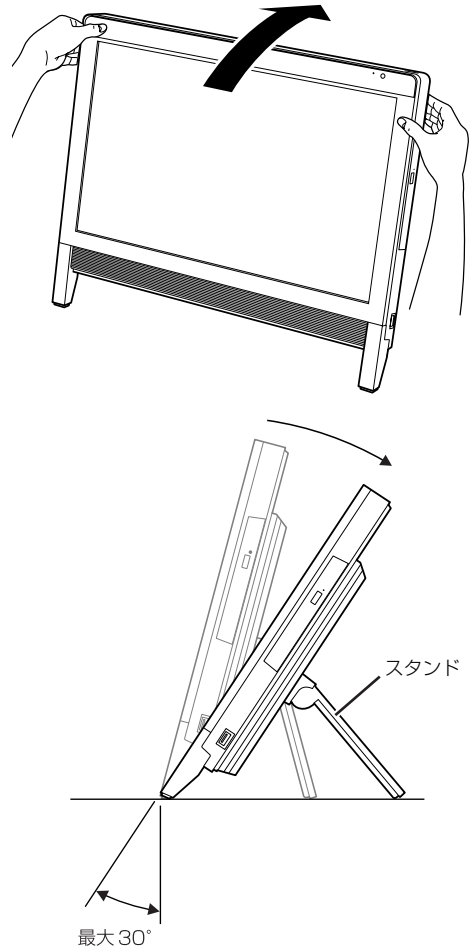
電源の状態を表示します。設定によって動作が変わります（→ P.61）。

注 1：無線 LAN 搭載機種のみ
注 2：BDXL^{TM} 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

■パソコン本体の角度の調節

パソコン本体の角度を調節できます。衝撃を与えないよう、パソコン本体の上部を左右両方とも持って矢印の向きに静かに動かして調節してください。調節するときは、パソコン本体を倒さないよう注意してください。

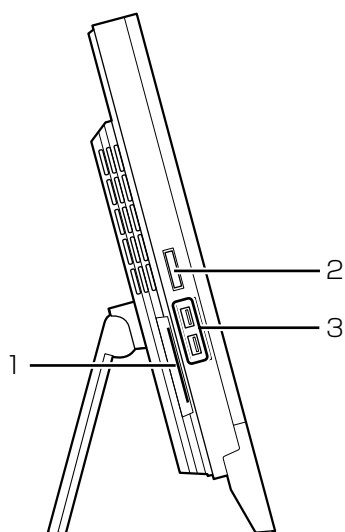
衝撃により、ハードディスクドライブや CD/DVD ドライブが故障する原因となります。

調節するときは、「パソコン本体のスタンドの角度を調節する」（→ P.34）もあわせてご覧ください。

（イラストは機種や状況により異なります）

Point

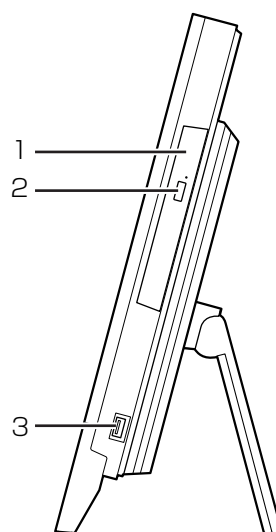
- パソコンを設置する場所が、摩擦力の高いゴム状のクッションや布マットなどの場合、スタンドがすべらずに前側が浮かび上がり、クッションやマットごとすべってしまうことがあります。
  その場合は、スタンドを手で開きながら角度を調整してください。

パソコン本体側面

左側面

1 **B-CAS カードスロット（B-CAS カード）**
B-CAS カードを差し込みます（→ P.85）。

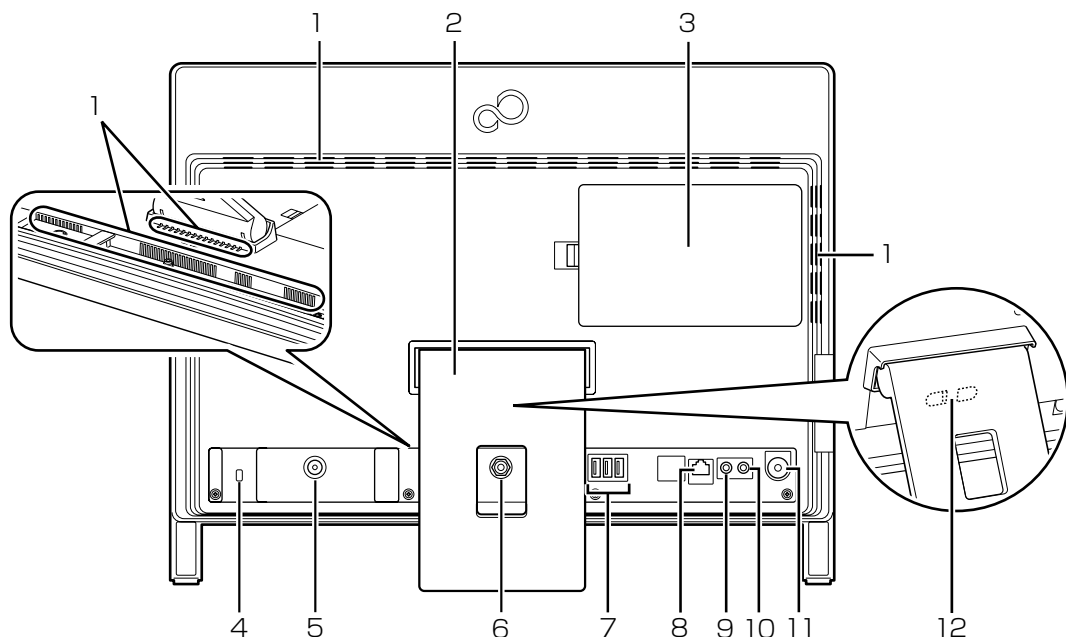
2 **ダイレクト・メモリースロット**
SD メモリーカードやメモリースティックを差し込みます（→ P.81）。

3 **USB3.0 コネクタ（SS）**
USB 規格の周辺機器を接続します。
・接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
・USB 機器の形状によっては、同時に複数の USB 機器を接続できないことがあります。

右側面

1 **BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ [注 1] またはスーパーマルチドライブ [注 2]**
ディスクの読み込み／書き込みをします（→P.74）。

2 **CD/DVD 取り出しボタン**
ディスクをセットしたり取り出したりするときに使用します（→ P.78）。

3 **USB2.0 コネクタ（電源オフ USB 充電機能対応）（ ）**
USB 規格の周辺機器を接続します。
・接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
・USB3.0 対応の周辺機器も接続できます。この場合、USB2.0 で動作します。
・このコネクタは、設定を変更することにより、電源オフ USB 充電機能を使用できます。
USB 経由での充電をサポートした周辺機器では、電源が切れた状態やスリープ／休止状態でも充電することができます。
周辺機器や電源の切り方によっては、電源オフ USB 充電機能を使用できない場合もあります。
詳しくは「電源オフ USB 充電機能」（→ P.99）をご覧ください。

注 1：BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ
注 2：スーパーマルチドライブ搭載機種のみ

パソコン本体背面

1 **通風孔**

パソコン本体内部と外部の空気を交換して熱を逃がすための開孔部です。

2 **スタンド**

パソコン本体の角度を調節できます（→ P.23）。

3 **メモリスロット**

メモリが取り付けられています。

メモリを交換するときはカバーを取り外します（→ P.100）。

4 **盗難防止用ロック取り付け穴（ ）**

盗難防止用ケーブルを接続します。

5 **DC-IN コネクタ（ ）**

添付の AC アダプタを接続します。

6 **アンテナ入力端子（地上デジタル、BS・110 度 CS デジタル）（ｲﾝﾃﾅｽ）[注 1]**

アンテナ入力端子（地上デジタル）（ｲﾝﾃﾅｽ）[注 2]

テレビアンテナと接続します（→ P.87）。

7 **USB2.0 コネクタ（ ）**

USB 規格の周辺機器を接続します。

・接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

・USB機器の形状によっては、同時に複数のUSB機器を接続できないことがあります。

・USB3.0 対応の周辺機器も接続できます。この場合、USB2.0 で動作します。

8 **LAN コネクタ（ ）**

LAN ケーブルを接続します。

9 **ヘッドホン・ラインアウト兼用端子（ ）**

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。また、設定を変更することでオーディオ機器などの音声入力端子と接続するラインアウト端子として使用することもできます。

Web『補足情報』

10 **マイク・ラインイン兼用端子（ ）**

外径3.5mmのミニプラグに対応した市販のパソコン用マイクを接続します。また、設定を変更することでオーディオ機器などの音声出力端子と接続するラインイン端子として使用することもできます。

Web『補足情報』

11 **CONNECT ボタン**

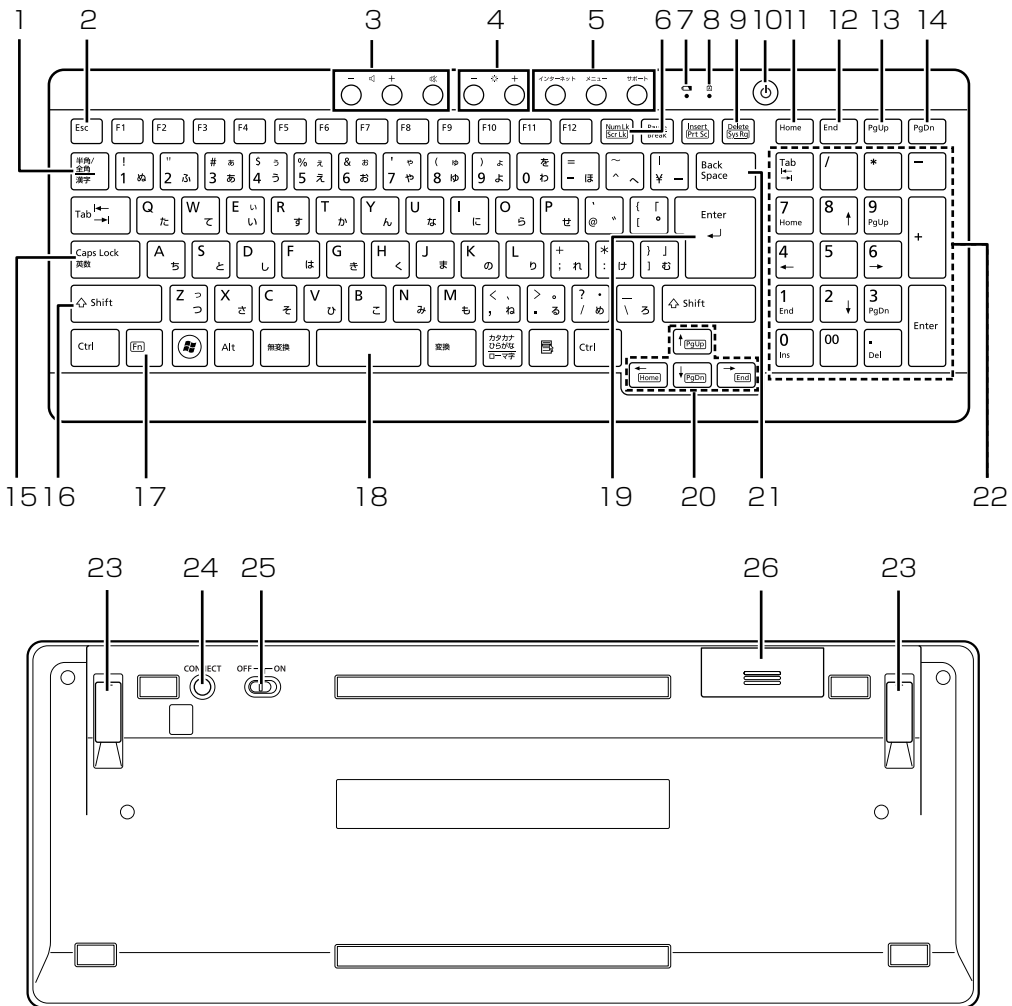
キーボードやマウスをパソコンに再認識させるときに押します（→ P.67）。

12 **転倒防止フック**

壁や柱にパソコンを固定するひもを通します（→ P.29）。

注 1：テレビチューナー（地上デジタル、BS・110 度 CS デジタル）搭載機種のみ

注 2：テレビチューナー（地上デジタル）搭載機種のみ

キーボード

1 **半角／全角キー**

キーを押すたびに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

2 **Esc キー**

現在の作業を取り消します。

3 **音量調節ボタン**

パソコン本体の音量を調節します（→ P.73）。

4 **明るさ調節ボタン**

画面の明るさを調節します（→ P.73）。

5 **ワンタッチボタン**

決められたソフトウェアをワンタッチで起動します。

・インターネット

「Internet Explorer」を起動します。

・メニュー

「@メニュー」を起動します。

・サポート

シャットダウン時以外

「サポートナビ」を起動し、「Q&A」や「日頃のメンテナンス」などのサポート機能を使うことができます。

シャットダウン時

Windows が起動しないときにも、「ハードウェア診断」や「バックアップナビ」などトラブル解決に役立つサポート機能を使うことができます。

6 **NumLK キー**

テンキーの機能を切り替えます。

有効になると画面右下に「Num Lock：On」、無効になると「Num Lock：Off」が 3 秒表示されます。

7 **状態表示ランプ**

キーボードの電池の消耗状態やパソコンとの認識状態を表示します。

8 **Caps Lock ランプ**

英大文字固定モード（英字を大文字で入力する状態）のときに点灯します。点灯時に、キーボードがスリープモードに入ると消灯します（→P.65）。

【Caps Lock】キーを押すたびにモードが切り替わります。

9 **Delete キー**

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

10 **パソコン電源ボタン（⏻）**

パソコン本体の電源を入れたり切ったりします（→ P.59）。

11 **Home キー**

カーソルを行の最初に移動します。

【Ctrl】を押しながらこのキーを押すと、文章の最初に移動します。

12 **End キー**

カーソルを行の最後に移動します。

【Ctrl】を押しながらこのキーを押すと、文章の最後に移動します。

13 **PgUp キー**

前の画面に切り替えます。

14 **PgDn キー**

次の画面に切り替えます。

15 **Caps Lock ／英数キー**

【Shift】を押しながら【CapsLock 英数】を押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

16 **Shift キー**

【Shift】を押しながら記号の刻印されているキーを押すと、そのキーの上段に刻印されている記号を入力できます。

17 **Fn キー**

このキーを押しながら□で囲まれたキー（【PgDn】など）を押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

【Fn】＋【← /Home】	カーソルを行の最初に移動します。
【Fn】＋【Ctrl】＋【← /Home】	文章の最初に移動します。
【Fn】＋【↑ /PgUp】	前の画面に切り替えます。
【Fn】＋【↓ /PgDn】	次の画面に切り替えます。
【Fn】＋【→ /End】	カーソルを行の最後に移動します。
【Fn】＋【Ctrl】＋【→ /End】	文章の最後に移動します。

18 **空白（Space）キー**

空白を入力します。

19 **Enter キー**

入力した文字を確定したり、改行したりします。

20 **カーソルキー**

カーソルを上下左右に移動します。

21 **Back Space キー**

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

22 **テンキー**

数字や記号を入力します。

23 **高さ調整用フット**

フットを起こすとキーボードに角度をつけることができます。

24 **CONNECT ボタン**

キーボードをパソコンに再認識させるときに押します（→ P.67）。

25 **電源スイッチ**

キーボードの電源を入れたり切ったりします。

26 **電池ボックス**

単 3 形電池を 1 本入れます。

重要

- キーボードは、このパソコン専用です。
  誤動作や故障の原因となる場合がありますので、他の機種のパソコンでご使用にならないでください。

2 初めて電源を入れる

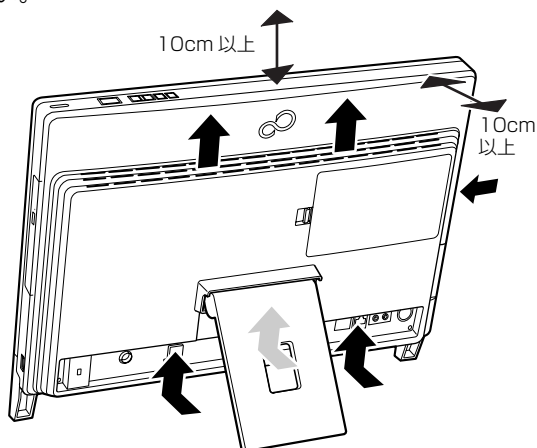
重要

- キーボードやマウス、ACアダプタや電源ケーブルなどを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。

パソコンの使用環境についての注意

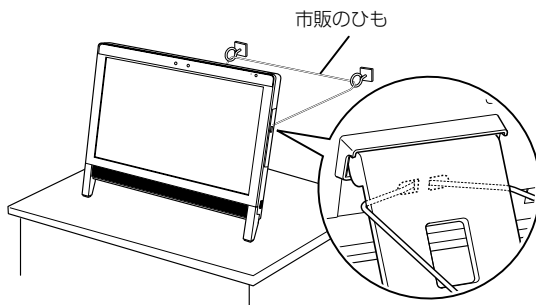
パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると、故障や破損の原因となることがあります。
内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

- パソコンをお使いになる環境の温度と湿度は、次の範囲内としてください。
  - ・動作時：温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
  - ・非動作時：温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 90%RH
- 動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。
  結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所から、温度の高い場所へ移動したときに起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 直射日光の当たる場所ではお使いにならないでください。
- 水など液体のかかる場所ではお使いにならないでください。
- 操作するのに充分なスペースを取れる場所でお使いください。
- コンセントから直接電源をとれる場所でお使いください。タコ足配線はしないでください。
- パソコン本体のそばで喫煙すると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPUファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- 台所などの油を使用する場所の近くでは、パソコンを使わないでください。
  油分がパソコン内部に入ってCPUファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所で使用すると、パソコン本体が腐食する可能性があります。
- 静電気の発生しやすい場所ではお使いにならないでください。
  パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- パソコン本体の近くで携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてください。
- パソコン本体や AC アダプタは、平らで堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコンや AC アダプタ表面が高温になることがあります。
- パソコン本体の角度を約 30°（最大角度）にした状態で、机の端から充分なスペースが取れる場所に置いてください。充分なスペースがないと角度を変更したときに、机の上から落ちることがあります（→ P.22）。
- パソコンや AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。
- AC アダプタは、パソコン使用中表面が熱くなることがあります。使用中は触れないでください。
- ほこりの多い環境では使用しないでください。ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
- 通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPUファンなどの機能を低下させる可能性があります。掃除機などで定期的にほこりなどを取り除いてください。詳しくは、「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→P.110）をご覧ください。
- 通風孔をふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 通風孔の近くに物を置いたりしないでください。通風孔からの熱で、通風孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。

●パソコン本体上部、背面や側面と壁などとの間は、10cm 以上のすき間を空けてください。
通風孔の空気の流れは、次の図の ➡ をご覧ください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

●テレビを見たり、録画したりするときは、テレビのアンテナコネクタの近くでお使いください（テレビチューナー搭載機種のみ）。
●有線 LAN をお使いになるときは、接続ケーブルが届く場所でお使いください。
●無線 LAN をお使いになるとき（無線 LAN 搭載機種のみ）は、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。
電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。
●テレビやラジオなど、電磁波の影響を受けやすいものの近くではお使いにならないでください。
●モーターやスピーカーなど、磁気を発生するものの近くではお使いにならないでください。

パソコン本体の転倒防止について

地震の場合やパソコンに寄りかかったりした場合に、パソコンが転倒することがあります。パソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、パソコン本体を固定してください。

丈夫なひもで、しっかりした壁や柱にパソコンを固定してください。壁や柱への固定に金具をご使用になる場合は、ひもが外れない形状のものをお使いください。

重要

- 地震などでのパソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や柱の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

使用上のお願い

パソコン本体の取り扱い上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- 操作に必要のない部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- パソコン本体に寄りかかったり、装置を支えにして立ち上がったりしないでください。
- スピーカー前面を強い力で押したりしないでください。
- マニュアルに記述されているところ以外は絶対に開けないでください。
- パソコン本体に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。
- 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。
- 水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
- パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

パソコンの温度上昇に関して

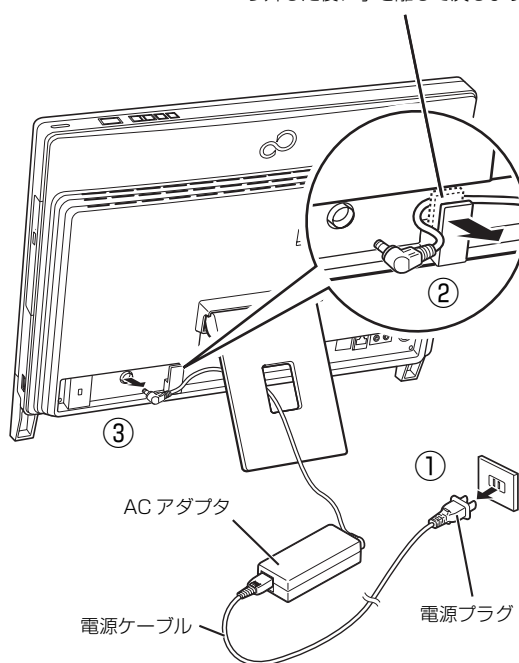
パソコンの使用中に、パソコン本体が熱をもつために温かく感じられることがありますが、故障ではありません。

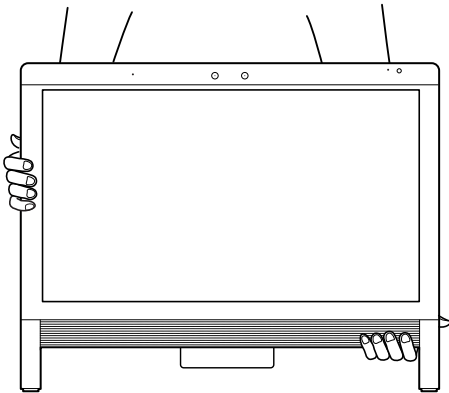
パソコン内部からの音に関して

パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがありますが、これらは故障ではありません。

- 内部の熱を外に逃がすためのファンの音
- ハードディスクがデータを書き込む音
- CD/DVD ドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音

パソコンを移動する場合の注意

- 必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、約 5 秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりハードディスクが故障する原因となります。
- AC アダプタや、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。
  AC アダプタの取り外し方は、次のとおりです。
  ①電源プラグをコンセントから抜きます。
  ②固定していたケーブルを外します。
  ③ACアダプタをDC-INコネクタから取り外します。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

●液晶ディスプレイ部分を前にして、パソコン本体下部と側面部を持ってください。
スタンド部分を持たないようにしてください。

●スピーカー部分は、押さないでください。故障や破損の原因となります。
●液晶ディスプレイ部分は、絶対に触れないでください。故障や破損の原因となります。
●パソコン本体にSDメモリーカードやメモリースティックなどをセットしている場合は、必ずSDメモリーカードやメモリースティックなどを取り外してください。
なお、使用できるメディアは、お使いの機種により異なります。

液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

●液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。
●液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。
また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。
安全のため、避雷器の設置をお勧めします。
ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

■落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類あります。
直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

●直撃雷
避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。
ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

●誘導雷
パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

■落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。
故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。
また、場合によっては、落雷によりパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

●直射日光が当たらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調整しましょう。

●画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。

●目と画面との距離を取り、疲れない位置を保って利用しましょう。

●1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。

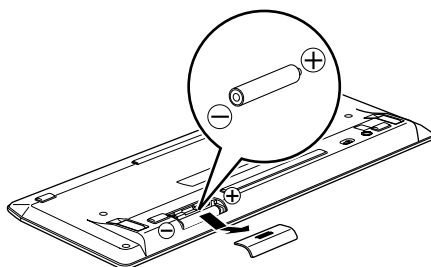
・続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間をとりましょう。

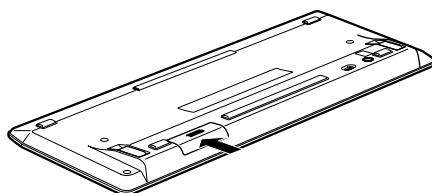
・休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

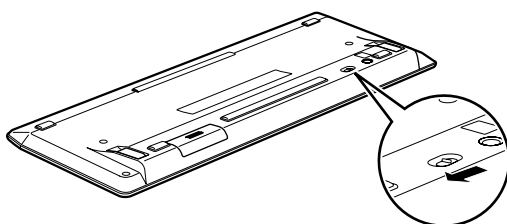
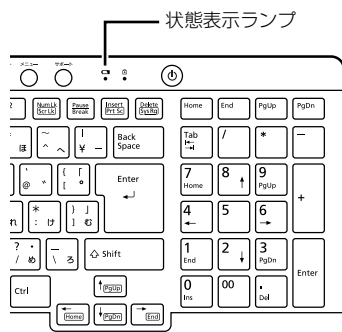
・一定の時間ごとに、休憩をおすすめするウィンドウを表示する機能などを利用しましょう（→ P.92）。

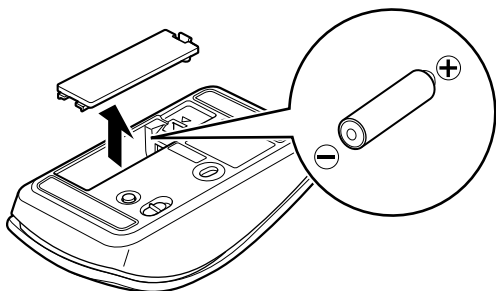
キーボード／マウスを準備する

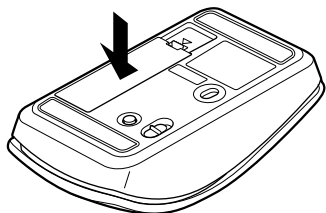
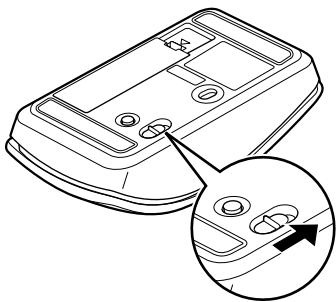
■ワイヤレスキーボード

1 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 3 形乾電池を入れます。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

乾電池を入れるときは、電源スイッチが OFF 側であることを確認し、キーボードのキーを押さないように注意して入れてください。正常に動作しなくなる場合があります。

2 電池ボックスのふたを閉めます。

3 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。

電源スイッチを ON 側にしても、状態表示ランプが緑色に点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。

■ワイヤレスマウス

1 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 3 形乾電池を入れます。

乾電池を入れるときは、マウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

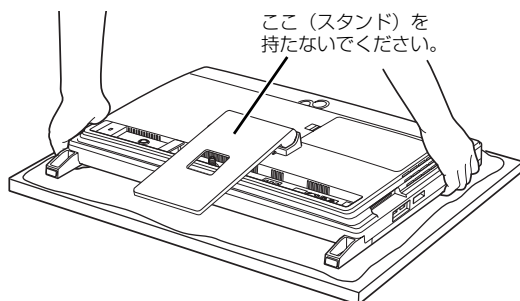
2 電池ボックスのふたを閉めます。

3 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。

電源スイッチを ON 側にしても、ステータスランプが緑色に点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。

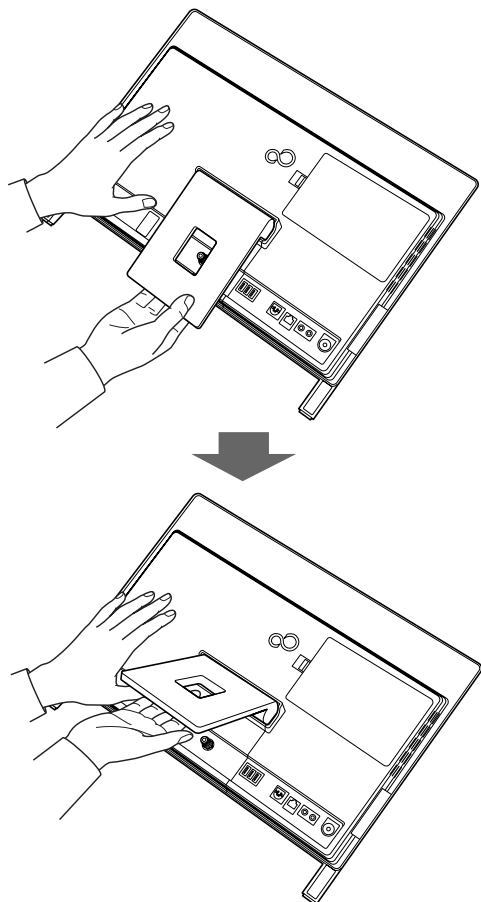
重要

- 乾電池の寿命について
  ご購入時に添付されている乾電池は、すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池または充電池に交換してください。
- 電池を入れるときの注意
  - ・アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池を使用してください。マンガン乾電池などをお使いになると、電池寿命が極端に短くなります。
  - ・＋（プラス）と−（マイナス）の向きに注意して、表示どおりに入れてください。

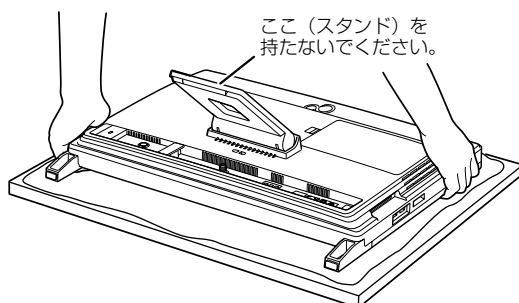
パソコン本体のスタンドの角度を調節する

1 パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。

作業は厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上でしてください。特に、液晶ディスプレイに突起物があたらないようにしてください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 パソコン本体の背面を片手で軽く押さえながら、スタンドの下側をもう片方の手で負荷がなくなるまで持ち上げます。

3 何度か角度を広げ、自然にスタンドがパソコン本体側に動くことを確認します。

静かに離すと、パソコン本体を立てたときに、使用を推奨する角度（10°）になります。

4 パソコン本体を立てます。

セットアップをするうえでの注意

初めて電源を入れるときには、Windows のセットアップが必要です。次のような点に注意してください。

■操作の途中で絶対に電源を切らないでください

途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。「Windows のセットアップをする」(→P.40)が終わるまでは、絶対に電源を切らないでください。

■セットアップ前に周辺機器を接続しないでください

別売の周辺機器(LAN ケーブル、プリンター、USB メモリ、メモリーカードなど)は、「Windows のセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。周辺機器の設定方法については、周辺機器のメーカーへお問い合わせください。

■時間に余裕をもって作業してください。セットアップには半日以上の時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

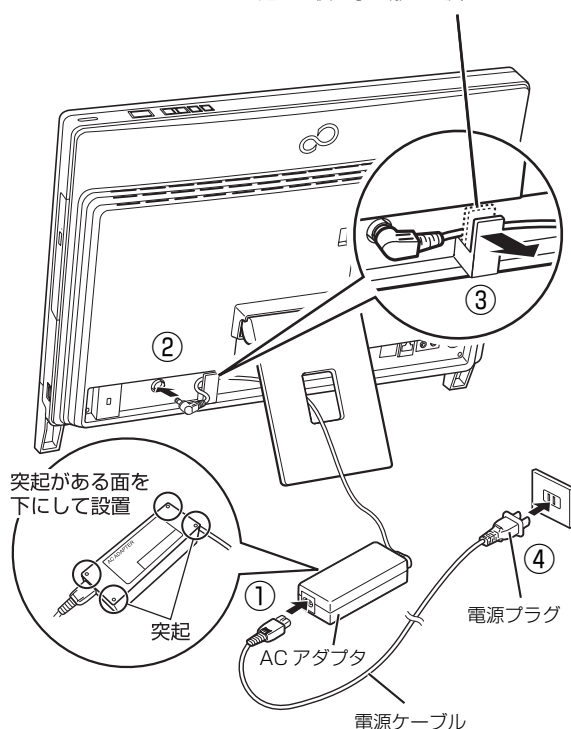
初めて電源を入れる

1 AC アダプタに電源ケーブルを接続します。

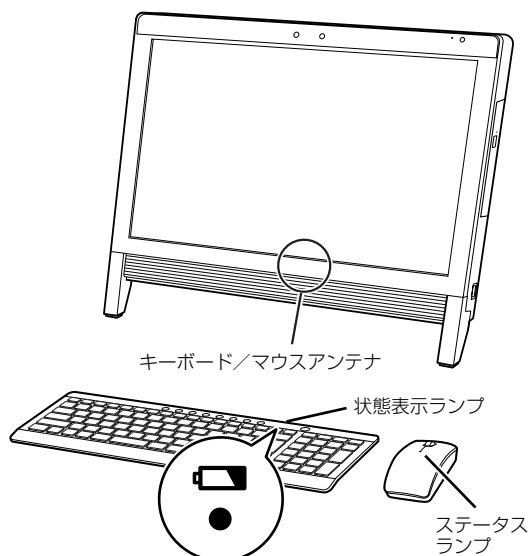
AC アダプタは、ゆるんだり抜けたりしないようにしっかりと接続してください。
また、AC アダプタの四隅に突起がある方を下にして設置してください。

2 AC アダプタをパソコン本体背面の DC-IN コネクタに接続します。

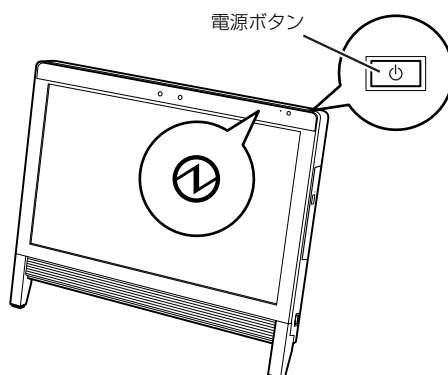
3 ケーブルを固定します。

4 電源プラグをコンセントに接続します。

(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

Point

- ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いの場合
  ACアダプタを接続した後、パソコン本体のキーボード／マウスアンテナから1mの範囲内に置いてください。

・キーボードの場合は、いずれかのキーを押します。
　状態表示ランプが点滅から点灯に変わり、約2秒後に消灯します。
・マウスの場合は、ボタンをクリックするか、マウスを動かします。
　ステータスランプが点滅から点灯に変わり、約2秒後に消灯します。
・周囲の環境によっては、まれにランプが点灯に変わらない場合があります。この場合は、キーボードまたはマウスの電源スイッチをOFF側にして電源を切り、電源を入れ直してください。

- 手順1から接続したケーブルはグラグラしていませんか？
  ケーブルが奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

5 パソコン本体の電源ボタンを押します。

6 ⏻が点灯していることを確認します。

画面にセットアップの注意事項が表示されます。

7 画面に表示される注意事項をよくご覧になり、次の操作を行ってください。

◆　セットアップの注意事項　◆

これからセットアップを開始します。
下記注意事項をよくお読みになり、セットアップを開始してください。

■時間に余裕をもって作業してください。セットアップには半日以上の時間
　をとり、じっくりと作業をすることをお勧めします。
■操作の途中で電源を切らないでください。
　途中で電源を切ると、Windowsが使えなくなる場合があります。
　セットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
■セットアップ前に周辺機器を接続しないでください。
　別売りの周辺機器（LANケーブル、プリンター、USBメモリ、メモリーカード
　など）は、Windowsのセットアップが終わるまで接続しないで
　ください。
　接続している場合は、下記【N】を押し、外してからセットアップを開始
　してください。

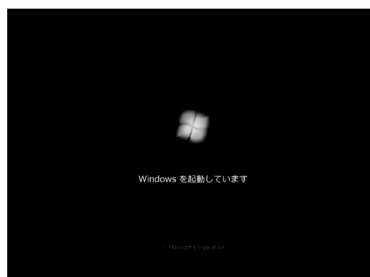
次のいずれかのキーを押してください。
【Y】：セットアップを続行します。
【N】：セットアップを中止します。（後でセットアップ）。
　　※【N】を押したあと、自動的に電源が切れます。

本画面はセットアップ完了後表示されなくなります。

セットアップを開始する場合は、【Y】を押して、次の手順に進んでください。
セットアップを中止する場合は、【N】を押して電源を切ります。再度セットアップを開始する場合は、電源を入れ直してください。

8 そのまましばらくお待ちください。

画面が何度か変化します。

「Windows のセットアップ」画面が表示されるまでお待ちください。

（画面は機種や状況により異なります）

重要

- 「Windows のセットアップ」画面が表示されるまでは、絶対に電源を切らないでください。
- しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがありますが、電源が切れたわけではありません。マウスやキーボードを操作すると元の画面に戻ります。

  画面が戻らなかった場合は、電源ボタンを押してください。

  ※電源ボタンは 4 秒以上押さないでください。電源が切れ、パソコンが使えなくなる場合があります。
- まれに、「Windows のセットアップ」画面が表示されず、次のような画面が表示される場合があります。

この場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→ P.130）をご覧になり、リカバリを行ってください。

■操作方法の確認

セットアップでは、キーボードとマウスを使います。ここでは、マウスの基本的な使い方を説明します。

1 マウスを平らな場所に置いたまますべらせると、マウスの動きに合わせて、（マウスポインター）が画面の上を動きます。

2 目的の位置にマウスポインターを合わせ、左ボタンを**カチッと 1 回**押して、すぐに離します。この操作のことを、「**クリック**」といいます。

右ボタンを 1 回押すことを「右クリック」といいます。

重要

- Windowsのセットアップなどでワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが正常に動作しない場合は、次のことを確認してください。
  - ・乾電池の向きを確認し、乾電池を入れ直してください。
  - ・電源スイッチが ON 側になっているか確認してください。
  - ・キーボードとマウスは、キーボード／マウスアンテナの近く（3m 以内を推奨）に置かれているか確認してください。

  これらのことを確認してもキーボードやマウスが正常に動作しない場合は、キーボードやマウスをパソコンに再認識させてください（→ P.67）。
- 機種によっては、写真や DVD を見たり、音楽を聴いたりしているときなど、液晶ディスプレイに Web カメラの映像が表示されることがあります。これは、手の動きだけでパソコンに触れずに操作できる「ジェスチャーコントロール機能」が自動的に起動したためです。

  ご購入時は、ジェスチャーコントロール機能に対応したソフトウェアを起動すると、自動的にジェスチャーコントロール機能が有効（オン（自動））になるように設定されています。

  ジェスチャーコントロール機能を使わない場合は、次の手順でジェスチャーコントロール機能を無効（オフ）にしてください。
  - ・「PointGrab ハンドジェスチャーコントロールの設定」ウィンドウが表示された場合
    「いいえ」をクリックしてください。
  - ・カメラ映像（「ジェスチャーコントロール機能」ウィンドウ）が表示された場合
    画面右下の通知領域にある ▲ をクリックし、表示された P をクリックし、「オフ」をクリックしてください。

この後は「セットアップする」（→ P.39）をご覧になり、セットアップを行ってください。

3 セットアップする

セットアップの流れを確認する

「Windowsのセットアップをする」（→P.40）

「セキュリティ対策ソフトの準備をする」（→P.44）

注：前の手順の「Windows のセットアップをする」で「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定をした場合は、ここでの設定は不要です。先に進んでください。

インターネットに接続しない方

「インターネットの設定をする」（→P.48）

「ユーザー登録をする」（→P.52）

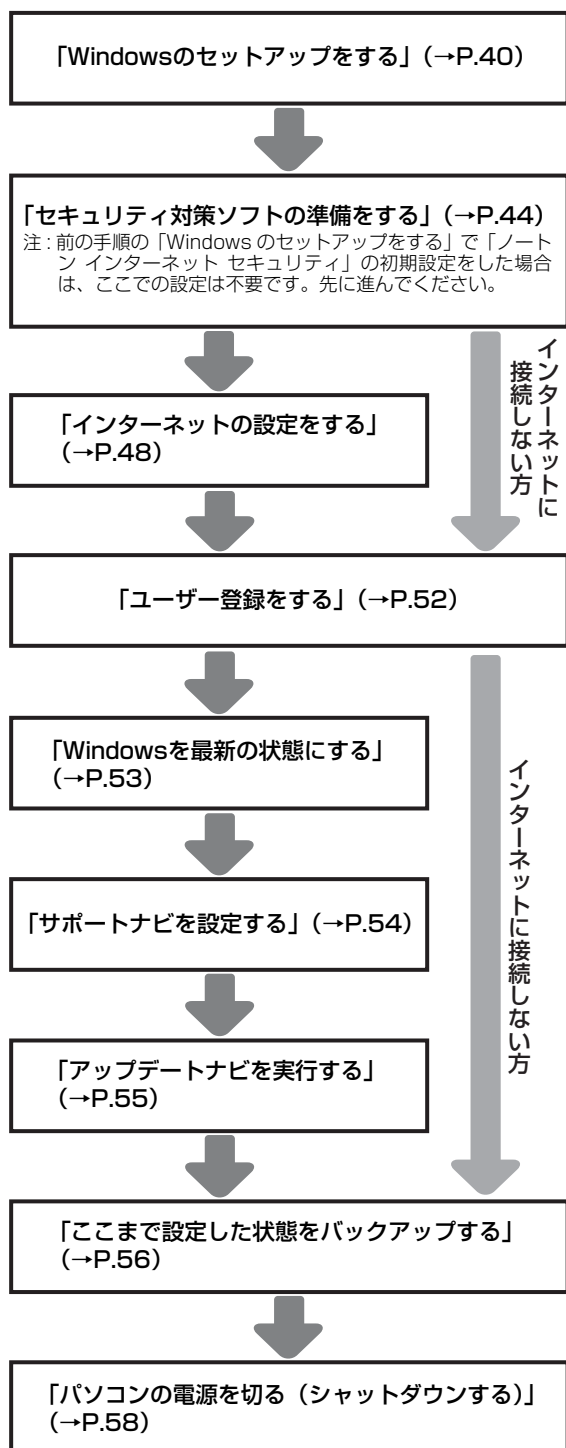
インターネットに接続しない方

「Windowsを最新の状態にする」（→P.53）

「サポートナビを設定する」（→P.54）

「アップデートナビを実行する」（→P.55）

「ここまで設定した状態をバックアップする」（→P.56）

「パソコンの電源を切る（シャットダウンする）」（→P.58）

ご利用にあたって

・セットアップが必要です
パソコンを使えるようにするには、セットアップする必要があります。

・リカバリディスクセットを作成してください
万が一に備え、セットアップ終了後、できるだけ早く作成してください（→ P.174）。

・「Office 2010」搭載機種の場合
「アップデートナビを実行する」（→ P.55）の後に、プロダクトキーの入力とライセンス認証を行ってください（→ P.56）。

・バックアップは大切です
必要なタイミングでバックアップをとってください（→ P.115）。「バックアップナビ」を使うと日々作成するデータだけでなく、C ドライブをまるごとバックアップすることもできます。

・購入時の状態に戻せます
パソコンの動作が不安定になったときは、ハードディスクのリカバリ領域のデータを使ってご購入時の状態に戻すことができます（→ P.128）。

・ハードディスクの領域の設定について
このパソコンはWindows RE領域とリカバリ領域に約 20GB 使用し、残りの容量を C ドライブ、D ドライブにそれぞれ約 50% ずつ割り当てています。
- 「Windows をセットアップする」手順 6 で C ドライブと D ドライブの割合を変更することができますが、設定には詳しい知識が必要になるため、変更しないことをお勧めします。
- C ドライブと D ドライブの割合は「トラブル解決ナビ」を使って変更することができます（→ P.176）。市販のソフトウェアなどは使用しないでください。

Windows のセットアップをする

初めてパソコンに電源を入れると、Windows のセットアップが始まります。
「初めて電源を入れる」（→ P.35）から引き続き操作を行ってください。

1 ユーザー名を入力し、「次へ」をクリックします。

ユーザー名は **12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）** でお好きな名前を入力してください。数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。
コンピューター名は、ここでは**変更しない**でください。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

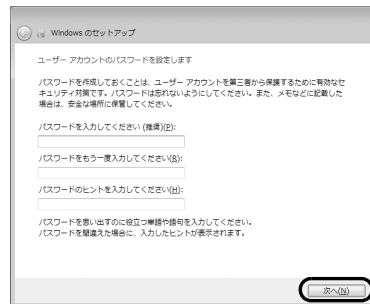
重要

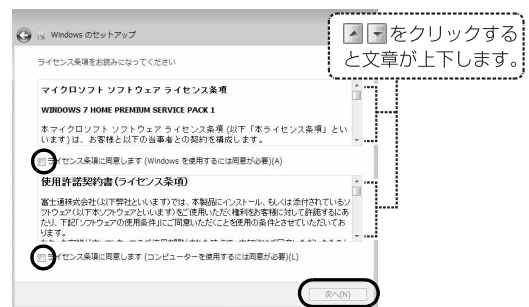
- 次の文字や文字列はユーザー名に使えませんので、入力しないでください。
  - ・@、%、/、－などの記号や空白（スペース）
  - ・CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9 の文字列
- まれに、「Windows のセットアップ」画面が表示されず、次のような画面が表示される場合があります。

（画面は一例です）

この場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して（⏻（電源）に触れて電源を入れる機種では4秒以上触れて）電源を切り、「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→P.130）をご覧になり、リカバリを行ってください。

2 「次へ」をクリックします。

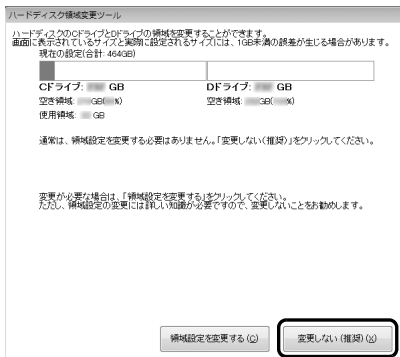
画面には「パスワードを入力してください」と表示されていますが、パスワードを入力しなくてもセットアップには問題ありません。セットアップ完了後にパスワードを設定することもできます。
またパスワードを入力した場合は、絶対に忘れないようにしてください。何かに書き留めておくなどして第三者に漏れないよう充分に注意して管理してください。

3 ライセンス条項を確認し、2ヶ所の☐をクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。

ライセンス条項に同意しないと、Windows をお使いになれません。

4 「推奨設定を使用します」をクリックします。

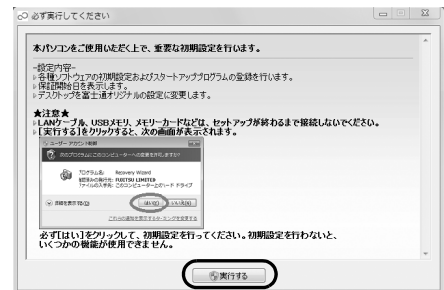
5 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

重要

- ここでは、インターネットなどネットワークに接続しないでください。
  ネットワークに接続していると、Windows のセットアップが正常に終了できない場合があります。

6 「ハードディスク領域変更ツール」ウィンドウが表示された場合は、「変更しない」をクリックします。

Point

- ここでは、ハードディスク領域の設定を変更することができます。ただし、ハードディスクの領域の設定には詳しい知識が必要になるため、変更しないことをお勧めします。
- ハードディスク領域を変更する場合は、次の手順で設定してください。
  1. 「領域設定を変更する」をクリックします。
  2. をドラッグして領域の割合を設定し、「実行」をクリックします。
  3. 「設定の確認」ウィンドウが表示されたら、内容を確認して「はい」をクリックします。
- C ドライブで使用している容量より D ドライブの容量が少ないと「バックアップナビ」を使ったバックアップができなくなる場合があります。
- 録画データを DVD や Blu-ray Disc などのディスクに書き込む場合、C ドライブには書き込むデータ分の空き容量が必要になります。

7 「必ず実行してください」ウィンドウが表示されたら、「実行する」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

Point

- セットアップ処理が正しく行われていない場合、「必ず実行してください」ウィンドウが表示されず、「リカバリしてください」ウィンドウが表示されます。「シャットダウン」をクリックして、このパソコンの電源を切ってください。その後「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→ P.130）をご覧になり、ご購入時に戻すリカバリをした後、再度セットアップを行ってください。

8 「保証期間と電話サポート無料期間表示」ウィンドウが表示されるまで、何も触らずそのままお待ちください。

お使いの機種により、10 ～ 20 分程度時間がかかる場合があります。

重要

- 「診断センターにお問い合わせください」と表示された場合は、画面の指示に従ってください。

9 保証書を用意し、保証開始日を保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、**保証期間内であっても有償**での修理となります（保証開始日はこのパソコンの電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

10 「保証期間と電話サポート無料期間表示」ウィンドウの「閉じる」をクリックし、「**いいえ**」をクリックします。

11 「Adobe® Reader®」の使用許諾契約書の画面が表示された場合は、「同意する」をクリックします。

「重要なお知らせ」という画面が表示されます。これらの画面には本パソコンをお使いになるうえで知っておいていただきたいことが記載されています。よくお読みになり、読み終わったら、[×]をクリックして画面を閉じてください。

Point

- 「重要なお知らせ」はセットアップ終了後でも、ご覧になることができます。
 (スタート)▶「富士通からの重要なお知らせ」の順にクリックしてください。

- 「Acrobat Readerのアップデート」ウィンドウが表示された場合は、「アップデートを自動的にインストールする」を選択してください。

12 「セキュリティ対策ソフトの設定」ウィンドウが表示された場合は、セキュリティ対策ソフトの設定をします。

■「セキュリティ対策ソフトの設定」ウィンドウが表示されなかった場合

手順 13 に進んでください。

■「ノートン インターネット セキュリティ」を使う場合

ここで「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定を行います。

1. ①「使用許諾契約書に同意し、ノートン™ インターネット セキュリティ（90 日無料試用版）を有効にする」をクリックします。
2. ③「決定する」をクリックします。
   「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定が開始します。
3. 「ノートン ™ インターネット セキュリティ（90 日無料試用版）の設定が完了しました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックします

■後でセキュリティ対策ソフトの設定を行う場合

1. ②「セキュリティ対策ソフトの設定は後で行う又はウイルスバスター TM（90 日無料試用版）を有効にする」をクリックします。
2. ③「決定する」をクリックします。

重要

- コンピューターウイルスや不正アクセスなど、さまざまな脅威からパソコンを守るためには、セキュリティ対策ソフトをお使いになることをお勧めします。「ノートン インターネット セキュリティ」を使いたい場合はここで初期設定を行うと後で設定しなくて済み、セットアップにかかる時間が短縮できます。
  ここで「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定を行わなかった場合も、「セキュリティ対策ソフトの準備をする」（→ P.44）でセキュリティ対策ソフトを設定できます。
- 「富士通ショッピングサイト WEB MART」で、「ノートン TM インターネット セキュリティ 2012 15ヶ月版」または「ノートン TM インターネット セキュリティ 2012 24ヶ月版」をご購入された方は、ここで「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定をすることをお勧めします。
  更新サービスの期間は15ヶ月間または24ヶ月間になります。同梱されている「アクティブ化ガイド」の内容を確認し、プロダクトキーを入力してアクティブ化してください。
- セキュリティ対策ソフトを最新の状態にアップデートして使うには、インターネット接続環境が必要になります。
- 「ノートン インターネット セキュリティ」および「ウイルスバスター」は、初期設定が完了してから 90 日間アップデートしてお使いいただけます。その後もお使いいただくには、更新手続き（有料）が必要です。

13 「設定完了」ウィンドウが表示されたら、内容を確認し、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動し、「パソコン準備ばっちりガイド」が表示されます。

Point

- LIFEBOOK の場合、これ以降マウスをお使いいただけます。

ここで一休みできます

ここでいったん電源を切って、セットアップを中断することができます。
（スタート）▶ シャットダウン の順にクリックするとパソコンの電源が切れます。

一休みした後は、セットアップを再開させ必ず完了させてください。

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

手順 12 で、「ノートン インターネット セキュリティ」を使うことにして、この後インターネットに接続する場合

手順 12 で「セキュリティ対策ソフトの設定」ウィンドウが表示されず、この後インターネットに接続する場合

「インターネットの設定をする」（→ P.48）に進んでください。
また、「「ノートン インターネット セキュリティ」をお使いになるうえでの注意」（→ P.46）もご覧ください。

手順 12 で、「ノートン インターネット セキュリティ」を使うことにして、この後インターネットに接続しない場合

手順 12 で「セキュリティ対策ソフトの設定」ウィンドウが表示されず、この後インターネットに接続しない場合

「ユーザー登録をする」（→ P.52）に進んでください。
また、「「ノートン インターネット セキュリティ」をお使いになるうえでの注意」（→ P.46）もご覧ください。

手順 12 で、後でセキュリティの設定を行うことにした場合

「セキュリティ対策ソフトの準備をする」（→ P.44）に進んでください。

セキュリティ対策ソフトの準備をする

コンピューターウイルスや不正アクセスなど、さまざまな脅威からパソコンを守るためには、セキュリティ対策ソフトをお使いになることをお勧めします。
このパソコンには、90 日間無料でお使いになれる「ノートン インターネット セキュリティ」と「ウイルスバスター」が用意されています。

重要

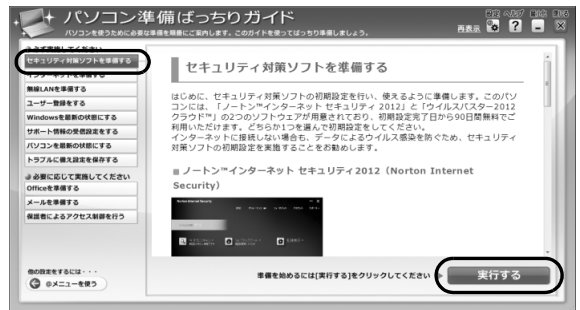
- 「富士通ショッピングサイト WEB MART」で、「ノートン ™ インターネット セキュリティ 2012 15ヶ月版」または「ノートン ™ インターネット セキュリティ 2012 24ヶ月版」をご購入された方は、「ノートン インターネット セキュリティ」を選択してください。
  更新サービスの期間は15ヶ月間または24ヶ月間になります。同梱されている「アクティブ化ガイド」の内容を確認し、プロダクトキーを入力してアクティブ化してください。
- セキュリティ対策ソフトを最新の状態にアップデートして使うには、インターネット接続環境が必要になります。
- セキュリティ対策ソフトは、初期設定が完了してから 90 日間アップデートしてお使いいただけます。その後もお使いいただくには、更新手続き（有料）が必要です。

Point

- その他のセキュリティ対策ソフトをお使いになる場合は、「ノートン インターネット セキュリティ」を削除してから、インストールしてください（→ P.45）。

セキュリティ対策ソフトを選択する

「ノートン インターネット セキュリティ」か「ウイルスバスター」のどちらか 1 つ選択して初期設定を行ってください。

1 「パソコン準備ばっちりガイド」の「セキュリティ対策ソフトを準備する」をクリックし、「実行する」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

「セキュリティ対策ソフト選択」ウィンドウが表示されます。

Point

- 「パソコン準備ばっちりガイド」画面が表示されていない場合は、デスクトップにある、（パソコン準備ばっちりガイド）をクリックします。

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

「ノートン インターネット セキュリティ」を選択したい場合

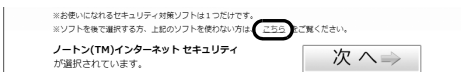
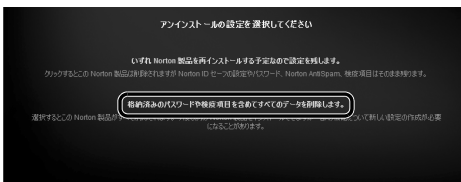
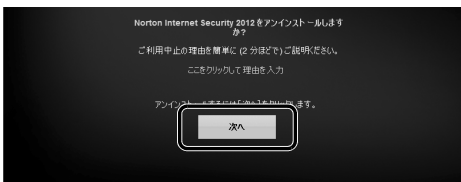
「「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定をする」（→ P.45）に進んでください。

「ウイルスバスター」を選択したい場合

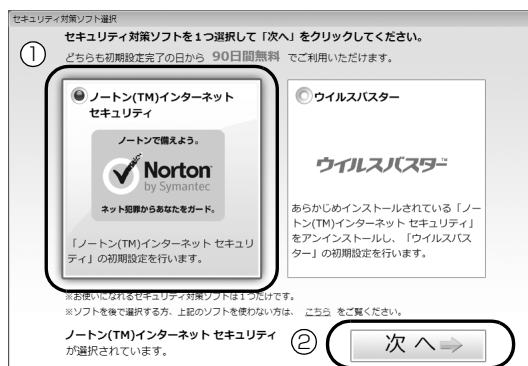
「「ウイルスバスター」の初期設定をする」（→ P.47）に進んでください。

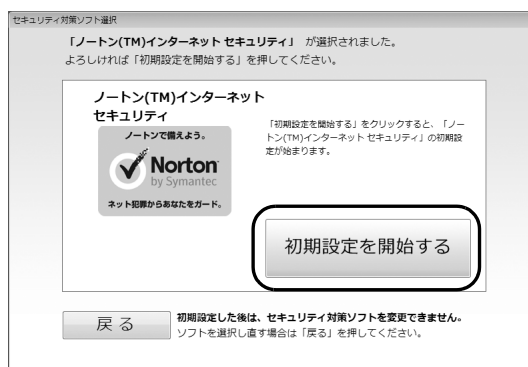
その他のセキュリティ対策ソフトを使うときは

あらかじめインストールされている「ノートン インターネット セキュリティ」の削除が必要です。
次の操作を行って、「ノートン インターネット セキュリティ」の削除を行ってください。

1. 「セキュリティ対策ソフトを選択する」(→P.44)の手順 1 で表示された「セキュリティ対策ソフト選択」ウィンドウで、「こちら」をクリックします。

2. 「このパソコンに用意されたソフトを使わない」をクリックします。
3. 「ノートン(TM)インターネット セキュリティをアンインストールする」をクリックします。
4. 「同意して次へ」をクリックします。
5. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
6. 「格納済みのパスワードや検疫項目を含めてすべてのデータを削除します。」をクリックします。

7. 「次へ」をクリックします。

8. 「今すぐに再起動」をクリックします。

「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定をする

1 次の画面の操作をします。

①「ノートン(TM) インターネット セキュリティ」を選択します。
②「次へ」をクリックします。

2「初期設定を開始する」をクリックします。

3「今すぐにアクティブ化」をクリックします。

初期設定が始まります。しばらくお待ちください。

4 「完了」をクリックします。

これで、「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定は完了です。

「ノートン インターネット セキュリティ」をお使いになるうえでの注意

■「ノートン インターネット セキュリティ」を最新の状態にする

インターネットに接続したら、LiveUpdate 機能をお使いになり、常に最新の状態に保つことをお勧めします。

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Norton Internet Security」▶「Norton Internet Security」の順にクリックします。

2 「ライブアップデート」をクリックします。

Point

- 「ライブアップデート」がクリックできない場合は、「プレインストールソフトウェアを今すぐにアクティブ化してください。」という画面で「今すぐアクティブ化」をクリックしてください。その後は画面の指示に従ってアクティブ化を完了させてください。

この後は表示される画面の指示に従って操作してください。

■更新サービスの期間

「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定を完了した日から 90 日間は、無料で最新のウイルスやスパイウェアに対するパターンファイルなどの更新サービスを受けることができます。それ以降も継続して利用される場合は、有料で更新サービスの延長をお申し込みになるか、パッケージ版をご購入ください。

更新サービスの期限が切れると、「有効期間が終了しました」画面が表示されます。更新サービスの延長をお申し込みになる場合は、「今すぐに購入」をクリックし、表示される画面に従って操作してください。

重要

- 「富士通ショッピングサイト WEB MART」で、「ノートン TM インターネット セキュリティ 2012 15ヶ月版」または「ノートン TM インターネット セキュリティ 2012 24ヶ月版」をご購入された方は、更新サービスの期間が 15ヶ月間または 24ヶ月間になります。同梱されている「アクティブ化ガイド」の内容を確認し、プロダクトキーを入力してアクティブ化してください。

Point

- 「ノートン インターネット セキュリティ」を使わず、他のセキュリティ対策ソフトを使いたい場合は、「その他のセキュリティ対策ソフトを使うときは」(→ P.45)をご覧ください。

■お問い合わせ先

「ノートン インターネット セキュリティ」については株式会社シマンテックにお問い合わせください。
「ソフトウェアのお問い合わせ先」(→ P.151)

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

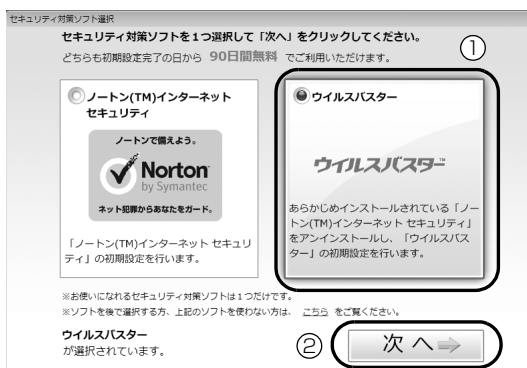
インターネットに接続する場合

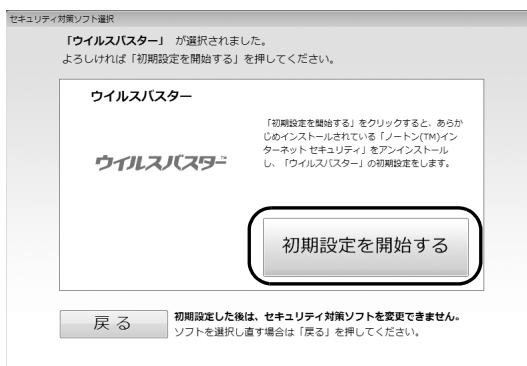
「インターネットの設定をする」(→ P.48)に進んでください。

インターネットに接続しない場合

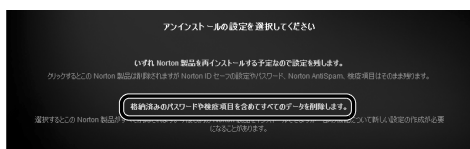
「ユーザー登録をする」(→ P.52)に進んでください。

「ウイルスバスター」の初期設定をする

1 次の画面の操作をします。

①「ウイルスバスター」を選択します。
②「次へ」をクリックします。

2「初期設定を開始する」をクリックします。

3「同意して次へ」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

4 あらかじめ準備されている「ノートン インターネット セキュリティ」を削除します。

1.「格納済みのパスワードや検疫項目を含めてすべてのデータを削除します。」をクリックします。

2.「次へ」をクリックします。

3.「今すぐに再起動」をクリックします。

5 パソコンが再起動し、次の画面が表示されたら、「同意して次へ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

6「使用許諾契約の確認」と表示されたら、「同意してインストールする」をクリックします。

7 メールアドレスの登録画面が表示されたら、「完了」をクリックします。
「ウイルスバスター」の画面が消えたらインストールは完了です。メールアドレスを入力しなくてもインストールできます。

「ウイルスバスター」をお使いになるうえでの注意

■会員契約の有効期限

「ウイルスバスター」の初期設定を完了した日から90日間は、無料で最新のウイルスやスパイウェアに対するパターンファイルなどの更新サービスを受けることができます。それ以降も継続して利用される場合は、有料で契約期間の延長をお申し込みになるか、パッケージ版をご購入ください。

会員契約の有効期限が近づくと、「契約期間終了が近づいてきました」という画面が表示されます。契約期間の延長をお申し込みになる場合は、「更新手続きをする」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

■お問い合わせ先

「ウイルスバスター」についてはトレンドマイクロ株式会社にお問い合わせください。

「ソフトウェアのお問い合わせ先」(→ P.151)

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

インターネットに接続する場合

「インターネットの設定をする」(→ P.48)に進んでください。

インターネットに接続しない場合

「ユーザー登録をする」(→ P.52)に進んでください。

インターネットの設定をする

■お使いの状況にあわせて必要な準備をしてください

- プロバイダーと契約している場合
  インターネット接続の設定方法について、ご契約のプロバイダーの指示に従って接続してください。
- 初めてインターネットを使う場合
  インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。プロバイダーとは、インターネットに接続するためのサービスを提供している企業や団体です。
  プロバイダーと契約すると、インターネットに接続するために必要な情報などが送られてきます。プロバイダーの指示に従って、パソコンの設定をしてください。

重要

- 有線LANでインターネットに接続する場合は、パソコン本体のLANコネクタ( )に、別売のLANケーブルを接続してください。
  LANコネクタの場所は、「各部の名称と働き」(→P.22)をご覧ください。設定方法については、ご契約のプロバイダーにご確認ください。
- 無線LANでインターネットに接続する場合は、「無線LANでインターネットに接続する」(→P.49)をご覧ください。
- データ通信カードやアダプターをお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信カードやアダプターに添付のマニュアルをご覧ください。データ通信カードやアダプターに関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。
- 「Internet Explorer」を初めて起動した場合、「Google ツールバー」の拡張機能の確認画面が表示されます。詳しくは「Google ツールバーの設定をする」(→ P.51)をご覧ください。

■インターネットに接続できたら

ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るために、お使いのセキュリティ対策ソフトを最新の状態にしてお使いください。

この後は、「Windowsを最新の状態にする」(→ P.53)に進んでください。

無線 LAN でインターネットに接続する

ここでは、無線LANアクセスポイントと内蔵無線LANを使って、無線LANでインターネットに接続する方法を説明します。

重要

- お使いのパソコンに無線LANが搭載されているか、「仕様一覧」（→P.183）をご覧になり、確認してください。
  無線LANが搭載されていない場合は、有線LANまたは別売の無線LANアダプターをお使いください。

Step1 無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線LANアクセスポイントを用意し、インターネットに接続する設定を行ってください。設定方法は、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

重要

- 無線LANアクセスポイントは、セキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。
  セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

Step2 無線 LAN アクセスポイントの設定を記入する

無線LANアクセスポイントに設定した情報を、次の欄に記入してください。パソコンに無線LANの接続設定をするときに、必要になります。
記入後は第三者に漏れないよう注意してください。
無線LANアクセスポイントの設定情報がわからない場合は、**無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。**

●ネットワーク名（SSID）

無線LANアクセスポイントの名前のようなものです。パソコンから接続する無線LANアクセスポイントを識別するために利用されます。

●セキュリティの種類

無線LANアクセスポイントに設定するセキュリティは、「WPA2-パーソナル（WPA2-PSK）」や「WEP」などいくつかの種類があります。
設定できるセキュリティの種類は、無線LANアクセスポイントにより異なります。

●暗号化の種類

「AES」または「TKIP」です。セキュリティの種類によっては、暗号化の種類を設定しない場合があります。

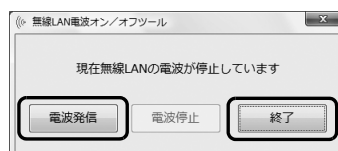
●セキュリティキー（PSK または WEP キー）

無線LANアクセスポイントにセキュリティをかけるときに設定するパスワードです。

Step3 無線 LAN の電波を発信する

パソコンの無線LANの電波が発信されているか確認します。

●ESPRIMO の場合

1. （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「無線 LAN 電波オン／オフツール」▶「無線 LAN 電波オン／オフツール」の順にクリックします。
2. 「電波発信」をクリックし、「終了」をクリックします。
   すでに電波が発信されている場合は、「終了」をクリックしてください。

●LIFEBOOK の場合

1 **パソコン本体で無線 LAN の電波が発信する状態にあることを確認します。**

確認方法は機種により異なります。

・ワイヤレススイッチがオンになっている

・ワイヤレス通信ランプが点灯している

詳しくは、「各部の名称と働き」（→ P.22）をご覧ください。

2 **画面右下の通知領域にある をクリックし、 (Plugfree NETWORK) を右クリックします。**

3 **「接続操作」▶「無線 LAN」▶「電波発信」の順にクリックします。**

すでに電波が発信されている場合は、「電波発信」がグレーに表示され選択できません。

重要

- パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより5GHz 帯の電波を停止する必要があります。この操作を行うと、現在使用している電波が2.4GHz 帯であっても、通信がいったん切断されます。(IEEE 802.11a に準拠した無線LANをお使いの場合のみ）
  1. 画面右下の通知領域にある をクリックし、 (Plugfree NETWORK) を右クリックします。
  2. 表示されたメニューから、「無線LANモニター」をクリックします。
  3. 「無線LAN電波操作」にある「5GHz モード」の 屋外 をクリックします。

Step4 パソコンの設定をする

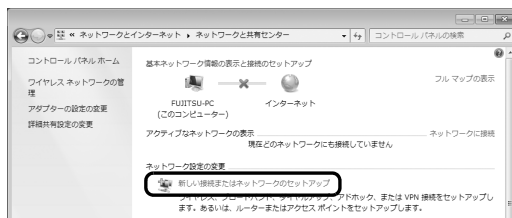
Windows 7の標準機能を使って無線LANの設定を行う方法を説明します。

1 **無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。**

無線LANアクセスポイントの電源の入れ方については、無線LANアクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。

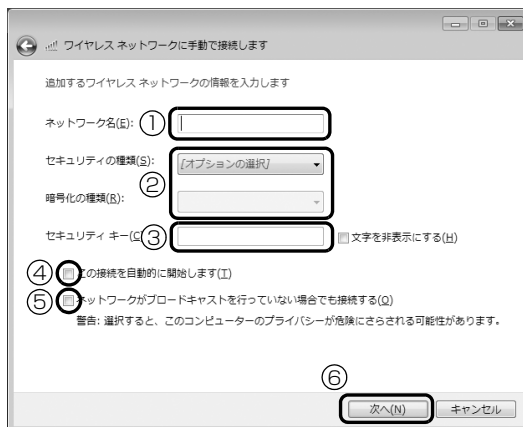
2 **(スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」順にクリックします。**

「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

3 **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。**

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4 **「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して「次へ」をクリックします。**

5 **Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報を入力し、「次へ」をクリックします。**

パソコンの設定は、無線LANアクセスポイントの設定と同じ情報を入力する必要があります。

①「ネットワーク名（SSID)」を入力します。

②「セキュリティの種類」「暗号化の種類」は、お使いの無線LANアクセスポイントの設定にあわせて選択します。

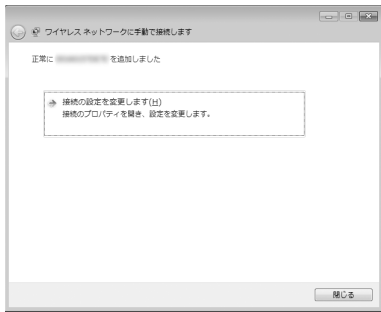
③ セキュリティキー（PSK または WEP キー）を入力します。

④「この接続を自動的に開始します」の をクリックし、 にします。

⑤ 必要に応じて「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」の をクリックし、 にします。

⑥「次へ」をクリックします。

6 正しく設定できると、「正常に○○○を追加しました」と表示されます。

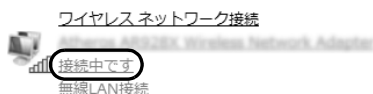
○○○には「ネットワーク名（SSID）」が表示されます。

7「Plugfree NETWORK」の「ネットワーク診断」を使って、正しく接続できたか確認します。

「ネットワーク診断」は、ネットワーク接続に関する情報を収集／分析し、ネットワークに関するトラブルの解決をサポートします。

■LIFEBOOK の場合

1. (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Plugfree NETWORK」▶「メニュー」の順にクリックします。
2. 「Plugfree NETWORK」のメニュー画面で、 (ネットワーク診断）をクリックします。
3. 「ワイヤレスネットワーク接続」が「接続中です」となっていることを確認します。

■ESPRIMO の場合

1. (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Plugfree NETWORK」▶「ネットワーク診断」の順にクリックします。
2. 「ワイヤレスネットワーク接続」が「接続中です」となっていることを確認します。

Point

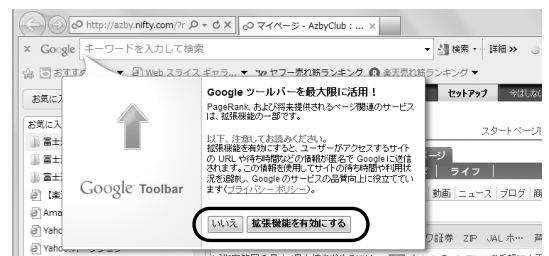
- 「ワイヤレスネットワーク接続」が「接続中です」にならなかった場合は、もう一度、Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で設定した内容を確認してください。
- 無線LANアクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定がわからない場合は、無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- プロバイダーから提供されるインターネット接続に必要な情報が正しく設定されているか確認してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

8 すべてのウィンドウを閉じます。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

Google ツールバーの設定をする

このパソコンには、インターネットの検索や閲覧に便利な「Google ツールバー」が用意されています。「Internet Explorer」を初めて起動したときに、「Google ツールバー」の拡張機能の確認画面が表示されます。次の設定を行ってください。

1「Google ツールバーを最大限に活用 !」というポップアップが表示されたら、内容を確認して、「拡張機能を有効にする」または「いいえ」のどちらかをクリックします。

Point

- 「いいえ」を選んでも、Google ツールバーの設定ボタン▶「プライバシー」タブをクリックして、拡張機能を有効に変更できます。

これで、「Google ツールバー」の設定は完了です。
基本的な使い方は、①検索ボックスに知りたい情報の名前などを入力し、②検索ボタンをクリックするだけです。
ぜひ、ご活用ください。

メールの設定をする

このパソコンには、メールソフトとして「Windows Live メール」や「Outlook 2010」（Office 2010 搭載機種のみ）が用意されています。
メールを始めるには、お使いになるメールソフトの設定を行う必要があります。設定方法については、「パソコン準備ばっちりガイド」の「メールを準備する」をご覧ください。

メールを使うには

プロバイダーから提供される次の情報をメールソフトに設定してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーやデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

- **受信（POP）サーバー**
- **送信（SMTP）サーバー**
- **メールアドレス**
- **メールアカウント名**
- **メールパスワード**

ユーザー登録をする

お客様の情報、およびこのパソコンの機種情報を登録いただくことで、お客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスを提供します。

■ユーザー登録をすると

- お客様専用の「ユーザー登録番号」が発行されます。
- 自動的に富士通パソコンユーザーの会員組織「AzbyClub（アズビィクラブ）」の会員となります。AzbyClub とは、お客様にパソコンをより楽しく快適にご利用いただくための会員組織です。入会費、年会費は無料です（2 年目以降も無料）。

ユーザー登録については、「ユーザー登録のご案内」（→ P.147）をご覧ください。

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

インターネットに接続している場合

「Windows を最新の状態にする」（→ P.53）に進んでください。

「Office 2010」搭載機種で、インターネットに接続していない場合

「「Office 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証をする」（→ P.56）に進んでください。

「Office 2010」搭載機種以外で、インターネットに接続していない場合

「ここまで設定した状態をバックアップする」（→ P.56）に進んでください。

Windows を最新の状態にする

「Windows® Update」は、マイクロソフト社が提供するサポート機能です。Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。ウイルスや不正アクセスを防ぐための対策もされるので、定期的に実行してください。

重要

- 「Windows® Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

Point

- 手順 3、4 は初回のみ必要です。

1 インターネットに接続されているか確認します。

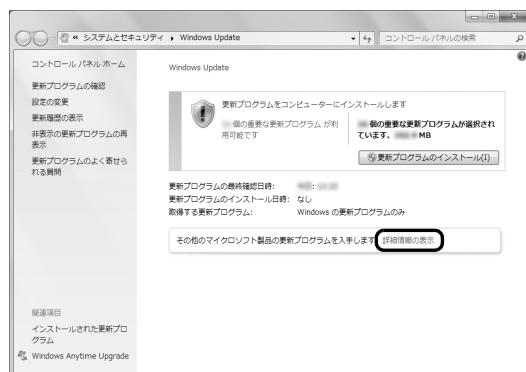
2 「パソコン準備ばっちりガイド」の「Windows を最新の状態にする」をクリックし、「実行する」をクリックします。

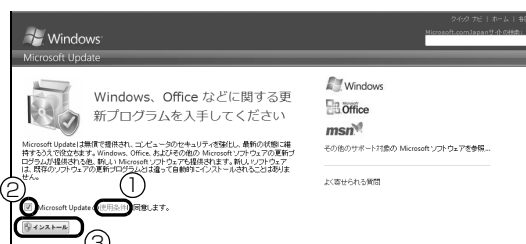
（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

Point

- 「パソコン準備ばっちりガイド」画面が表示されていない場合は、デスクトップにある、（パソコン準備ばっちりガイド）をクリックします。

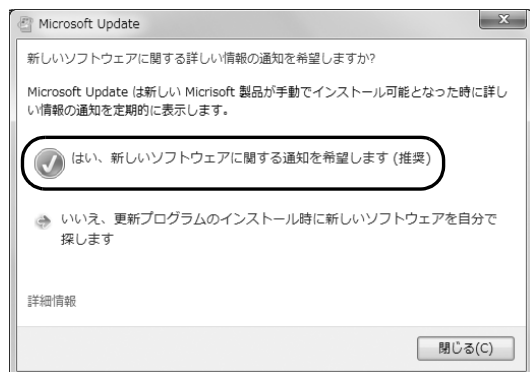
3 「詳細情報の表示」または「詳細についてはここをクリックしてください。」をクリックします。

初めて「Windows® Update」を行う場合は、「Microsoft Update」の設定を行います。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4 「使用条件」をご覧になったうえで使用条件に同意し、「インストール」をクリックします。

① 「使用条件」をクリックすると、「マイクロソフトの使用条件」ウィンドウが表示されます。
② □をクリックして、☑にします。
③ 「インストール」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

![Point]

- Microsoft Update の画面が表示されず、次の画面が表示された場合は、「はい、新しいソフトウェアに関する通知を希望します」をクリックします。

5 この後は画面の指示に従って操作してください。

Point

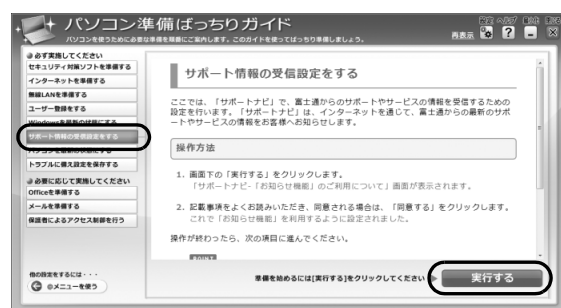
- 「Windows Update」ウィンドウが表示されなかった場合は、次の手順で更新プログラムのインストールを行ってください。
  1. (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」の順にクリックします。
  2. 「更新プログラムの確認」をクリックし、画面の指示に従ってください。

サポートナビを設定する

「サポートナビ」で、このパソコンに関する富士通のサポートやサービスの最新情報を確認することができます。

1 「パソコン準備ばっちりガイド」画面の「サポート情報の受信設定をする」をクリックし、「実行する」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

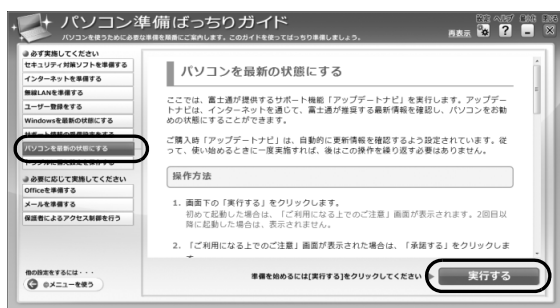
Point

- 「パソコン準備ばっちりガイド」画面が表示されていない場合は、デスクトップにある、(パソコン準備ばっちりガイド)をクリックします。

2 「サポートナビ -「お知らせ機能」のご利用について」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。

これで「お知らせ機能」の設定は完了です。

アップデートナビを実行する

「アップデートナビ」で、このパソコンに関連するドライバーやソフトウェアの最新情報を確認し、更新することができます。

1 「パソコン準備ばっちりガイド」の「パソコンを最新の状態にする」をクリックし、「実行する」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

Point

- 「パソコン準備ばっちりガイド」画面が表示されていない場合は、デスクトップにある、（パソコン準備ばっちりガイド）をクリックします。

2 「ご利用になる上でのご注意」の画面が表示されたら内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。

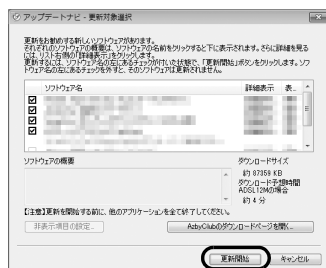
「アップデートナビ」が最新情報を確認します。しばらくお待ちください。お使いの機種や状況によっては、20分程度時間がかかる場合があります。

3 更新項目を確認します。必要に応じて概要、詳細をご覧ください。

更新したくない項目がある場合は、その項目の左にある☑をクリックして□にします。通常は、すべての項目を更新することをお勧めします。

Point

- 「お使いの環境がお勧めの状態です」と表示されたら、更新は必要ありません。「閉じる」をクリックし、アップデートナビを終了させてください。

4 「更新開始」をクリックします。

選択されたソフトウェアの更新が始まります。

Point

- 「更新開始確認」画面が表示されたら、「アップデートナビ」以外のソフトウェアを終了させ、「更新開始確認」画面に従って操作を進めてください。

5 パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動し、更新が完了します。

再起動を要求するメッセージが表示されない場合は、これで完了です。

Point

- 「アップデートナビ」は自動で最新情報が通知されるように設定されています。画面右下の通知領域にメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってください。

「Office 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証をする

「Office Home and Business 2010」搭載機種、「Office Personal 2010」搭載機種 、Microsoft® Office Personal 2010 2 年間ライセンス版

「Office 2010」の初回起動時にプロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。詳しくはパッケージに同梱されている「お使いになる前に」をご覧ください。

Point

- パソコンをご購入時の状態に戻すリカバリ後、「Office 2010」をインストールする場合、プロダクトキーの入力はインストール中に行います。初回起動時にはライセンス認証のみ行います。

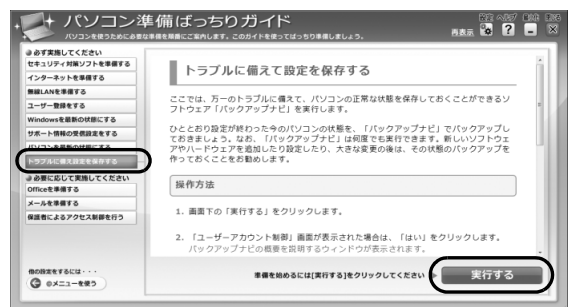
- プロダクトキーはパッケージ内のディスクケース裏面に貼付されています。絶対に紛失しないように大切に保管してください。
- ライセンス期間中にパソコン本体を修理した場合は、再度ライセンス認証が必要になることがあります。
- ライセンス認証ができない場合には、「ソフトウェアのお問い合わせ先」(→ P.151)をご覧になり日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
- 「Office 2010」の初回起動時にプロダクトキーの入力をする場合、途中でキャンセルし、再度プロダクトキーの入力をしようとするとパソコンが予期せず再起動する場合があります。プロダクトキーの入力を始めたら「Office 2010」を使えるようになるまで操作を中断しないでください。
- テレビチューナー搭載機種およびワイヤレス TV 対応機種をお使いの場合は、テレビ番組の録画中や予約録画時間を避けて、プロダクトキーの入力とライセンス認証を行ってください。なお、テレビ番組の録画や予約録画が開始してしまったときは、録画の終了を確認してからパソコンを再起動してください。

ここまで設定した状態をバックアップする

いざというときに復元できるように「バックアップナビ」で「パソコンの状態」をバックアップしてください。

重要

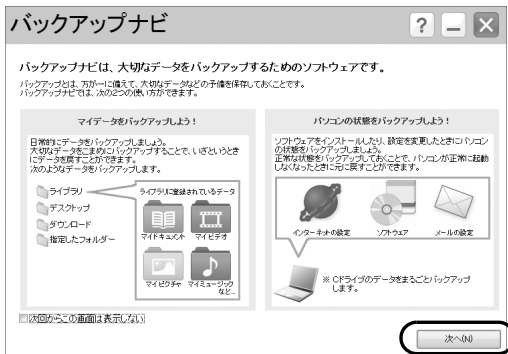
- 「バックアップナビ」で「パソコンの状態」をバックアップした後、ハードディスクの領域を変更するとバックアップが消えてしまいます。
「パソコンの状態」のバックアップデータは、外付けハードディスクなど、このパソコンのハードディスク以外の場所にコピーしておくことをお勧めします。
詳しくは、「「パソコンの状態」のバックアップデータをコピーする」(→ P.123)をご覧ください。
- 「バックアップナビ」は、すべてのデータのバックアップ/復元を保証するものではありません。また、著作権保護された映像や音楽などはバックアップ/復元できない場合があります。

1 「パソコン準備ばっちりガイド」の「トラブルに備え設定を保存する」をクリックし、「実行する」をクリックします。

(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

Point

- 「パソコン準備ばっちりガイド」画面が表示されていない場合は、デスクトップにある、(パソコン準備ばっちりガイド)をクリックします。

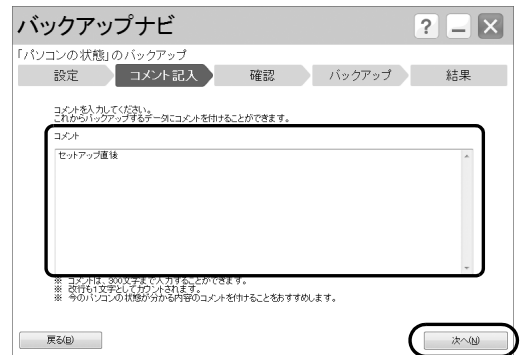
2 「バックアップナビ」の概要を説明するウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。

3 次の画面の操作をします。

①「バックアップする」タブをクリックします。
②「パソコンの状態」をクリックします。

4 次の画面の操作をします。

①「D ドライブ」を選択します。
②「パソコンの電源を切る」を選択します。
③「次へ」をクリックします。

5 コメント入力域に、「パソコンの状態」のバックアップに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

「セットアップ直後」など、どの時点の「パソコンの状態」のバックアップかがわかるように、コメントを入力してください。

6 内容を確認し、「次へ」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動し、「パソコンの状態」をバックアップした後、電源が切れます。

これで、指定したドライブに「パソコンの状態」がバックアップされました。

Point

- バックアップ後、初めてWindowsを起動したときに、「バックアップナビ」が起動し、パソコンのバックアップが完了したというメッセージが表示されます。「完了」をクリックして、画面を閉じてください。

「リカバリディスクセット」を作る

「リカバリディスクセットを作っておく」（→ P.174）をご覧になり、できるだけ早く「リカバリディスクセット」を作ってください。

このパソコンには、トラブルに備えて、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に、ご購入時の C ドライブの中身が保存されています。パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に復元できます。
万が一リカバリ領域のデータを利用できなくなる場合に備え、「リカバリディスクセット」を作成することをお勧めします。

Point

- リカバリディスクセットの作成には長時間かかります。時間に余裕をもって作業をしてください。
  またリカバリディスクセットは購入できます。購入方法については「ディスクが必要な場合」（→ P.129）をご覧ください。

パソコンの電源を切る（シャットダウンする）

セットアップが終了したらパソコンの電源を切ります。電源を切ることをシャットダウンといいます。
シャットダウンする前に、作業中のデータはないか、もしくはCD/DVD ドライブにディスクが入ったままになっていないか（CD/DVD ドライブ搭載機種のみ）を確認してください。

1 （スタート）▶ シャットダウン の順にクリックします。

しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます。

Point

- 電源を切る操作ができないときは、「起動・終了」（→ P.137）をご覧ください。

4 取り扱い

Windows をスタートする／終了する

クイックスタート機能について

このパソコンには、クイックスタート機能が搭載されています。クイックスタート機能では、パソコンの電源を切らずに Windows を終了するため、次にパソコンを使うときに、高速でスタートさせることができます。
クイックスタート機能には、クイックモードとエコクイックモードの 2 種類のモードがあります。
各モードでの Windows がスタートするまでの時間と終了後の消費電力の関係は、次の表のとおりです。

	Windows がスタートするまでの時間	消費電力
クイックモードで終了	速 ↑	↓
エコクイックモードで終了		
パソコンの電源を切る（シャットダウン）		低

（消費電力はお使いの機種により異なります）

Point

- クイックモードで終了すると、Windowsをログオフした後、スリープに移行します。エコクイックモードで終了すると、Windows をログオフした後、休止状態に移行します。スリープおよび休止状態について、詳しくは Web『補足情報』をご覧ください。
- クイックモードまたはエコクイックモードで終了したときは、パソコンの電源は切れません。電源を切りたいときは、シャットダウンしてください（→ P.58）。

ご購入時は、クイックモードに設定されています。モードを変更するときは次のように操作してください。

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「クイックスタート設定」▶「クイックスタート設定」の順にクリックします。

2「クイックスタート設定」画面でモードを選択し、「設定を保存」をクリックします。

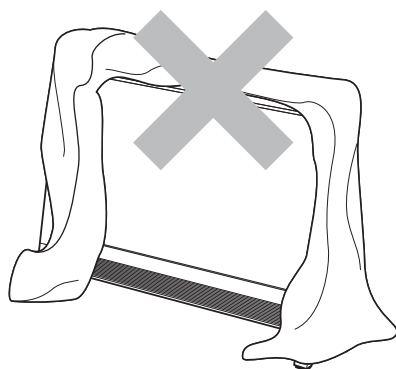
クイックスタート機能については、Web『補足情報』もあわせてご覧ください。

Windows をスタートする

⚠ 注意

- 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。

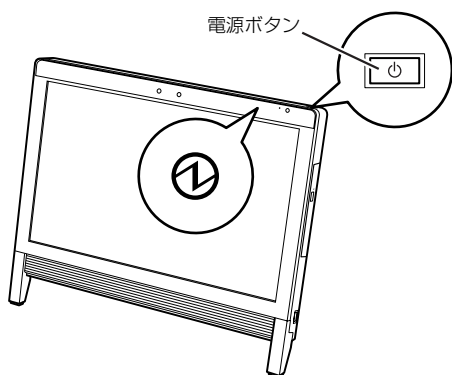
重要

- 電源を入れるときの注意
  - ・ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
  - ・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
  - ・パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してから電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良、故障、または破損の原因になることがあります。

・電源を入れた後は、Windows がスタートするまで電源を切らないでください。途中で電源を切ると、パソコンの動作が不安定になります。
・電源を入れてから Windows がスタートするまでは、キーボードやマウスなどで操作しないでください。正常にスタートできない場合があります。

1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。

2 AC アダプタがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 パソコン本体の電源ボタンを押します。

電源ボタンを、4 秒以上押すとパソコンの電源が強制的に切れてしまいます。データが失われる場合もありますので、ご注意ください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

電源ランプが白く点灯し、Windows がスタートします。

Point

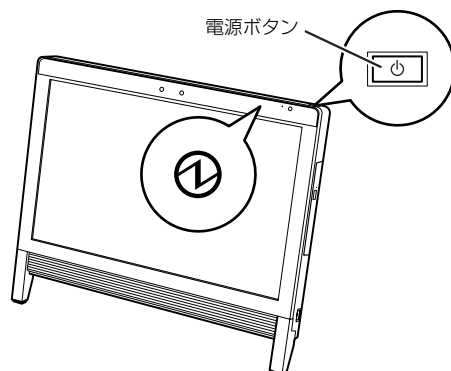
- 電源を入れる方法はいろいろあります。
  ・キーボードのパソコン電源ボタンを押す
  ・リモコンのパソコン電源ボタンを押す（リモコン添付機種のみ）
- Windowsのログオンパスワードを設定すると、パソコンをスタートしたときにパスワードを入力する画面が表示されるようになります。
  パスワードを入力し、をクリックしてログオンしてください。詳しくは、(スタート)▶「ヘルプとサポート」の順にクリックしてWindows のヘルプを表示し、「パスワード」で検索して「コンピューターをパスワードで保護する」をご覧ください。
- Windows がスタートしない場合は、「起動・終了」（→ P.137）をご覧ください。
- 機種によっては、Windows スタート時に「ジェスチャーコントロール機能」ウィンドウが一時的に表示されます。
  ジェスチャーコントロール対応ソフトウェアを起動したときにも、この画面が表示されます。
  ジェスチャーコントロール機能を使わない場合は、次の手順でジェスチャーコントロール機能を無効にしてください。
  1. 画面右下の通知領域にある をクリックし、表示された を右クリックし、「オフ」をクリックします。

Windows を終了する

重要

- クイックモード、およびエコクイックモードでWindows を終了するときは、デスクトップ画面が表示されている状態で終了してください。
コンピューターのロックをした状態では、クイックモードやエコクイックモードでWindowsを終了することはできません。
- Windowsを終了する前に、作業中のデータがある場合は保存してください。また、CD/DVD ドライブにディスクが入っている場合は取り出してください。
- 次のような場合は、「パソコンの電源を切る（シャットダウンする）」（→ P.58）をご覧になり、電源を切ってください。
  - ・メモリを交換する
  - ・AC アダプタを取り外す
  - ・パソコン本体内部や通風孔のお手入れをする
  - ・トラブル解決ナビを起動する
  - ・BIOS を起動する
- Windows がスタートして 1 分以上たってから終了するようにしてください。
- 地デジ対応 Windows Media Center 搭載機種で、予約録画をする場合
電源が切れた状態から予約録画をする場合は、次のマニュアルに記載された注意事項に従って操作してください。
『テレビ操作ガイド』

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。

電源ボタンを、4 秒以上押すとパソコンの電源が強制的に切れてしまいます。データが失われる場合もありますので、ご注意ください。

しばらくすると Windows が終了します。

Point

- Windowsを終了する方法はいろいろあります。
  - ・キーボードのパソコン電源ボタンを押す
  - ・リモコンのパソコン電源ボタンを押す（リモコン添付機種のみ）
- Windows を終了できないときは、「起動・終了」（→ P.137）をご覧ください。

2 パソコンに接続されている機器の電源を切ります。

電源ランプの状態

電源ランプ（⏻）は、パソコンの状態によって次のように動作します。

電源ランプの状態	パソコンの状態
白点灯	パソコンの電源が入っている
オレンジ点灯	クイックモードで終了
白点滅	スリープ [注]
消灯	・休止状態 ・エコクイックモードで終了 ・パソコンの電源が切れている

注：「ランプオフ設定」で消灯することもできます。「ランプオフ設定」の起動方法は次のとおりです。

1. （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「4. FMV 活用設定」の順にクリックします。
2. 「@メニュー」の画面で、「エコ・節電」▶「アクセスランプの点滅を止める」▶「このソフトを使う」の順にクリックします。

スリープにする／復帰させる

このパソコンを使わないときは、パソコンの電源を切らずに待機状態にしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。
待機状態にはスリープと休止状態があります。ここでは、パソコンをスリープにする方法と、スリープから復帰する方法について説明します。

Point

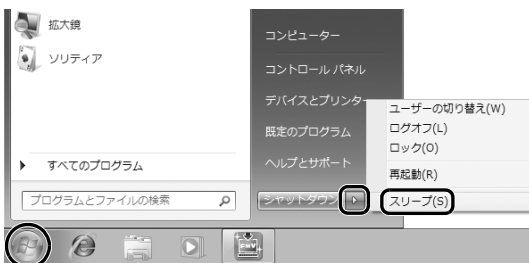
- スリープとは
  パソコンの電源を切らずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、パソコンを待機状態にすることです。スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。

パソコンをスリープにするときの注意

次の場合は、いったんパソコンの電源を切り、電源を入れ直してください。

- ●パソコンを長期間使わないとき
- ●パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりするとき

スリープにする

1 (スタート)▶ シャットダウン ▷ の ▷ ▶「スリープ」の順にクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

パソコンがスリープになります。スリープ中は、⏻電源ランプが点滅します。

スリープから復帰する

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。

- スリープにした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。
  必ず、10 秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。

パソコンの節電

このパソコンには節電の設定が簡単にできる、「節電ナビ」が搭載されています。

Point

- 「節電ナビ」の使い方については、次のマニュアルをご覧ください。
  Web『補足情報』

●かんたん節電
画面の明るさや、スリープ状態にするまでの時間などを対話形式で設定することができます。

●こだわり節電
「省電力ユーティリティ」などのこだわりの節電機能について、現在の状態を確認したり、設定を変更したりすることができます。

マウス

レーザーマウスは、底面からのレーザーにより照らし出されている陰影を検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上だけでなく、衣類の上や紙の上でも使うことができます。

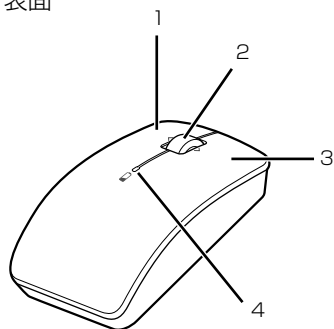
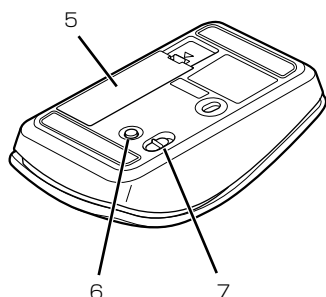
マウスをお使いになるうえでの注意

●レーザー式センサーについて
・マウス底面から目に見えないレーザー光を発しています。直接眼に向けると、目に悪い影響を与えることがありますので避けてください。
・センサー部分を汚したり、傷を付けたりしないでください。
・発光部分を他の用途に使わないでください。

●レーザー式マウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。
・鏡やガラスなど反射しやすいもの
・光沢のあるもの
・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

●レーザー式マウスは非接触でマウスの動きを検知しているため特にマウスパッドを必要としませんが、マウス本体は接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、傷防止のためにマウスパッドなどを使用することをお勧めします。

各部の名称と働き

・表面

・裏面

（イラストは機種や状況により異なります）

1 **左ボタン**
クリックするとき押します。

2 **スクロールホイール**
このホイールを回したり横に倒したりすると、画面を上下左右にスクロールできます。

3 **右ボタン**
右クリックするとき押します。

4 **ステータスランプ**
マウスの電源を入れたときに、電池が消耗していない場合は、約 10 秒間緑色に点灯します。電池が消耗している場合は、赤色に点滅します。点滅したら、電池を交換してください（→ P.67）。

5 **電池ボックス**
単 3 形電池を 1 本入れます。

6 **CONNECT ボタン**
マウスをパソコンに再認識させるときに押します（→ P.67）。

7 **電源スイッチ**
マウスの電源を入れたり切ったりします。

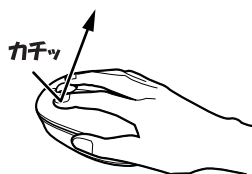
マウスの使い方

ここでは、このパソコンに添付されているマウスの使い方について説明します。

Point

- マウスの設定について
マウスの設定は、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」の順にクリックすると表示されるマウスの設定画面で変更することができます。
- スクロール機能は、使用するソフトウェアによって動作が異なったり、お使いになれないことがあります。

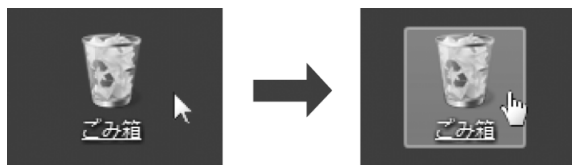
■クリック

左ボタンをカチッと 1 回押して、すぐ離すことです。また、右ボタンを 1 回カチッと押すことを「右クリック」といいます。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

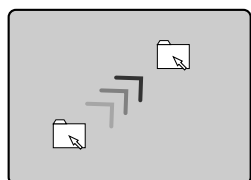
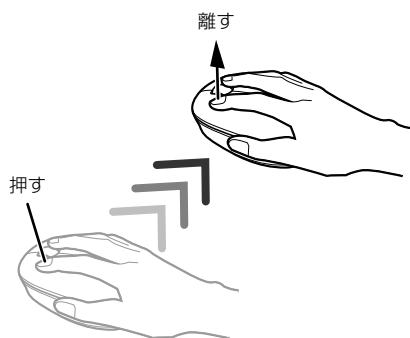
■ダブルクリック

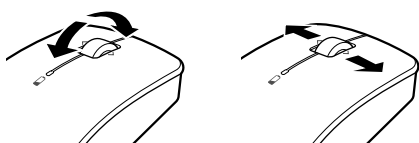
左ボタンをカチカチッとすばやく2回クリックすることです。

■ポイント

マウスポインター（ ）をアイコンやメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。

■ドラッグ

アイコンやウィンドウを、マウスポインター（ ）で掴むようにして移動させることです。

マウスポインター（ ）を任意の位置に移動し、左ボタンを押しながら希望の位置までマウスを移動し、指を離します。

■スクロール

スクロールホイールを回したり横に倒したりして、画面の表示を動かすことです。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス

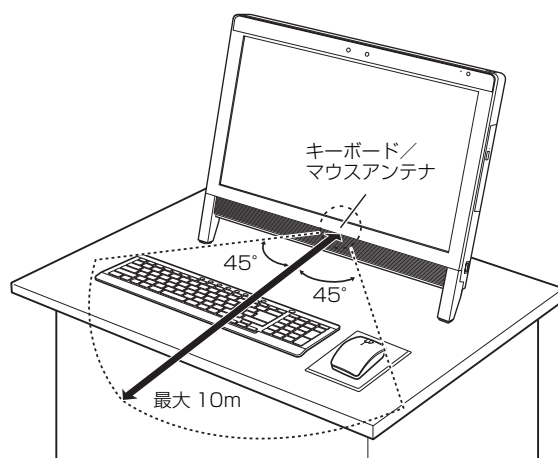
このパソコンに添付のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになるときの注意事項や、電池の交換方法について説明します。

使用に適した配置

このパソコンに添付されているキーボードやマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。

信号を受けるキーボード／マウスアンテナは、パソコン本体に搭載されています。

キーボードおよびマウスは、次のような場所でお使いください。

- 机の上など平らで安定した場所
- パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に充分なスペースがとれる場所
- キーボード／マウスアンテナから最大 10m(3m 以内を推奨)、左右約 45 度の範囲

（イラストは機種や状況により異なります）

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いになるうえでの注意

このパソコンに添付されているキーボードとマウスを使うときの注意事項について説明します。

- 次のような環境では、周囲からの電波を受けて、キーボードやマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
  - ・キーボードやマウスとキーボード／マウスアンテナとの距離が離れすぎている場合

・パソコン本体とキーボードやマウスとの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
・パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
・パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合
（パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
・パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
・ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合

●キーボードは、電池の消耗を抑えるため、キーを押さない状態が約 10 分続くと、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰するとき、最初に押したキーが無効になることがありますが、これは故障ではありません。もう一度、最初に押したキーを押してください。

●マウスは、電池の消耗を抑えるため、動かさない状態が約10分続くと、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰すると、ステータスランプが約10秒間緑色に点灯します。

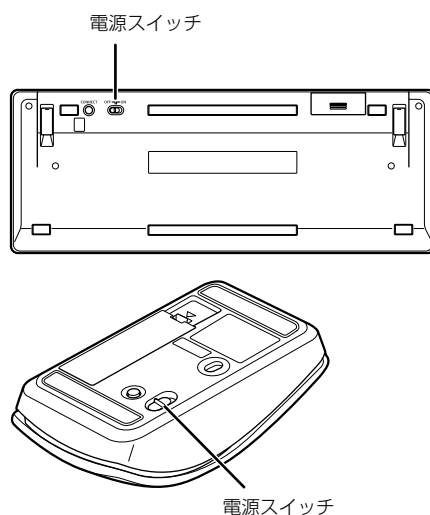
●**1.5V のアルカリ乾電池、または充電式ニッケル水素電池をお使いください。**
・マンガン乾電池などは、お使いにならないでください。充分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また故障の原因となる場合があります。
・充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合は、電池に添付されているマニュアルをご覧になり正しくご使用ください。

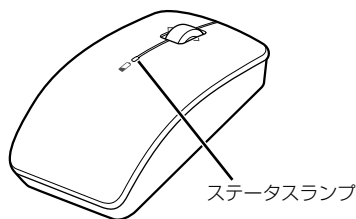
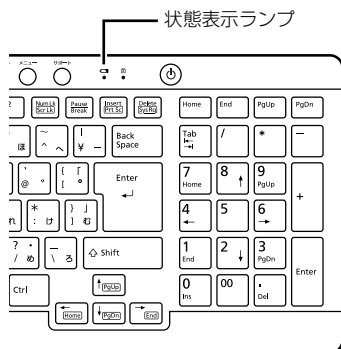
●**ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。**
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい電池に交換してください。

●**電池の寿命の目安は、毎日 3.5 時間の使用で、キーボードは約 6ヶ月、マウスは約 3ヶ月です。**
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。特にマウスの電池の寿命は、お使いの状況によって大幅に変わります。

●**パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。**
パソコン本体の電源が入っていなくても、キーボードやマウスが動作していると電池が消費されます。また、キーボードやマウスの上に物を載せたままにしないようにご注意ください。

●**長期間使用しないときは、電池を取り出してください。**
キーボードやマウスは、使用せずに放置していても、電池は消耗します。長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

●**電池の消耗を抑えるためには**
キーボードやマウスを使用しないときは、電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

●**電池の消耗状態は、状態表示ランプまたはステータスランプをご覧ください。消耗している場合はお早めに新しい電池に交換してください（表示は目安です）。**

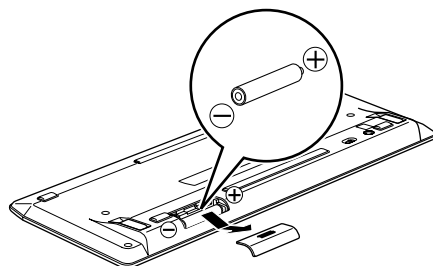
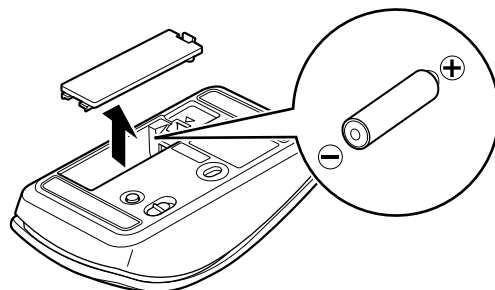
電池が消耗している場合は、ランプが赤色に点滅します。

電池を交換する

⚠ 注意

- 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 使い切って寿命のなくなった電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。
- 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。
  液もれ、破裂の原因になります。

1 キーボードとマウスを裏返して電池ボックスのふたを開け、電池を入れます。

電池を入れるときには、キーボードのキーやマウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

■ワイヤレスキーボード
単３形電池（1 本）

■ワイヤレスマウス
単３形電池（1 本）

電池を入れたときに、キーボードの場合は状態表示ランプ、マウスの場合はステータスランプが約 10 秒間緑色に点灯します。

2 電池ボックスのふたを閉めます。

Point

▸ 電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

キーボードやマウスをパソコンに再認識させる

通常お使いの場合は、キーボードやマウスをパソコンに一度認識させれば、再認識させる必要はありません。

ただし、次のような場合は、キーボードやマウスを再度パソコンに認識させて、正常に動作するようにしてください。

●キーボードやマウスが正しく動作しない場合

●近くで使っているパソコンのキーボードやマウスによって、このパソコンが誤動作する場合

●2 台以上のパソコンを使用している場合
ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、電波の混信や誤動作を避けるため、パソコンと 1 対 1 で設定する必要があります。

重要

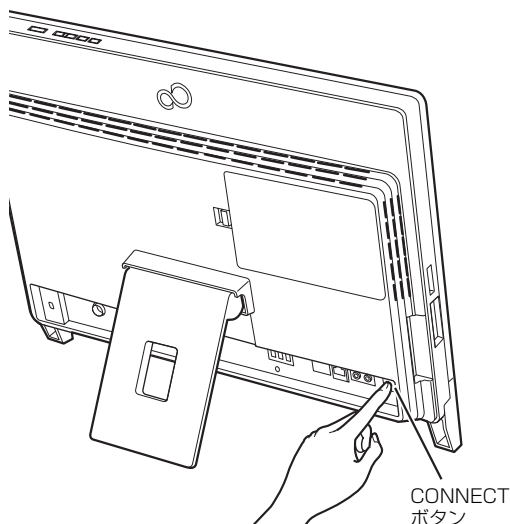
- パソコンに再認識させるときの注意
  - ・パソコンを設置している環境を確認してください。
  - ・キーボードとマウスの両方とも再認識させてください。
- ACアダプタが正しく接続されていないときは、パソコンにキーボードやマウスを認識させることができません。AC アダプタがパソコンに接続されていること、および電源プラグがコンセントに接続されていることを確認してください。

Point

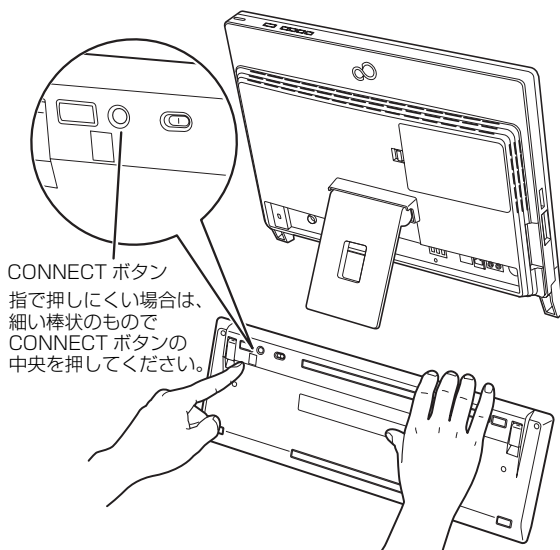
- 電池の交換などで電池を取り出した場合は、キーボードやマウスがパソコンに認識された状態になっています。再認識させる必要はありません。

■キーボードをパソコンに再認識させる

1 **パソコン本体の CONNECT ボタンを押します。**

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 **キーボード裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離します。**

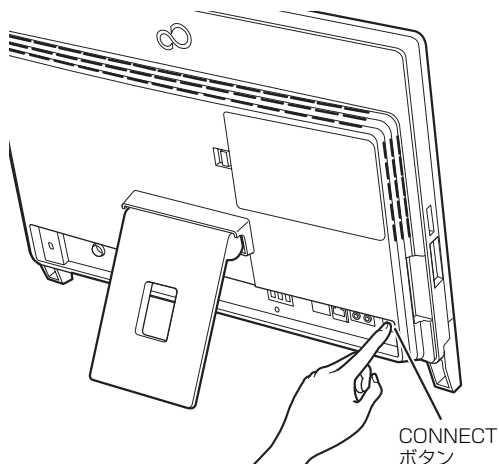
CONNECT ボタンを押すときは、キーボードのキーなどを押さないようにしてください。

状態表示ランプが点滅から点灯に変わり、約 2 秒後に消灯します。

点灯に変わらない場合は、いったん電池を出し入れし、もう一度手順 1 から操作してください。

これでキーボードがパソコンに認識されました。続いて、マウスをパソコンに認識させましょう。

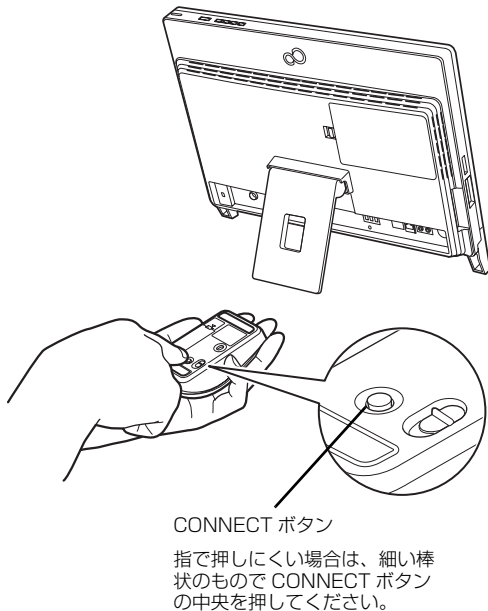
■マウスをパソコンに再認識させる

1 **パソコン本体の CONNECT ボタンを押します。**

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 マウス裏面のCONNECTボタンを指で1回押し、すぐに離します。

CONNECT ボタンを押すときは、左ボタンなどマウスの他のボタンを押さないようにしてください。

指で押しにくい場合は、細い棒状のものでCONNECTボタンの中央を押してください。

ステータスランプが点滅から点灯に変わり、約2秒後に消灯します。

点灯に変わらない場合は、いったん電池を出し入れし、もう一度手順1から操作してください。

これでマウスがパソコンに認識されました。

ジェスチャーコントロール機能

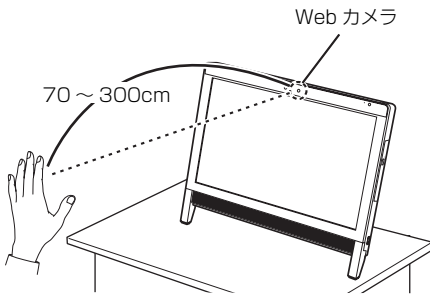
ジェスチャーコントロール機能とは、パソコンに取り付けられたWebカメラに向かって手を動かすことで、パソコンに触れずに操作する機能です。

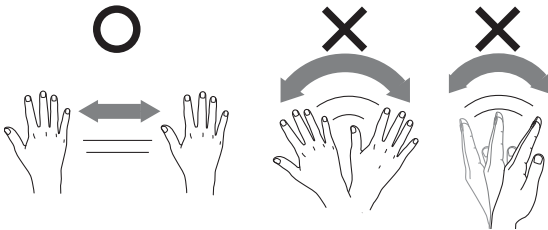
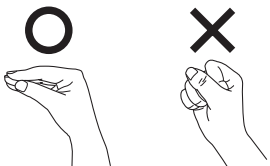
ジェスチャーコントロール機能でできること

ジェスチャーコントロール機能は、次のソフトウェアに対応しています。

- Windows Media Center
  再生・一時停止・停止・順スキップ・逆スキップ・音量調節・ソフトウェアの終了の操作ができます。
  テレビを見ているときは、チャンネルの変更もできます（地デジ対応 Windows Media Center 搭載機種のみ）。
- Windows Media Player
  再生・一時停止・停止・順スキップ・逆スキップ・音量調節・ソフトウェアの終了の操作ができます。
- WinDVD
  再生・一時停止・停止・チャプター移動・早送り・巻き戻し・音量調節・カーソル移動・ソフトウェアの終了の操作ができます。
- Windows Live フォト ギャラリー
  写真を見ているときに、スライドショーやソフトウェアの終了の操作ができます。
- Windows フォトビューアー
  写真を見ているときに、スライドショーやソフトウェアの終了の操作ができます。
- PowerPoint（Office Home and Business 2010 搭載機種のみ）
  スライドを前・次・最初・最後に移動したり、スライドショーの開始や終了、ソフトウェアの終了の操作ができます。
- Internet Explorer
  表示の拡大縮小・音量調節・全画面表示の切り替え・ソフトウェアの終了の操作ができます。
- Google Chrome
  表示の拡大縮小・音量調節・全画面表示の切り替え・ソフトウェアの終了の操作ができます。
- DigitalTVbox（搭載機種のみ）
  再生・一時停止・順スキップ・逆スキップ・チャンネル変更・音量調節・ソフトウェアの終了の操作ができます。

ジェスチャーコントロール機能をお使いになるうえでの注意

- パソコンのWebカメラと手の距離は70～300cmとなるようにしてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

- Web カメラに向かって手のひらが見えるように、手をかざしてください。
- 指と指の間を開きすぎないように、手をかざしてください。
- 初めに認識させるときやメニューを選択しているときは、指が真上を向くように手をかざしてください。また、手を左右に振るときなどは、手首ごと動かし、手が斜めにならないように注意してください。

- 決定するときは、次の図のように何かを手で掴むような形（グラブ）にしてから手を開いてください。このとき手を握らないよう注意してください。
グラブのままにしていると連続動作になります。

- ジェスチャーコントロール機能に使用する手は、右手でも左手でもかまいません。ただし、一部の両手で行う操作を除き、両手で同時に操作することはできません。
- ジェスチャーコントロール機能をお使いになる場合、「PointGrab ハンドジェスチャーコントロール」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にある をクリックし、（PointGrab ハンドジェスチャーコントロール）が表示されているか、確認してください。
表示されていない場合は、 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PointGrab ハンドジェスチャーコントロール」の順にクリックしてください。
は、グリーンの場合は動作中、オレンジの場合は待機中、グレーの場合はオフを示します。グレーになっている場合は、を右クリックし、「オン（自動）」をクリックしてください。
- お使いの環境（部屋の明るさ、着衣、背景、光源など）によっては、手を正しく認識できない場合があります。
- お使いの蛍光灯によっては、画面がちらつき、手をうまく認識できない場合があります。その場合は、次の手順でカメラの設定を変更してください。
  1. 画面右下の通知領域にある をクリックし、表示された を右クリックします。
  2. 「設定」をクリックします。
  「PointGrab ハンドジェスチャーコントロールの設定」ウィンドウが表示されます。
  3. 「カメラの設定」をクリックします。
  「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
  4. お住まいの地域の商用電源周波数に合わせて「ちらつき防止」の設定を変更します。東日本にお住まいの場合は「50Hz」を、西日本にお住まいの場合は「60Hz」を選択します。
  5. 「OK」▶「OK」の順にクリックします。
- 「Windows Media Center」を全画面モードで起動中に、ジェスチャーコントロール機能を使うと、一時的にウィンドウモードになります。
- ジェスチャーコントロール機能を使わない場合は、次の手順でジェスチャーコントロール機能を無効にしてください。
  1. 画面右下の通知領域にある をクリックし、表示された を右クリックし、「オフ」をクリックします。

ジェスチャーコントロール機能を使う

ここでは、「Windows Media Player」の操作を例として説明します。

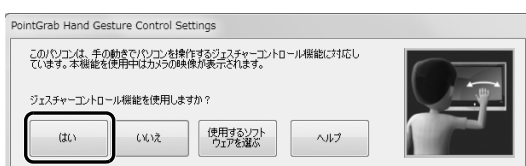
1 「Windows Media Player」を起動します。

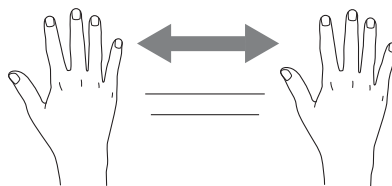
（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Windows Media Player」の順にクリックします。

初めて起動する場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 「Windows Media Player」を初めて起動する場合、「PointGrab ハンドジェスチャーコントロールの設定」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

3 音楽を再生します。

Point

- 「Windows Media Player」を起動後、一度も音楽を再生していない状態では、ジェスチャーコントロール機能で音楽を再生することはできません。

4 Web カメラに向かって手を振ります。

手が認識されるとメニューが表示されます。

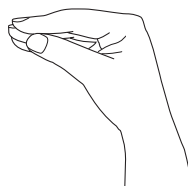
（画面は機種や状況により異なります）

Point

- 右下のカメラ映像を見ながら手の位置を調整します。カメラの画面枠が緑色になったら、正しく操作できています。

5 手を左右に移動し、いずれかのボタンを選択します。

選択中のボタンは、色が付いて表示されます。

6 目的のボタンを選択したら、手で掴むような形（グラブ）にしてから手を開いて決定します。

「Windows Media Player」で、表示されるボタンの内容は次のとおりです。

	ソフトウェアの起動ができます。
	音量変更モードに切り替えます。 音量を変更するためのバーが表示されます。 表示されたバーの灰色の◯を動かして操作してください。 ・右に動かすと音量が大きくなります ・左に動かすと音量が小さくなります ・音量を決定する位置で、手をグラブにしてください
	一時停止／再生します。
	停止します。
	逆スキップをします。 グラブのままにしていると、逆スキップを繰り返します。
	順スキップをします。 グラブのままにしていると、順スキップを繰り返します。
	カーソルモードに切り替えます。 カーソルを上下左右に移動できるようになります。
	マウスモードに切り替えます。 マウスモードのときはマウスポインターの近くに手の形のアイコンが表示されます。 手の動きに合わせてマウスポインターを動かすことができます。グラブにすると左クリックになります。また、グラブのままにしていると右クリックになります。

	ソフトウェアを終了します。 終了の選択画面が表示され、「はい」を選択すると閉じます。

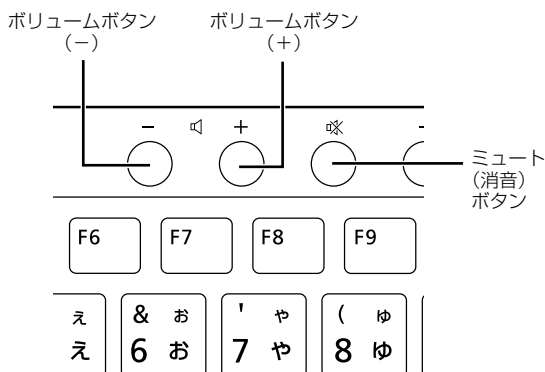
Point

- 他の機能の使い方や、ジェスチャーコントロール機能の設定変更の方法については、次のマニュアルをご覧ください。
  Web『補足情報』

音量

ここでは、キーボード上部にある音量調節ボタンから音量を調節する方法について説明します。

■キーボードで調節する

ボリュームボタン（－）を押すと小さく、ボリュームボタン（＋）を押すと大きくなります。
ミュート（消音）ボタンを押すと音が消え、もう一度押すと元の音量に戻ります。

（イラストは機種や状況により異なります）

Point

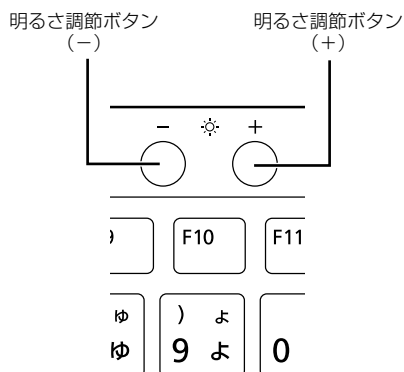
- 画面右下の通知領域にある（スピーカー）をクリックして表示されるウィンドウなど、他の方法でも音量を調節できます。

画面の明るさ

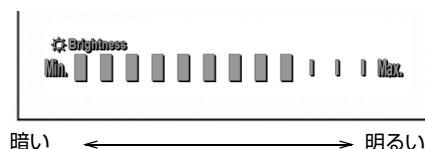
キーボードで、液晶ディスプレイの明るさを変更することができます。

■キーボードで調節する

●明るくする
明るさ調節ボタン（＋）を押す

●暗くする
明るさ調節ボタン（－）を押す

■調整中の表示

明るさを調節中は、画面下部に明るさを示すインジケーターが表示されます。

暗い ←→ 明るい

CD/DVDドライブ

このパソコンでは、CDやDVD、Blu-ray Discなどのディスクの再生や読み出し／書き込みを行うことができます。

著作物の録音や複製に関する注意

- 音楽や画像などの著作物は、著作権法で保護されています。録音・複製（データ形式の変換を含む）などは、お客様個人またはご家庭内で楽しむ目的でのみ、行うことができます。音楽や画像をネットワーク上で配信するなど、上記目的を超える場合は、著作権者の許諾が必要です。
- 著作権を保護されたディスクはコピーできません。ディスクの種類によっては、著作権保護のため、コピープロテクトがかかっている場合があります。このパソコンでは、著作権保護として、デスクランブル機能および相互認証機能が用意されています。著作権を保護されたデータなどをコピーしても、再生できません。

ディスクをお使いになるうえでの注意

- ディスクの再生中や書き込み／書き換え中は、振動や衝撃を与えないでください。
- ケースから取り出すときやパソコンにセットするときなど、ディスクは両面とも触らないようにしてください。
- ディスクは両面とも指紋やほこり、傷などを付けないでください。
- ディスクは両面ともラベルを貼らないでください。
- ディスクの表面にボールペンや鉛筆などの硬いもので字を書くと、ディスクに傷が付くおそれがあります。
- コーヒーなどの液体をかけないでください。
- 汚れたり水滴が付いたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側へ向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
  シリコンクロスは使用しないでください。
  ヘアードライヤーなどで乾燥させたり、自然乾燥をさせないでください。
  ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電気防止剤などで拭かないでください。
- 使わないときは、ケースに入れて保管してください。
- 曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
- 高温・低温の場所に保管しないでください。

ディスクを再生するうえでの注意

- ディスクの再生直後、数秒間画面が正常に表示されないことがあります。
- デジタル放送を録画したDVDを初めて「WinDVD」で再生するときは、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。必ず「はい」をクリックしてください。
- ディスクによっては、正常に再生されなかったり、「WinDVD」の一部の機能が使用できない場合があります。
- 再生するディスクのマニュアルも必ずご覧ください。
- 各ボタンを操作する間隔は、1秒以上あけてください。
- 再生するディスクによっては、コマ落ちする場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のソフトウェアは終了させてください。

Point

- DTSで記録されたDVD-VIDEOは、このパソコンでは音声再生ができません（スーパーマルチドライブ搭載機種のみ）。

■「WinDVD」の更新について

このパソコンには、ディスクを再生するソフトウェア「WinDVD」が用意されています。「WinDVD」は常に最新の状態に更新してお使いください。「WinDVD」を更新するには、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ダウンロード」から、アップデートプログラム（随時提供）をダウンロードして、インストールしてください。
インストール手順については、アップデートプログラムに添付されている「Readme.txt」をご覧ください。

■AACSキーの更新について（BDXL™対応Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）

Blu-ray Discには、著作権保護技術のキーが働いています。
AACS キーは常に最新の状態に更新してお使いください。
更新方法については、下記のURLをご覧ください。
http://www.fmworld.net/aacs/esprimo/

ディスクに書き込み／書き換えをするうえでの注意

●書き込み／書き換え中にディスク面に傷を検出した場合、書き込み／書き換えが中断されることがあります。

●ディスクへ正常に書き込み／書き換えができない場合は、書き込み／書き換え速度を落とすことで、できる場合があります。

●DVD プレーヤーで映像を見る目的で、DVD に書き込みをする場合、画像の解像度は 720 × 480 に設定することをお勧めします。
その他の解像度で作成されたファイルを DVD に保存すると、一部の DVD プレーヤーで再生できない場合があります。

●「Roxio Creator」では DVD-RAM への書き込み／書き換えは行えません。

■書き込み／書き換えを行う前に

ディスクに、書き込み／書き換えを行う前に、次の操作をしてください。

●他のソフトウェアは終了させてください。

●ディスクに書き込み／書き換え中にスリープや休止状態にならないように、「電源オプション」ウィンドウで「コンピューターをスリープ状態にする」を、「なし」に設定してください。
設定の変更については、次のマニュアルをご覧ください。
Web『補足情報』

●ディスクに書き込み／書き換え中にディスプレイがスクリーンセーバーに移行しないように次の設定をしてください。

1. デスクトップの何もないところを右クリックします。
2. 表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
3. 「スクリーンセーバー」をクリックします。
4. 「スクリーンセーバー」の ▼ をクリックし、一覧から「(なし)」をクリックします。
5. 「OK」をクリックします。
6. ✕ をクリックします。

■書き込み／書き換え中の操作について

ディスクに書き込み／書き換え中は、次の操作を行わないでください。
書き込み／書き換えに失敗したり、時間がかかる場合があります。

●パソコン本体の電源を切る
●パソコンをスリープや休止状態にする
●電源ボタンを押す
●CD/DVD 取り出しボタンを押す
●【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す
●ディスクを操作するボタンを押す
●他のソフトウェアを起動または操作する
●LAN などによるデータ転送をする

■一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは

一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

●パケットライト方式でデータが書き込まれたディスクは、このパソコンでは読み込むことはできません。
これらのディスクの読み込みや書き込みを行う方法については、ディスクを作成するときに使用したソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

●一度フォーマットや書き込みをした後は、同じソフトウェアを使って書き換え、追記を行ってください。

●DVD+RW や DVD-RW、CD-RW、BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL（BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL は BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）に保存したファイルは、そのまま編集や更新をすることはできません。編集や更新をする場合は、次の手順で操作してください。

1. デスクトップなど、ハードディスクにファイルをコピーします。
2. ファイルが読み取り専用になっていたら、「読み取り専用」の属性を外します。
「読み取り専用」の属性を外すには、対象のファイルを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。
プロパティウィンドウで「全般」タブをクリックし、「読み取り専用」の ☑ をクリックして □ にし、「OK」をクリックします。
3. ファイルの編集や更新をし、再度ディスクへ書き込みを行います。

- このパソコンで書き込みをしたディスクは、別のパソコンやソフトウェアで利用できない場合があります。

使えるディスク／使えないディスク

■使えるディスク

このパソコンでお使いになることのできるディスクは、次のとおりです。

○：対応　×：非対応

	読み出し（再生）	書き込み	書き換え
CD-ROM、音楽 CD、ビデオ CD、フォト CD	○	×	×
CD-R	○	○	×
CD-RW	○	○[注1]	○[注1]
DVD-Audio	×	×	×
DVD-ROM、DVD-VIDEO	○[注2]	×	×
DVD-R（4.7GB）	○	○	×
DVD-RW	○	○[注1]	○[注1]
DVD-R DL（8.5GB）	○	○	×
DVD+R（4.7GB）	○	○	×
DVD+RW（4.7GB）	○	○[注1]	○[注1]
DVD+R DL（8.5GB）	○	○	×
DVD-RAM（2.6GB・5.2GB）	×	×	×
DVD-RAM（4.7GB・9.4GB）	○	○[注3]	○[注3]
BD-ROM[注 4]	○[注5]	×	×
BD-R（25GB）[注 4]	○	○	×
BD-R DL（50GB）[注 4]	○	○	×
BD-RE（25GB）[注 4][注 6]	○	○[注1] [注3]	○[注1] [注3]
BD-RE DL（50GB）[注 4][注 6]	○	○[注1] [注3]	○[注1] [注3]
BD-R LTH TYPE[注 4]	○	○	×
BD-R XL（100GB）[注4]	○	○	×
BD-RE XL（100GB）[注 4][注 6]	○	○[注1] [注3]	○[注1] [注3]

注１：次のディスクに書き込んだデータを削除するには、データをすべて消去する必要があります。
・CD-RW、DVD-RW、DVD+RW に書き込んだデータ
・BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL にライティングソフトで書き込んだデータ

注２：DVD-VIDEO は、リージョン（地域）コードに［2］が含まれているか、もしくは［ALL］のものを再生できます。

注３：購入した DVD-RAM や、Blu-ray Disc（BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL）を使い始めるには、フォーマットを行う必要があります。ディスクのフォーマットについては、「ディスクをフォーマットする」（→ P.80）をご覧ください。

注４：BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

注５：Blu-ray Disc は、リージョン（地域）コードに［A］が含まれているか、もしくは［FREE］のものを再生できます。

注６：BD-RE Ver1.0 には対応しておりません。

■推奨ディスク

次のディスクの使用をお勧めします。

下記以外のディスクをお使いの場合は、正常に書き込み／書き換えができない場合や再生できない場合があります。

（2011 年 10 月現在）

	メーカー	メーカー型名
CD-R	太陽誘電（That's）	CDR80WTY、CDR80WPY
CD-RW	Verbatim（バーベイタム）	SW80QU5V1、SW80QM5V1、SW80QP5V1、SW80EU5V1、SW80EM5V1
DVD-R	太陽誘電（That's）	DR-47WTY50BNT、DR-47WKY10SN、DR-47WWY50BN、DVD-R47XY10P
	Verbatim（バーベイタム）	DHR47J10V1、DHR47JM10V1、DHR47JP10V1
DVD-R（録画用）[注1][注2]	太陽誘電（That's）	DR-C12WTY10SNT、DR-C12WPY10SA
	Verbatim（バーベイタム）	VHR12JP10V1、VHR12JMP20TV1
DVD-R DL	Verbatim（バーベイタム）	DHR85HP5V1
DVD-R DL（録画用）[注1][注2]	三菱化学メディア	VHR21YDSP10、VHR21HDSP10
DVD-RW	Verbatim（バーベイタム）	DHW47RP1V1、DHW47Y10V1
DVD-RW（録画用）[注1][注2]	三菱化学メディア	VHW12NP10V1、VHW12NMP10TV1、VHW12NP20TV1
DVD+R	太陽誘電（That's）	DR+47WTY10PN
DVD+R DL	Verbatim（バーベイタム）	DTR85HP5V1

	メーカー	メーカー型名
DVD+RW	ソニー	5DPW47HPS
DVD-RAM	パナソニック	LM-HC47M（4.7GB、カートリッジ無）、LM-HC47MW5（4.7GB、カートリッジ無）、LM-HB47MA（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）、LM-HB94M（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
	日立マクセル	DRM47PWC.S1P5S A（4.7GB、カートリッジ無）
DVD-RAM（録画用）[注1][注2]	パナソニック	LM-AF120LJ（4.7GB、カートリッジ無）、LM-AF120LW5
	日立マクセル	DRM120PWC.S1P5S A（120分、カートリッジ無）、DRM120ES.S1P5S（120分、カートリッジ無）
BD-R[注3]	Verbatim（バーベイタム）	DBR25RP10V1（25GB）
	パナソニック	LM-BR25LDH5（25GB）、LM-BR25LDW5(25GB)、LM-BR25MDH5（25GB）
BD-R（録画用）[注1][注3]	三菱化学メディア	VBR130YP10V1（180分）、VBR130RP10V1（180分）、VBR130YP20V1
	Verbatim（バーベイタム）	VBR130YP10V1（180分）、VBR130RP10V1（180分）
	パナソニック	LM-BR25LH（180分）、LM-BR25L10GN（180分）、LM-BR25MH（180分）、LM-BR25M10AN（180分）、LM-BR25M10GN（180分）、LM-BR25LT5（180分）、LM-BR25LT10（180分）、LM-BR25MT10（180分）、LM-BR25MT（180分）、LM-BR25MT5（180分）、LM-BR25MT10（180分）

	メーカー	メーカー型名
BD-R DL[注3]	Verbatim（バーベイタム）	DBR50RP5V1（50GB）
	パナソニック	LM-BR50LDH5（50GB）、LM-BR50MDH（50GB）
BD-R DL（録画用）[注1][注3]	Verbatim（バーベイタム）	VBR260YP5V1（360分）、VBR260RP5V1（360分）
	パナソニック	LM-BR50LH（360分）、LM-BR50MH（360分）、LM-BR50LT（360分）、LM-BR50MT（360分）
BD-RE[注3]	Verbatim（バーベイタム）	DBE25NP5V1（25GB）
	パナソニック	LM-BE25DH（25GB）、LM-BE25DH5A（25GB）
BD-RE（録画用）[注1][注3]	パナソニック	LM-BE25S5A（180分）、LM-BE25H（180分）、LM-BE25S5G（180分）、LM-BE50T5N（180分）、LM-BE25T5（180分）
BD-RE DL[注3]	Verbatim（バーベイタム）	DBE50NP5V1（50GB）
	パナソニック	LM-BE50DH（50GB）、LM-BE50DHA（50GB）
BD-RE DL（録画用）[注1][注3]	パナソニック	LM-BE50S5EN(360分)、LM-BE50H（360分）、LM-BE50S5RN（360分）、LM-BE50T（360分）、LM-BE50T3N（360分）、LM-BE50T5N（360分）
BD-R LTH TYPE[注3]	Verbatim（バーベイタム）	DLR25RP10V1（25GB）
BD-R LTH TYPE（録画用）[注1][注3]	Verbatim（バーベイタム）	VLR130YP5V1（180分）
BD-R XL（録画用）[注1][注3]	TDK	BRV100HCPWB1A（720分）
	SHARP	VR-100BR1（720分）
BD-RE XL（録画用）[注1][注3]	パナソニック	LM-BE100J（720分）

注 1：テレビチューナー搭載機種のみ
注 2：CPRM 対応
注 3：BDXL^{TM} 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

■使えないディスク

次のディスクはお使いにならないでください。

●円形以外の異形ディスク（星型やカード型などの変形ディスク）
　このパソコンは円形のディスクのみお使いになれます。
　円形以外の異形ディスクをお使いになると故障する場合があります。
　異形ディスクをお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。

●規格外の厚さの DVD 媒体
　DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。
　記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
　規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。

●規格外の厚さの Blu-ray 媒体（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）
　規格では媒体の厚さを 1.15mm ～ 1.3mm と規定しています。
　記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
　規格外の Blu-ray 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。

●市販のクリーニングディスク、レンズクリーナー
　お手入れのときにお使いになると、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVDドライブのレンズが汚れてしまう場合がありますので、お使いにならないでください。

●中心に穴の空いていないディスク

●傷またはヒビの入ったディスク
　傷またはヒビの入ったディスクをお使いになるとドライブ内で破損する場合があります。

●カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM（Type1）
　DVD-RAM は、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをお使いください。なお、カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM を、カートリッジから無理に取り出して使わないでください。

●BD-RE Ver1.0 規格の Blu-ray Disc（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

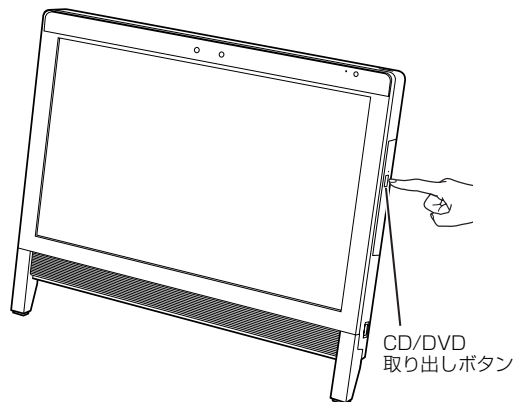
ディスクをパソコンにセットする／取り出す

⚠ 注意

● ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

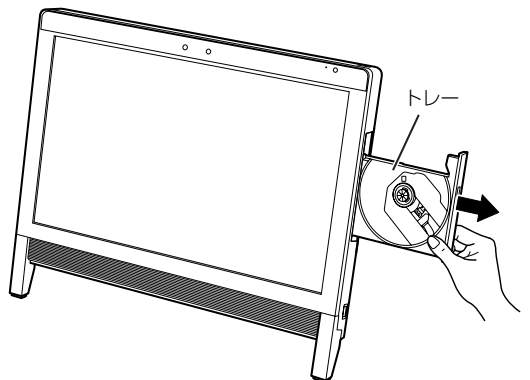
■ディスクをセットする

ディスクは、パソコンの電源が入っている状態のときにセットできます。

1 CD/DVD取り出しボタンを押します。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

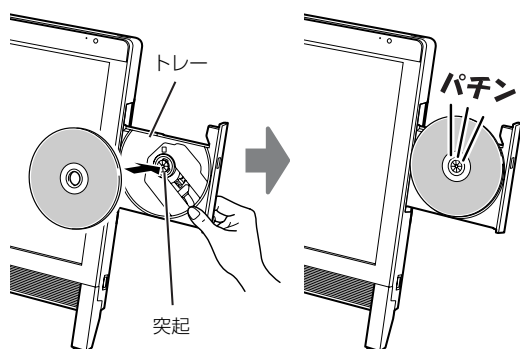
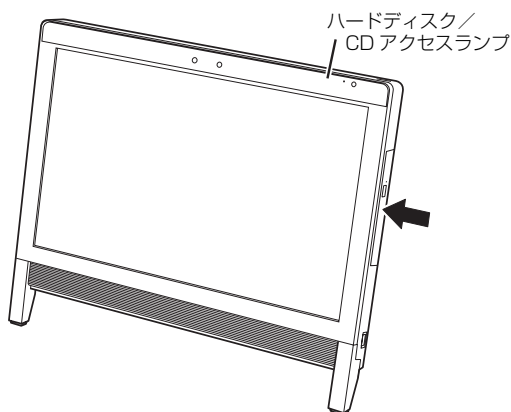
ディスクをセットするトレーが少し出てきます。

2 トレーの中央部を持って、トレーを静かに引き出します。

重要

▸ トレーを引き出すときの注意
　・トレーは勢いよく引っ張り出さないでください。
　・トレーは最後まで引き出してください。

3 パソコンにディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を手前側に（両面タイプのDVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を裏側に）して、トレーの中央の突起にディスクの穴を合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりとはめ込んでください。このとき、パソコン本体が転倒しないようトレーを手で押さえてください。

きちんとはめ込まないと、再生できなかったり、ディスクが取り出せなくなったりすることがあります。

4 カチッと音がするまで、トレーを静かに押し込みます。

ハードディスク／ CD アクセスランプが消灯したことを確認してから、次の操作に進んでください。

ディスクによっては、セットすると自動的に起動するものもあります。

5 「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、次のどちらかの操作をします。

- ・すでにソフトウェアが起動している場合は、[×] をクリックします。
- ・ソフトウェアが起動していない場合は、表示されている項目の一覧で使いたいソフトウェアをクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

■ディスクを取り出す

ディスクは、パソコンの電源が入っている状態のときに取り出すことができます。

1 ディスクを使っているソフトウェアがあれば、終了します。

2 ハードディスク／CDアクセスランプが消灯していることを確認し、CD/DVD取り出しボタンを押します。

ディスクがセットされたトレーが少し出てきます。

3 トレーの中央部を持って、トレーを静かに引き出します。

重要

- トレーを引き出すときの注意
  トレーを引き出すときは、勢いよく引っ張り出さないでください。

4 ディスクを取り出します。

5 カチッと音がするまで、トレーを静かに押し込みます。

ディスクをフォーマットする

次のディスクは、お使いになる前にこのパソコンで読み書きできるようにするフォーマット（初期化）を行う必要があります。

●DVD-RAM

●BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

ここでは、特定のソフトウェアを使用せずに、「コンピューター」から DVD-RAM などに直接データを書き込んで使用する場合のフォーマットの方法を説明します。9.4GB の両面タイプの DVD-RAM については、片面ごとにフォーマットしてください。

特定のソフトウェアを使用して、データの書き込み、書き換えをする場合は、お使いになるソフトウェアのマニュアルやヘルプをご覧になり、フォーマット形式を選択してください。

録画したテレビ番組を保存する場合は、次のマニュアルをご覧ください（テレビチューナー搭載機種のみ）。

『テレビ操作ガイド』

注意

● ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

重要

- バックアップナビでご利用になる場合は、Windows 7 の「フォーマット」を使用しないでください。バックアップナビでのご利用方法は「「パソコンの状態」をバックアップする場所」(→ P.121）をご覧ください。

1 フォーマットするディスクをセットし、（スタート）▶「コンピューター」の順にクリックします。

「コンピューター」ウィンドウが表示されます。

2 ディスクのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「フォーマット」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

3 「ファイルシステム」の をクリックして、フォーマット種別を選びます。

■DVD-RAM の場合

「UDF 2.00」を選びます。

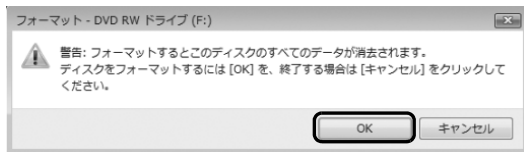
■Blu-ray Disc の場合（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

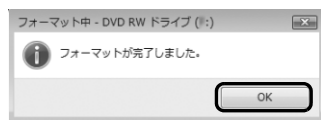
「UDF 2.50」を選びます。

Point

- 「ボリュームラベル」に入力した文字列がディスクの名前になります。ディスクに好きな名前を付けることができます。
- 「クイックフォーマット」を にすると、フォーマットに時間がかかる場合があります。

4 「開始」をクリックします。

5 フォーマットを確認するメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

フォーマットが始まります。

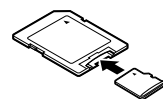
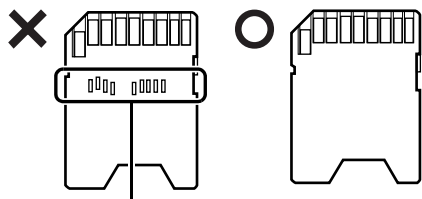
6 「フォーマットが終了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。

7 「閉じる」をクリックします。

メモリーカード

SDメモリーカードやメモリースティックを総称して、メモリーカードと呼んでいます。

お使いになるうえでの注意

- **メモリーカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリーカードを取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。**
- **次のメモリーカードをお使いになる場合はアダプターが必要です。**
  - **miniSD カード、microSD カード、microSDHC カード**
  - **メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、メモリースティック PRO-HG Duo、メモリースティック マイクロ**

  必ずアダプターに差し込んでからお使いください。そのままダイレクト・メモリースロットに挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。
  また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプターごと取り出してください。アダプターだけをダイレクト・メモリースロットに残すと、故障の原因となります。

●**端子が露出しているminiSDカードアダプターは使用しないでください。**
ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となります。
miniSD カードのアダプターは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。

●**メモリースティック Duo アダプターは、塗装部分がはがれた状態では使用しないでください。**
ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、メモリーカードを認識しなかったり、故障の原因となったりします。
また、はがれた塗装部分などにテープなどを貼って使用することはおやめください。アダプターが取り出せなくなる場合があります。

●メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。

●メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。このパソコンでフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

●テレビ番組の視聴中や録画中または録画予約の待機中は、メモリーカードのセットや取り出しを行わないでください（テレビチューナー搭載機種のみ）。

●Windows 7 の ReadyBoost には対応しておりません。

使えるメモリーカード

ダイレクト・メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。
ダイレクト・メモリースロットが対応しているメモリーカードは次のとおりです。
なお、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

[注 1]	・SD メモリーカード（2GB） ・miniSD カード（2GB） ・microSD カード（2GB） ・SDHC カード（32GB） ・microSDHC カード（32GB） ・SDXC カード（64GB）
[注 2]	・メモリースティック（128MB） ・メモリースティック（メモリーセレクト機能付）（128MB × 2） ・メモリースティック Duo（128MB） ・メモリースティック PRO（32GB） ・メモリースティック PRO Duo（32GB） ・メモリースティック PRO-HG Duo（32GB） ・メモリースティック マイクロ（16GB）

注 1：・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDIO カードには対応していません。
・著作権保護機能（CPRM［シーピーアールエム］）に対応しています。
注 2：マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

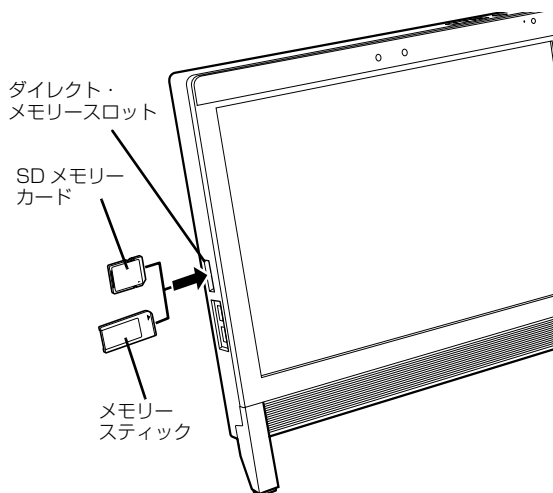
メモリーカードを差し込む／取り出す

⚠ 注意

- メモリーカードをセットするとき、および取り出すときには、ダイレクト・メモリースロットに指などを入れないでください。
  けがの原因となることがあります。

- 取り外したメモリーカードは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
  お子様が口に入れたり、誤って飲み込むとけがや窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

■メモリーカードを差し込む

1 メモリーカードをダイレクト・メモリースロットにセットします。

※製品名のある面をパソコン本体前面側にして、まっすぐにセットします。
※複数のメモリーカードを同時に使用することはできません。

（イラストは機種や状況により異なります）

重要

- 書き込み禁止の状態のメモリーカードにファイルの書き込みや削除を行った場合、エラーメッセージの表示に時間がかかることや、メモリーカードの内容の一部が正しく表示されないことがあります。その場合は、書き込み禁止の状態を解除し、差し込み直してください。
- Windows が起動している状態でメモリーカードを差し込むと、メモリーカードから写真データを取り込むためのソフトウェア「マイフォト」が自動的に起動します。
- メモリーカードを差し込んでからパソコンの電源を入れると、Windows が起動した後、自動的にメモリーカードから写真データを取り込むように設定することができます。設定方法は、「ワンプッシュフォトコピーの設定をする」（→P.84）をご覧ください。

■メモリーカードを取り出す

1 メモリーカードにアクセスしていないことを確認します。

ファイルのコピー、移動、削除などが終了していることを確認してください。

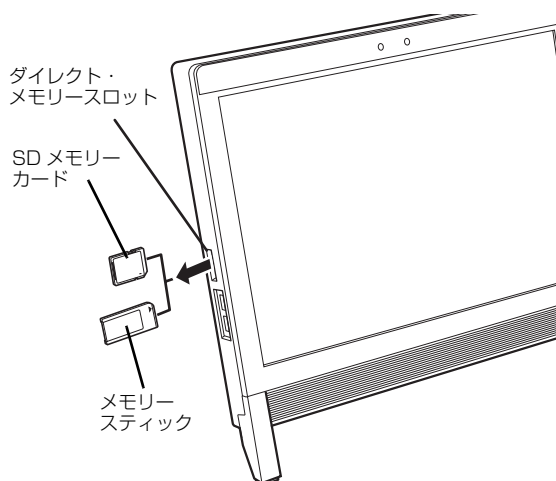
2 画面右下の通知領域にある ▲ をクリックし、表示された （ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をクリックします。

メモリーカードによっては、（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧になり、確認してください。

3 「nnn の取り出し」をクリックします。

nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

4「nnn はコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。

メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。

（イラストは機種や状況により異なります）

飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

重要

- ダイレクト・メモリースロットからメモリーカードを取り出す場合は、次のことに注意してください。
  - ・メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
  - ・メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
  - ・メモリーカードを取り出すときは、ダイレクト・メモリースロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。
  - ・メモリーカードを取り出すときは、必ずメモリーカードを一度押して、少し飛び出した状態にしてから引き抜くようにしてください。そのまま引き抜くと誤動作の原因になります。

ワンプッシュフォトコピーの設定をする

メモリーカードを差し込んでからパソコンの電源を入れると、Windows が起動した後、自動的にメモリーカードから写真データを取り込むように設定することができます（ワンプッシュフォトコピー）。
なお、ご購入時の状態では、この機能は無効になっています。お使いになる場合は次の手順で設定を有効にしてください。

Point

- ご利用になるメモリーカードは事前にパソコンに認識させておく必要があります。Windows が起動している状態でパソコンにセットして認識させてから、この機能をお使いください。
- スリープ・休止状態からの復帰時には写真を取り込みません。また、複数のユーザーアカウントがある場合やユーザーパスワードを設定している場合は、ログオン画面で一時停止します。

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PowerUtility」▶「ワンプッシュフォトコピー」▶「ワンプッシュフォトコピーの設定」の順にクリックします。

「ワンプッシュフォトコピーの設定」ウィンドウが表示されます。

2「お使いになるうえでの注意事項」をよくお読みになり、「ワンプッシュフォトコピー」の「使う」の ◯ を ◉ にし、「OK」をクリックします。

シャットダウンした状態で、メモリーカードを差し込んでからパソコンの電源を入れると、Windows が起動した後に「ワンプッシュフォトコピー」ウィンドウが表示されます。写真データの取り込みを開始するまでのカウントダウンが始まり、0 秒になると取り込みを行います。

テレビ

（テレビチューナー搭載機種のみ）

アンテナとパソコンの接続方法や B-CAS カードのセット方法について説明します。

テレビを見るためのソフトウェアの設定方法やテレビを見る方法については、次のマニュアルをご覧ください。

『テレビ操作ガイド』

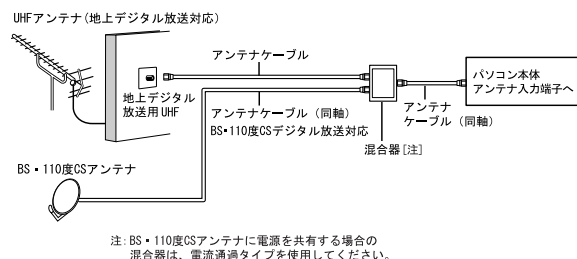
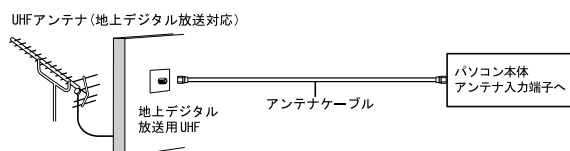
テレビを見るために必要な準備

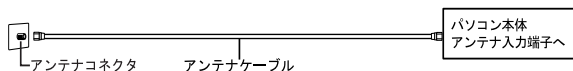
初めてテレビを見るときは、次の作業が必要です。

1. 接続方法を確認する（→ P.85）
2. 必要なものを用意する（→ P.85）
3. B-CAS カードをセットする（→ P.86）
4. アンテナケーブルを接続する（→ P.87）

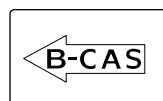
接続方法を確認する

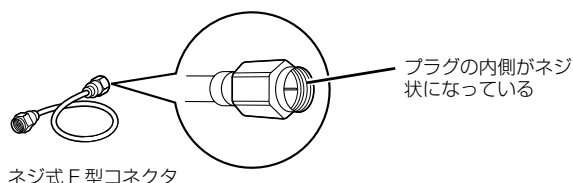
アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。次の図を参考に、必要なケーブル類を用意してください。
ここでは、パソコンのみを接続する場合を紹介しています。

■地上・BS・110 度 CS デジタル放送を視聴する場合（テレビチューナー（地上デジタル、BS・110 度 CS デジタル）搭載機種のみ）

■地上デジタル放送を視聴する場合

■マンションなどの共同受信の場合

マンションなどの共同受信の場合は、視聴できる放送が異なります。マンションの管理会社もしくは管理組合にお問い合わせください。

必要なものを用意する

■必ず用意してください

□B-CAS カード

B-CAS カードは台紙に貼り付けられています。

□アンテナケーブル（別売）

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルの使用をお勧めします。
なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。

重要

- ネジ式でない F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いの場合
  - ・コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
  - ・ネジ式でない F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルは、ネジ式に比べてノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

■必要に応じて用意してください

アンテナ線の形状などによって、必要なものが異なります。ここでは、代表的なものを説明します。「接続方法を確認する」（→ P.85）を参考に、用途にあった製品をご購入ください。

□混合器

別々の電波を、1 本の線に混合するための機器です。

□分波器

1 本の線に混合されている電波を分ける機器です。

□分配器

1 本のアンテナ線を、複数の端子で使うために分配する機器です。

パソコンとお持ちのテレビを同時にご使用になる場合は必要になります。

□ブースター

受信電波が弱い場合に電波を増幅させるための機器です。

□アッテネーター

強すぎる電波を減衰して受信できるようにするものです。

B-CAS カードをセットする

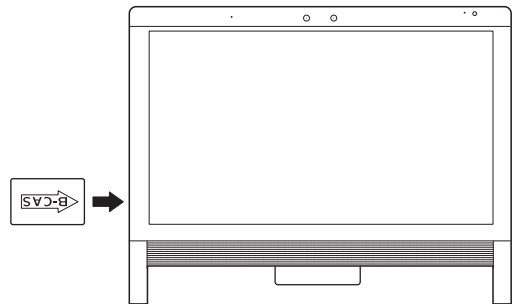
Point

- B-CAS カードの台紙に記載されている説明をよくお読みください。
- B-CAS カードは必ずパソコン本体にセットしてください。B-CAS カードを正しくセットしていないと、デジタル放送を視聴することができません。
- B-CAS カードについては、次のマニュアルをご覧ください。
  『テレビ操作ガイド』

1 B-CASカードをB-CASカードスロットにセットします。

「B-CAS」と記載されている面をパソコン本体の前面側にして、矢印の向きをB-CASカードスロット側に向け、奥までしっかりとセットします。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

■パソコン本体前面側から見た場合

Point

- B-CAS カードを取り外す場合

  B-CAS カードは通常パソコン本体にセットしたままにしておきますが、取り外す場合は次の手順に従って操作してください。

  1. パソコン本体および周辺機器の電源を切り、パソコン本体の電源プラグをコンセントから抜きます。
  2. B-CASカードを引き抜きます。

アンテナケーブルを接続する

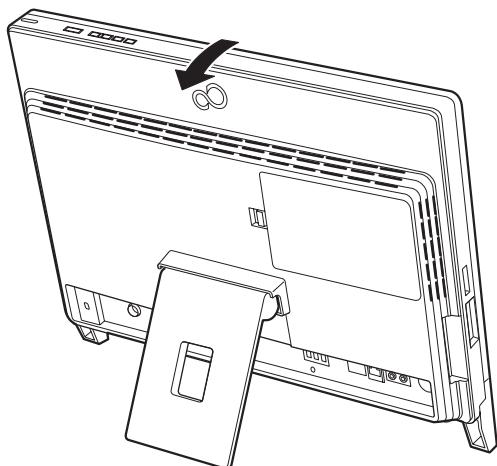
⚠ 警告

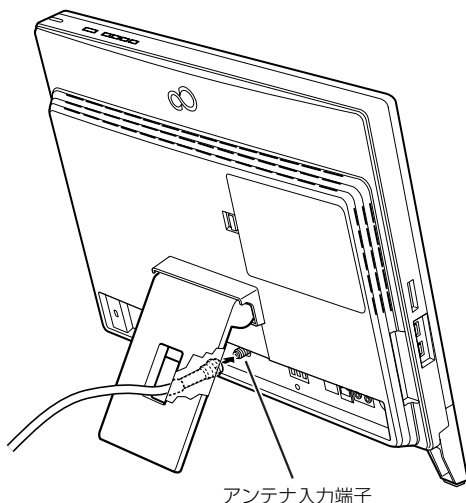
- 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
  落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
  落雷による感電、火災の原因となります。

重要

- アンテナケーブルを接続するときの注意
  - ・アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないでください。
  - ・F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いの場合、ネジを締めるときに指をはさまないように気を付けてください。

1 パソコンや接続されている機器の電源が入っている場合は、すべての電源を切り（→ P.61）、パソコン本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

2 パソコン本体の液晶ディスプレイの角度をかたむけます。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

3 パソコン本体のアンテナ入力端子に、アンテナケーブルを接続します。

4 パソコン本体の液晶ディスプレイの角度を直します。

- デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は、インターネットに接続する必要があります。その場合は、Windows のセットアップが終わってから、「インターネットの設定をする」（→P.48）をご覧になり、接続してください。
  電話回線による双方向通信には、対応しておりません。

インターネットに接続する

地デジ対応 Windows Media Center 搭載機種のみ

テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。

リモコン

リモコン添付機種のみ

リモコンをお使いになるときの注意事項や、乾電池の交換方法について説明します。

リモコンで操作できること

リモコンでは次の操作ができます。

- ●テレビを見る
- ●テレビを録画する
- ●録画したテレビ番組を見る
- ●DVD や Blu-ray Disc（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）を見る
- ●音楽を聴く
- ●パソコンを電源オン／オフ、スリープ、または休止状態にする

テレビに関する操作について、詳しくは、次のマニュアルをご覧ください。

『テレビ操作ガイド』

リモコンをお使いになるうえでの注意

- ●操作は、このパソコンに添付のリモコンで行ってください。
- ●リモコンをお使いになる場合には、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にある をクリックし、(リモコンマネージャー）が表示されているか、確認してください。
- ●ソフトウェアの起動中や終了中にボタン操作を行うと、パソコンが正常に動作しないことがあります。
- ●信号が受けやすいように、リモコンをパソコン本体の受光部に向けてください。
- ●パソコン本体の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- ●直射日光などの強い光が当たる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- ●リモコンをプラズマディスプレイ、プラズマテレビ、およびハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはプラズマディスプレイ、プラズマテレビ、およびハロゲンヒーターなどから放射される赤外線により、リモコンとパソコン本体の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。
  このようなときは、パソコン本体またはプラズマディスプレイ、プラズマテレビ、およびハロゲンヒーターなどの設置場所を変更してください。

リモコンに乾電池を入れる

⚠ 警告

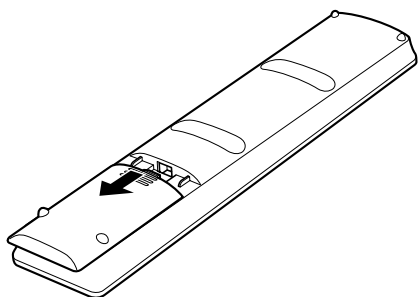
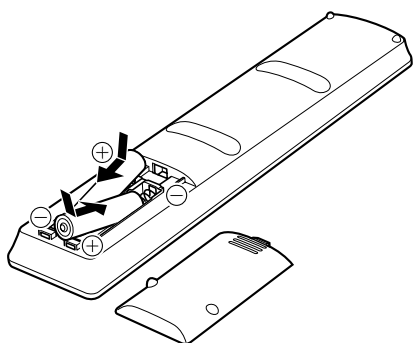
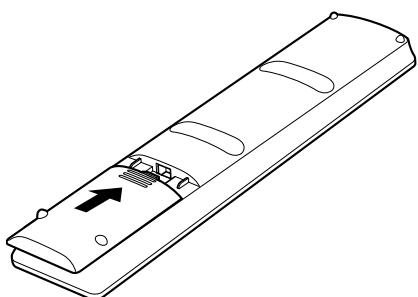
- ● 乾電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
  間違えると電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。
- ● 充電式電池はお使いにならないでください。
  充分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。
  また、故障の原因となる場合があります。

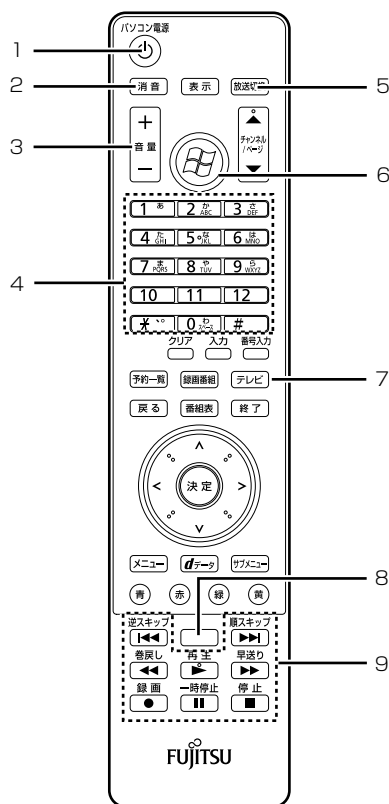
⚠ 注意

- ● 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。
  故障の原因となることがあります。
- ● 使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。
- ● 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。
  液もれ、破裂の原因になります。

Point

- ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。

2 乾電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きを確認し、添付の単４形乾電池を入れます。

3 電池ボックスのふたを閉めます。

各部の名称と働き

Windows が起動しているときの主な機能について説明します。

1 **パソコン電源ボタン**
パソコン本体の電源ボタンのように使います。

2 **消音ボタン**
パソコンから出力されている音声を一時的に消します。もう一度押すと元に戻ります。

3 **音量ボタン**
パソコンの音量を調節します。

4 **数字ボタン**
テレビのチャンネルやDVD-VIDEOのチャプターなどを指定します。

5 **放送切換ボタン**
テレビチューナー（地上デジタル、BS・110 度 CS デジタル）搭載機種の場合
このパソコンで受信する放送を切り換えます。
テレビチューナー(地上デジタル)搭載機種の場合
このパソコンでは使用できません。

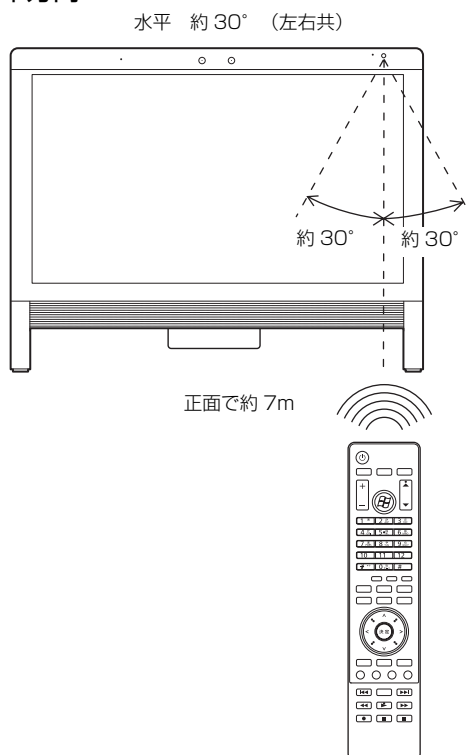
6 **Media Center ボタン**
「Windows Media Center」を起動します。

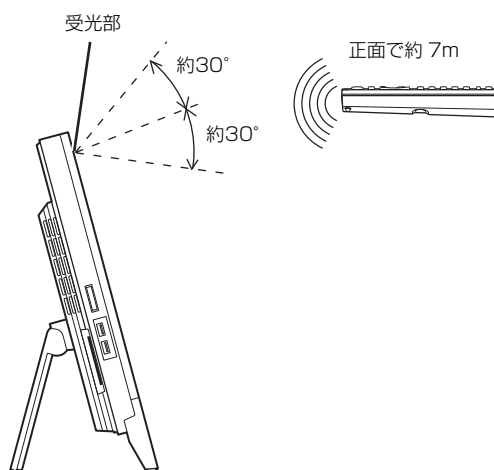
7 **テレビボタン**
テレビを見るためのソフトウェアを起動します。

8 **刻印のないボタン**
このパソコンでは使用できません。

9 **操作ボタン**
音楽 CD、DVD-VIDEO や録画したテレビ番組の再生などができます。

パソコン本体のリモコン受光範囲

■水平方向

（イラストは機種や状況により異なります）

■垂直方向

（イラストは機種や状況により異なります）

Web カメラ

Web カメラでできること

このパソコンの Web カメラでは、主に次のことができます。

Point

- 　Web カメラを使用する場合は、部屋を明るくしてください。
- 　Webカメラを使用するソフトウェアを複数同時に使うことはできません。

●テレビ電話を楽しむ
　インターネットに接続している仲間と、リアルタイムでメッセージの交換などもできます。
　Windows Live Messenger を使います。

●動画や静止画を撮影する
　撮影したデータは、メールに添付することもできます。
　YouCam を使います。

●ジェスチャーコントロール機能を使う
　パソコンに取り付けられた Web カメラに向かって手を動かすことで、マウスやキーボードを使わずにパソコンを操作することができます。

●Sense YOU Technology を使う
　Web カメラを使ってパソコンの前に人がいるかどうかを検出します。機能は、次のとおりです。
　・画面をオンまたはオフに切り替える
　・パソコンを長時間使用していることをお知らせする
　・動画や音楽の再生を一時停止または再生を再開する

Web カメラを使うソフトウェアの起動方法と使い方

■YouCam

□起動方法

（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「CyberLink YouCam」▶「CyberLink YouCam」の順にクリックします。

詳しい使い方については、「YouCam」のヘルプをご覧ください。

「YouCam」のヘルプは、画面右上の ? をクリックすると表示されます。

■Windows Live Messenger

□起動方法

（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Windows Live Messenger」の順にクリックします。

Point

- 「Windows Live Messenger」のご利用には、Windows Live ID の取得が必要です。
- 「Windows Live Messenger」をこのパソコンよりアンインストールした場合、再度インストールするには「Windows Live Messenger」のホームページ（http://messenger.live.jp/）よりプログラムをダウンロードする必要があります。

Sense YOU Technology（人感センサー機能）

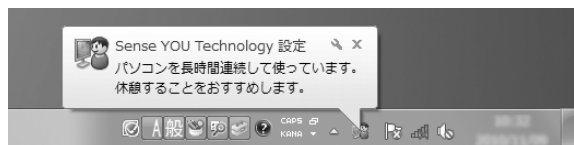
Sense YOU Technology とは

Sense YOU Technology［センス ユー テクノロジー］とは、Web カメラを利用して人の顔を検出する富士通独自の技術です。
Sense YOU Technology でできることは次のとおりです。なお、ご購入時の設定では、これらの機能は無効になっています。

■画面オフ機能

パソコンの前に人がいるかどうかを検出し、画面をオンまたはオフに切り替えることができます。

■休憩おすすめタイマー

パソコンの前に長時間人がいることを検出し、休憩をおすすめするメッセージを表示することができます。

■おまかせポーズ機能

パソコンの前に人がいるかどうかを検出し、動画や音楽を自動的に一時停止したり再生を再開したりすることができます。この機能は次のソフトウェアに対応しています。

- ●Windows Media Player
- ●WinDVD
- ●DigitalTVbox（搭載機種のみ）

Point

- 対応しているソフトウェアが複数同時に起動している場合、おまかせポーズ機能はお使いになれません。
- 常に手前に表示するように設定したウィンドウが表示されている場合や、画面右下の通知領域にポップアップが表示されている場合、おまかせポーズ機能が正しく働かない場合があります。
- Windows Media Player を全画面モードで起動中に、おまかせポーズ機能が働くと、一時的にウィンドウモードになります。
- 「おやすみディスプレイ」機能を有効にしていると、おまかせポーズ機能で一時停止している間は、画面の表示や音声が消えます。
  「おやすみディスプレイ」機能については、次のマニュアルをご覧ください。
  Web『補足情報』

Sense YOU Technology をお使いになるうえでの注意

●次の場合、人を検出できないことがあります。
・Web カメラから 1.5m 以上離れている場合
・サングラス、マスク、眼帯などを着用している場合
・顔を横または上下に向けていたり、首をかしげたりしている場合
・カメラに対して逆光の場合や部屋が暗い場合
上記に該当しない場合でも、ご使用の環境によっては、Sense YOU Technology が正しく動作しない場合があります。

●次のものを Web カメラが撮影すると、パソコンの前に人がいると誤検出することがあります。
・人の顔が掲載されたポスターや雑誌
・テレビや鏡に映る人

●2 人以上パソコンの前にいる状態で Sense YOU Technology を有効にした場合、1 人がパソコンの前から離れると、Sense YOU Technology が正しく動作しないことがあります。
●休憩おすすめタイマーは、1 時間以上パソコンの前に人がいることを検知し続けると休憩をおすすめする機能です。ただし、途中で 15 分以上パソコンの前に人がいることを検出しなかった場合は、休憩していると判断して連続使用時間の計測をリセットします。
また、次のような場合にも連続使用時間の計測をリセットします。
・休憩おすすめタイマーを無効から有効に変更したとき
・「Sense YOU Technology設定」を終了したとき
・省電力状態から復帰したとき
・「Sense YOU Technology 設定」の機能が一時的に無効になったとき
●Web カメラの設定を「白黒モード」、「上下反転」に変更していると、人を検出できません。
「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウの「カメラの設定」をクリックして表示される「FJ Camera のプロパティ」ウィンドウで、次の項目を□にしてください。
・「画像コントロール」の「上下反転」
・「特殊コントロール」の「白黒モード」
●画面オフ機能とおまかせポーズ機能を同時にお使いになることはできません。
●画面オフ機能やおまかせポーズ機能を有効にしていても、「おやすみディスプレイ」機能で画面の表示が消えている場合は、人を検出しても画面は元の状態に戻りません。
●次のソフトウェアを起動している間は、Sense YOU Technology は無効になります。
・Windows Media Player［注］
・Windows Media Center
・WinDVD［注］
・Windows Live Messenger
・NetworkPlayer
・YouCam
・Corel DirectDiscRecorder
・DigitalTVbox（搭載機種のみ）［注］
注：おまかせポーズ機能はお使いになれます。

Sense YOU Technology の初期設定

Sense YOU Technology を初めてお使いになるときは、初期設定が必要です。次の手順で設定を行ってからお使いください。

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Sense YOU Technology」▶「Sense YOU Technology 設定」の順にクリックします。
「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウが表示されます。

2 お使いになる機能の□をクリックして☑にします。
画面オフ機能、休憩おすすめタイマーをお使いになる場合は「画面オフ機能」タブを、おまかせポーズ機能をお使いになる場合は、「おまかせポーズ機能」タブをクリックします。
「画面オフ機能を使う」をお使いになる場合は、必要に応じて次の項目を設定します。
・画面オフまでの時間
Web カメラに人の顔が検知されなくなってから画面を消すまでの時間を設定します。
・10 秒前からカウントダウンを表示する
☑にすると、画面がオフになる 10 秒前からカウントダウンするウィンドウが表示されます。
・画面復帰時にログイン画面にする
☑にすると、画面オフ状態から復帰するときにログイン画面を表示します。

3 「適用」をクリックします。

4 「お使いになるうえでのご注意」が表示された場合は、内容を確認し、「OK」をクリックします。

5 ウィンドウ右にあるプレビューエリアで、顔が緑色の枠に囲まれているか確認します。

（以降の画面は機種や状況により異なります）

Point

- おまかせポーズ機能をお使いになる場合は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Windows Media Player」の順にクリックし、「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウ右にあるプレビューエリアに黄色い枠が表示されたことを確認します。

6「OK」をクリックします。

Sense YOU Technology を使う

重要

- Sense YOU Technology は、利用するたびに機能を有効にする必要があります。
  次のような場合にも再度機能を有効にしてください。
  ・パソコンを再起動したとき
  ・パソコンの電源を切り、再度電源を入れたとき
  ・ログオフやユーザーの切り替えを行ったとき
  このようなときに自動的に Sense YOU Technology を有効にしたい場合は、次の手順で設定を行ってください。
  1. 画面右下の通知領域にある をクリックし、表示される （Sense YOU Technology設定）を右クリックします。
  2. 「次回から自動で起動する」をクリックします。

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Sense YOU Technology」▶「Sense YOU Technology 設定」の順にクリックします。

「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウが表示され、（Sense YOU Technology 設定）が通知領域に格納されます。

2「OK」をクリックします。

3 画面右下の通知領域にある をクリックし、 が表示されていることを確認します。

と表示された場合は、無効になっています。有効にするには、 を右クリックして表示されるメニューから、お使いになる機能を選択し、クリックしてください。

Point

- 画面をオフにするカウントダウンが頻繁に表示されるときは、「Sense YOU Technology の初期設定」（→P.93）の手順5を参考に、「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウの右にあるプレビューエリアで、正しく検出されていることを確認してください。
- 環境によっては顔がうまく検出されない場合があります。その場合は、次の手順でカメラの設定を変更すると改善する場合があります。

1. (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Sense YOU Technology」▶「Sense YOU Technology 設定」の順にクリックします。
「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウが表示されます。
2. 「カメラの設定」をクリックします。
3. 「FJ Cameraのプロパティ」の「色合い」を微調整します。
4. 「OK」▶「OK」の順にクリックします。

OmniPass （Web かんたんログイン）

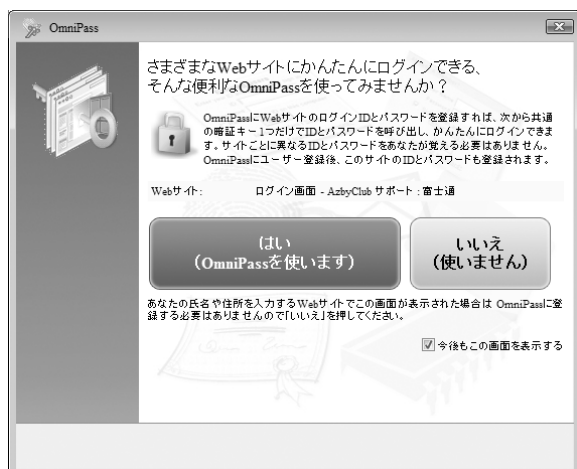
Web かんたんログインとは

複数の Web サイトのログイン ID やパスワードを 1 つの暗証キーで管理できます。
暗証キーは「数字」、「色」、「動物」から 1 つを選んで、４つのキーの組み合わせで作成することができます。

重要

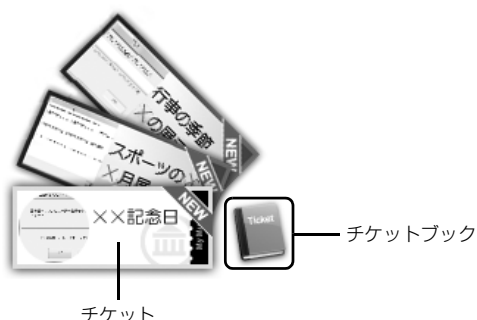
- 銀行など重要な情報を扱うサイトでは本機能を使用しないでください。
- 「Internet Explorer」をご利用時に、OmniPass のアドオン（「OmniPass Helper」）を有効にするかどうか選択するメッセージが表示された場合は、有効にするようにしてください。無効にすると、本機能を使えなくなります。
- サイトによっては、Web かんたんログインの登録画面が表示されない場合があります。
- 「Google Chrome」では、本機能は使えません。

Web かんたんログインの使い方

インターネットに接続していて、特定のサイトにログインしようとすると、次のような画面が表示されます。

画面の指示に従って暗証キーを作成すると、次回以降そのサイトにログインするときに、ここで作成した暗証キーを使ってログインすることができるようになります。
次回以降はサイトを登録するだけで、同じ暗証キーを使ってログインできるようになります。
Web かんたんログインを使う方法は、「AzbyClub サポート」で紹介しています。「AzbyClub サポート」でQ&A ナンバー「0309-5656」を検索してご覧ください。

マイフォトミュージアム

マイフォトミュージアムとは

パソコンに写真を取り込むだけで、季節やイベントに応じたアルバムが自動で作成される機能です。
新しいアルバムができると、デスクトップのガジェットにチケットが表示されます。チケットをクリックすると、アルバムを見ることができます。

Point

- チケットは、アルバム作成の条件に合う写真があれば毎日発行されます。
- チケットブックをクリックすると、過去に発行されたチケットの一覧が表示されます。

マイフォトミュージアムの使い方

アルバムは「ライブラリ」内の「ピクチャ」フォルダーにある写真を対象に作成されます。
このパソコンでは、メモリーカードをダイレクト・メモリースロットに差し込むと、自動的に「マイフォト」が起動して、写真が「ライブラリ」内の「ピクチャ」フォルダーに取り込まれるように設定されています。
「マイフォトミュージアム」の詳しい操作方法は、(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「マイフォトミュージアム」▶「マニュアル」の順にクリックして、「マイフォトミュージアム」のヘルプをご覧ください。

Point

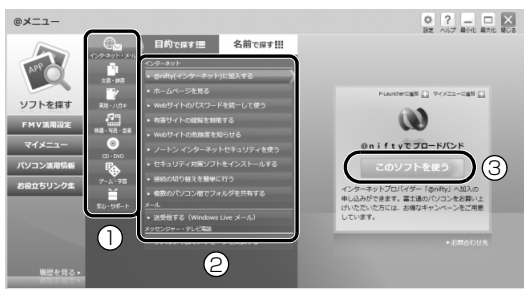
- メモリーカードの写真を「ワンプッシュフォトコピー」を使って取り込むこともできます。使い方については、「メモリーカード」－「ワンプッシュフォトコピーの設定をする」をご覧ください。

搭載されているソフトウェアを使う

このパソコンには、搭載されているソフトウェアを簡単に探すための、「@メニュー」が搭載されています。やりたいことがあるけれど、どのソフトウェアを使えば良いかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます。

「@メニュー」を起動するには、(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「3. ソフトを探す」の順にクリックします。

「@メニュー」の使い方

1. カテゴリを選択します。
2. やりたいことを選択します。
3. 「このソフトを使う」をクリックして、ソフトウェアを起動します。

（画面は機種や状況により異なります）

Point

- このパソコンに搭載されているソフトウェアの一覧は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）に掲載されています。
  「AzbyClubサポート」でQ&Aナンバー「8107-4567」を検索して、ソフトウェア一覧を確認する方法をご覧ください。

周辺機器の取り扱い

メモリなどの周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

Point

- 周辺機器とは
  メモリ、プリンター、デジタルカメラなど、パソコン本体に取り付ける装置の総称です。

⚠ 警告

- 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
  誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
  純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
  純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

●**周辺機器に添付のドライバーがお使いのWindowsに対応しているか確認してください**

お使いになる周辺機器のドライバーがお使いのWindows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。

●**一度に取り付ける周辺機器は1つだけにしてください**

一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバーのインストールなどが正常に行われないおそれがあります。1つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。

●**コネクタの向きを確認してください**

周辺機器を接続する場合は、まっすぐ接続してください。

●**テレビ番組の視聴中や録画中は周辺機器を接続しないでください（テレビチューナー搭載機種のみ）**

テレビ番組の視聴中や録画中、または録画予約の待機中は、周辺機器を取り付けたり取り外したりしないでください。

●**マイク・ラインイン兼用端子／ヘッドホン・ラインアウト兼用端子への接続について**

次のような場合には、あらかじめ音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンは使用しないでください。雑音が発生する場合があります。

・パソコン本体の電源を入れるとき、切るとき
・マイク・ラインイン兼用端子やヘッドホン・ラインアウト兼用端子にケーブルを接続するとき

●**周辺機器の電源について**

周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■パソコン本体内部に取り付ける場合の注意

●**パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください**

パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。安全のため、マニュアル内に電源プラグを抜くように指示がある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
パソコン本体の電源の切り方については、「Windows を終了する」（→ P.61）をご覧ください。

●**電源を切った直後は作業をしないでください**

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。

●**内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください**

傷を付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。

●**柔らかい布の上などで作業してください**

固いものの上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

●**静電気に注意してください**

内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体にたまった静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れるなどして静電気を放電してください。

●**基板表面やハンダ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください**

金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。

電源オフ USB 充電機能

電源オフ USB 充電機能とは

電源オフ USB 充電機能とは、パソコンが電源オフ、スリープ、休止状態のときでも、USB 充電に対応した周辺機器を充電することができる機能です。
電源オフ USB 充電機能は、ご購入時には無効に設定されています。
お使いになる場合は、「電源オフ USB 充電ユーティリティ」で設定を変更してください。

電源オフ USB 充電機能をお使いになるうえでの注意

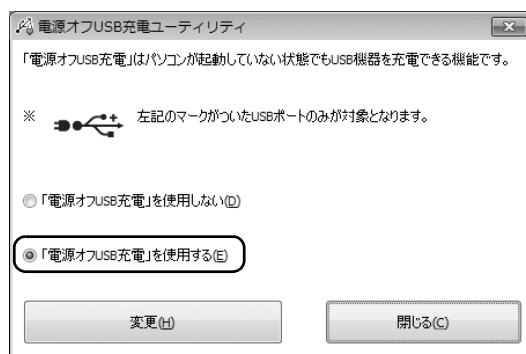
電源オフ USB 充電機能を有効にした場合、充電を必要としない USB 周辺機器（USB メモリ、キーボード、マウスなど）は、電源オフ USB 充電機能に対応するUSBコネクタに接続しないでください。
※ 電源オフ USB 充電機能対応の USB コネクタ（）の場所については、「各部の名称と働き」をご覧ください。

- 周辺機器によっては、電源オフ USB 充電ができない場合があります。
- スリープから復帰したときに、電源オフ USB 充電機能対応の USB コネクタに接続した USB 周辺機器について、次の現象が発生する場合があります。なお、現象が発生しても USB 周辺機器本体および記録データが破損することはありません。
  - ・デバイス認識のポップアップウィンドウが表示される
  - ・「自動再生」ウィンドウが表示される
  - ・接続した USB 周辺機器のドライブ名が変わる
  - ・接続した USB 周辺機器と連携しているソフトウェアが起動する

- 電源ボタンを４秒以上押してこのパソコンの電源を切った場合は、電源オフ USB 充電はできません。

電源オフ USB 充電機能を設定する

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「電源オフ USB 充電ユーティリティ」▶「設定」の順にクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。

2 「電源オフ USB 充電を使用する」の をクリックして にします。

3 「変更」をクリックします。
「設定を変更しました。」というメッセージが表示されます。

4 「OK」をクリックします。

メモリ

メモリの組み合わせを確認する

■ご購入時のメモリの組み合わせ

ご購入時に搭載されているメモリ容量は、次の表のとおりです。

品名	総容量	メモリスロット	
		1	2
FH56/GD、FH54/GT	4GB	4GB	－
FH55/GN、FH50/GN（8GB を選択）	8GB	4GB	4GB
FH55/GN、FH50/GN（4GB を選択）	4GB	4GB	－

■メモリの組み合わせ

お使いの機種によっては、メモリ容量を増やして、パソコンの処理能力などを上げることができます。メモリを交換する場合は、次の表のように組み合わせてください。

この表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しないことがあります。

総容量	メモリスロット	
	1	2
8GB	4GB	4GB

メモリの取り扱い上の注意

⚠ 警告

- メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

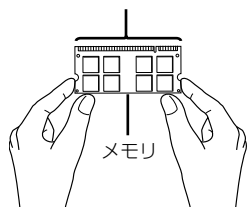
⚠ 注意

- メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
  指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- 基板表面上の突起物には手を触れないでください。
  けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- 取り外したメモリは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
  お子様が手を触れたり、口に入れると、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。

- ●メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- ●メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてからメモリを取り付け直してください。
- ●メモリは下図のように両手でふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

- ●パソコン本体の電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。必ず電源プラグをコンセントから抜いたことを確認してください。

必要なものを用意する

■メモリ

このパソコンに取り付けられるメモリについては、富士通ショッピングサイト「WEB MART」の「周辺機器」(http://www.fujitsu-webmart.com/) をご覧になるか、ご購入元にお問い合わせください。

■プラスドライバー（ドライバーサイズ：2 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジ頭のサイズに合った2番のドライバーをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジ頭をつぶすおそれがあります。

メモリの交換方法

⚠ 警告

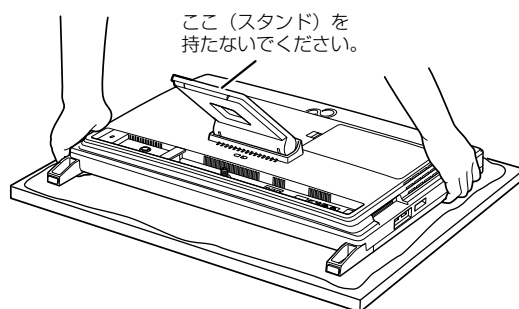
- ● メモリの取り付けや交換を行うときなど、背面カバーを開ける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらくたってから背面カバーを開けてください。
  落雷が起きた場合に感電の原因となります。

ここでは、メモリを増やす方法を説明します。
「メモリの取り扱い上の注意」（→ P.100）をご覧になり、作業を進めてください。

1 **パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります（→ P.58）。**

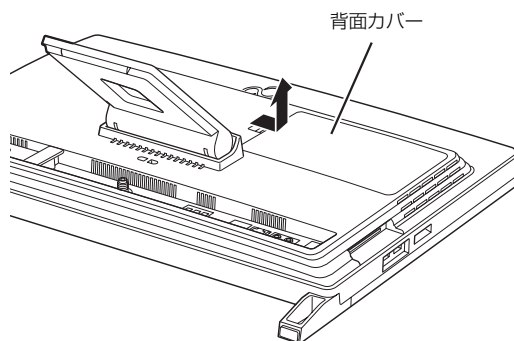
2 **電源プラグをコンセントから抜きます。**
電源を切った直後は、パソコン本体内部が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってください。

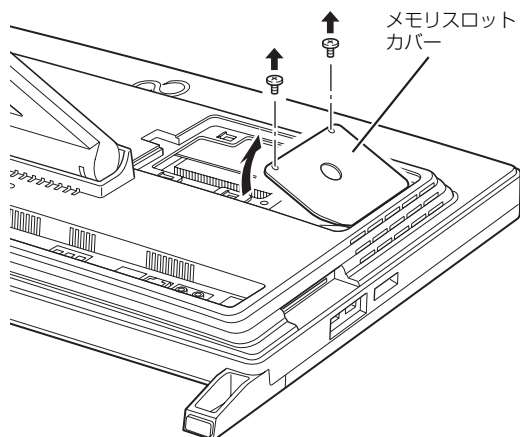
3 **パソコン本体に接続されている機器をすべて取り外します。**

4 **パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。**
作業は厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上でしてください。特に、液晶ディスプレイに突起物があたらないようにしてください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

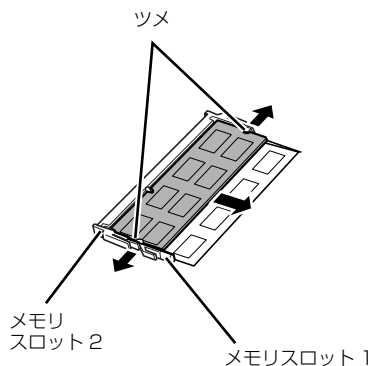
重要

- ▸ パソコン本体は重量があります。
  パソコン本体を横にするときは、衝撃を与えたり、落下させないよう充分ご注意ください。

5 **背面カバーを取り外します。**

6 メモリスロットカバーを取り外します。

メモリスロットカバーのネジ（2ヶ所）を外し、メモリスロットカバーを取り外してください。

7 メモリ容量の組み合わせを確認します（→ P.100）。

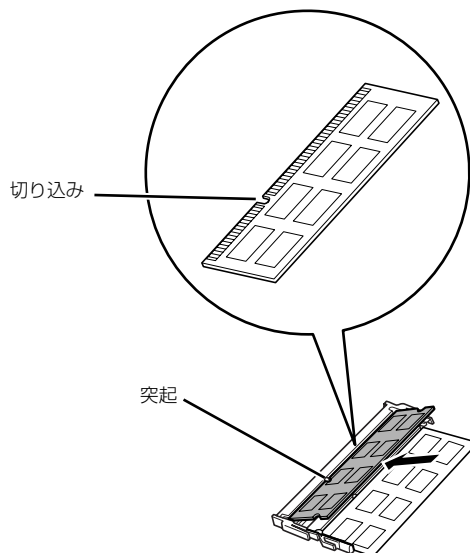
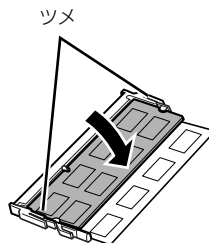
8 メモリスロット2、メモリスロット１の順に取り外します。

メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がります。両手でメモリのふちを持って斜め上の方向に引っ張り、スロットから取り外します。

重要

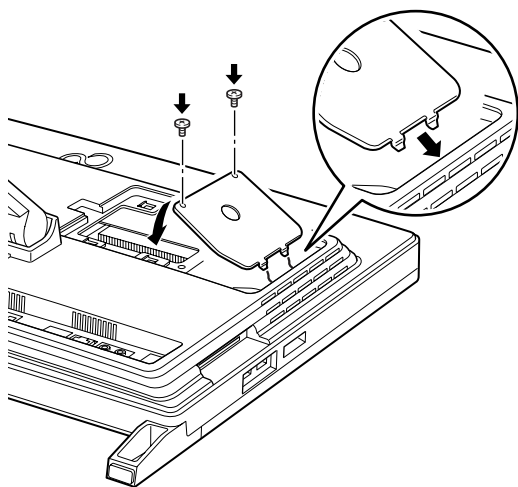
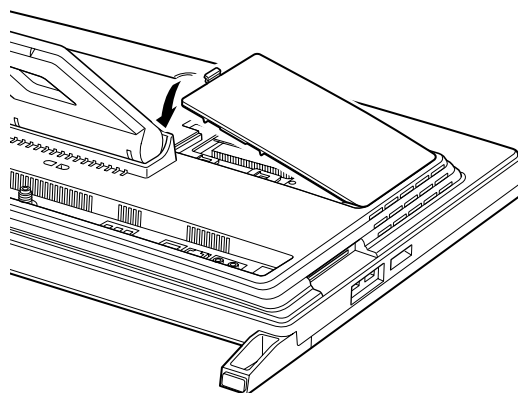
- メモリを取り外すときの注意
  メモリスロットの両側のツメを外側に開くときに、指をはさまないようにご注意ください。

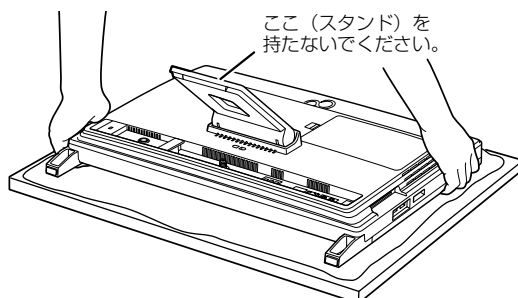
9 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。

メモリスロット１、メモリスロット２の順に差し込みます。

端子の切り込みと、メモリスロットの突起が一致するように、メモリスロットにまっすぐ差し込んでください。

10「パチン」と音がするまで下に倒します。

メモリを押さえている両側のツメが、きちんとはまったことを確認してください。

11 メモリスロットカバーを取り付けます。

メモリスロットカバーを取り付け、ネジ（2ヶ所）で固定します。
ネジは固く締めすぎないようにしてください。

12 背面カバーを取り付けます。

13 パソコン本体を立てます。

重要

- パソコン本体は重量があります。
  パソコン本体を立てるときは、衝撃を与えたり、落下させないよう充分ご注意ください。

14 パソコン本体に接続されていた機器をすべて取り付けます。

15 パソコン本体および接続されている機器の電源プラグを、コンセントに差し込みます。

続いて、メモリが正しく取り付けられたかメモリ容量を確認しましょう。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、メモリが使える状態になっているかを確認してください。
必ず、背面カバーを取り付けてから確認してください。

1 パソコン本体の電源を入れます（→ P.59）。

Point

- Windows が正常に起動しない場合
  メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。
  その場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「システム」の順にクリックします。

3 丸で囲んだ部分の数値が、取り付けたメモリの分だけ表示されているかを確認します。

（画面は機種や状況により異なります）

4 をクリックします。

F-LINK （ケータイ連携機能）

F-LINK とは

F-LINK は、ネットワークを使ってパソコンや携帯電話間でデータのやり取りができる富士通独自の技術です。ケーブルを接続したり、媒体を用意したりする必要がないので大変便利です。

F-LINK を使うと、次のようなことができます。

- 携帯電話のデータをパソコンで一括管理する
  携帯電話内の写真、動画などのデータや、歩数・活動量を自分のパソコンに取り込んで一括管理します。
- データのやり取りをする
  パソコンと携帯電話間やパソコンどうしで必要なデータを指定し、やり取りをします（「ダイレクト送信」「ダイレクト受信」）。パソコンで編集した写真や動画を携帯電話に送信したり、携帯電話で撮影した写真や動画を同じネットワーク内の人のパソコンに送信したりできます。
- データを共有する
  パソコンと携帯電話間やパソコンどうしで共有フォルダーを設定し、共有フォルダーから必要なデータを取り込むことができます。

F-LINK をお使いになるうえでの注意

■携帯電話の対応機種について

F-LINK に対応した携帯電話については、ホームページ（http://azby.fmworld.net/support/soft/flink/）をご覧ください。

■注意事項

- このパソコンにあらかじめインストールされている「ノートン インターネット セキュリティ」や「ウイルスバスター」以外のセキュリティ対策ソフトをインストールしている場合、次のプログラムからネットワークの接続の要求があったときは、接続を許可するように設定してください。
  ・F-LINK.exe
- 送受信したデータを利用するには、送信側／受信側ともにデータを利用できる環境が必要です（例：受信側に送信側と同様のソフトウェアが搭載されていない場合、データは閲覧できません）。
  なお、携帯電話によっては扱えるファイル形式やファイルサイズが異なります。携帯電話に添付のマニュアルをご覧ください。
- ルーターで機器間の通信を遮断する設定が行われていた場合、ルーター経由で F-LINK の機能が動作しません。ルーターを経由する場合は、機器間の通信を許可する設定をしてください。設定の方法は、ルーターのマニュアルをご覧ください。
- 画面イメージや操作手順は、ご購入時の状態のパソコンと携帯電話の操作になります。F-LINK のアップデートや携帯電話の機種によって操作が異なる場合があります。F-LINK のヘルプや携帯電話のマニュアルをご覧になりながら操作を行ってください。

F-LINK の基本的な使い方

ケータイ連携の基本的な使い方を説明します。その他の使い方については、F-LINKのヘルプをご覧ください。
なお、F-LINK をお使いになる前に、無線 LAN が利用できる状態になっていることを確認してください。

Point

- 無線LAN非搭載機種は、インターネットが利用できる状態になっていることを確認してください。
- F-LINK のヘルプは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「F-LINK」▶「ヘルプ」の順にクリックすると表示されます。

■携帯電話のデータをパソコンで一括管理する

次のデータをパソコンで一括管理できます。

- 写真
- 動画
- 歩数・活動量

初めてお使いになるときは、初期登録が必要です。

□携帯電話の初期登録をする

1 登録する携帯電話を準備します。

2 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「F-LINK」▶「F-LINK」の順にクリックします。

3「ケータイ連携」タブをクリックし、「ケータイ登録」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

Point

- 無線 LAN 非搭載機種では、SSID 入力欄は表示されません。

4 画面の表示に従って、携帯電話を操作します。

5 しばらくすると、次のような画面に切り替わります。

Point

- 歩数・活動量は、「ウォーキング日記」がインストールされている場合のみ表示されます。
- 「ケータイ経由でインターネットに接続」をクリックすると、携帯電話のネットワークを経由してインターネットに接続することができます。この機能は、パソコンがインターネットに接続できる環境にない場合のみご利用になれます。画像を含むホームページの閲覧など、データ量の大きい通信を行うと携帯電話の通信料が高額となりますので、ご注意ください。

これで登録は完了です。

□携帯電話のデータを取り込む

最初に、携帯電話で操作します。

1 F-LINK を起動し、「パソコン連携」を選択します。

しばらくすると、パソコン側で F-LINK が自動的に起動します。

Point

- 携帯電話の操作については、携帯電話のマニュアルをご覧ください。

ここからは、パソコンで操作します。

2「nn と連携中（nn にはお使いの携帯電話の名称が表示されます）」と表示されたら、取り込みたいデータのボタンをクリックします。

Point

- 歩数・活動量は、「ウォーキング日記」がインストールされている場合のみご利用になれます。

3 携帯電話内のデータがパソコンに取り込まれ、それぞれのソフトウェアが起動できます。

写真と動画の場合は「マイフォトビューアー」、歩数・活動量の場合は「ウォーキング日記」が起動します。

Point

- 「次回、ケータイ連携時に自動的に取込む」の □ を ☑ にすると、次回以降は連携を開始すると自動的に携帯電話のデータをパソコンに取り込みます。

- 2回目以降は、前回からの差分のデータのみ取り込まれます。
- 写真や動画は、「ライブラリ」内の「ピクチャ」の中にある「F-LINK」フォルダーに取り込まれます。

■パソコンから携帯電話にファイルを送る

最初に、受信側の携帯電話で操作します。

1 F-LINKを起動し、「ダイレクト受信」を選択します。

Point

- 携帯電話の操作については、携帯電話のマニュアルをご覧ください。

2 「自宅モード」または「外出先モード」を選択し、「OK」を押します。

しばらくすると、画面に「受信待機中です」と表示されます。

Point

- 送信元が特定できない駅やカフェなどの公共の場所で受信する場合には、「外出先モード」をお使いいただくことをお勧めします。
- 「外出先モード」の場合、パスキーを入力する必要があります。
  パスキーは受信側と送信側で同じものを入力する必要があります。パスキーは、8 文字以上の半角数字にすることをお勧めします。

続いて、パソコンで操作します。

3 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「F-LINK」▶「F-LINK」の順にクリックします。

4 「ダイレクト送信」タブをクリックします。

5 「送信先」欄で送信する携帯電話を選択し、「選択」をクリックしてデータを選択します。

Point

- 送信先が表示されない場合、「送信先」欄右上にある「更新」をクリックしてください。
- 送信先を選択した後、もう一度クリックすると選択を解除することができます。
  また同時に複数の送信先を選択することができます。
- 無線 LAN 非搭載機種では、携帯電話をルーターに接続してから行ってください。

6 「送信データ」欄にデータが表示されたら、送信するファイルを選択して、「送信」をクリックします。

Point

- 同時に複数のファイルを送信する場合は、【Ctrl】を押しながら、送信するファイルを選択してください。
- 「パスキー」ウィンドウが表示された場合、パスキーを入力し、「OK」をクリックしてください。

7 「ファイルを送信しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

これで、携帯電話にデータが送信できました。この後は、携帯電話でデータの確認や保存をしてください。

■携帯電話からパソコンにファイルを送る

最初に、受信側のパソコンで操作します。

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「F-LINK」▶「F-LINK」の順にクリックします。

2 「受信 BOX」タブをクリックし、「ダイレクト受信」をクリックします。

Point

- 無線 LAN 非搭載機種では、「ダイレクト受信」は表示されません。携帯電話をルーターに接続して、手順 5 から操作してください。

3 「現在、このパソコンに接続している他の機器の接続が一時的に切断されます。続行しますか？」と表示された場合、「はい」をクリックします。

4 「ダイレクト受信の設定」ウィンドウが表示されたら、「自宅モード」または「外出先モード」を選択し、「ダイレクト受信」をクリックします。
しばらくすると、画面に「ダイレクト受信の準備中です。」と表示されます。

Point

- 送信元が特定できない駅やカフェなどの公共の場所で受信する場合には、「外出先モード」をお使いいただくことをお勧めします。
- 「外出先モード」の場合、パスキーを入力する必要があります。
パスキーは受信側と送信側で同じものを入力する必要があります。パスキーは、8 文字以上の半角数字にすることをお勧めします。
- 共有データの設定をしている場合には、「確認」ウィンドウが表示されます。表示されたメッセージ画面をお読みになり、「共有を解除する」または「共有を解除しない」を選択してください。

続いて、携帯電話で操作します。

5 F-LINKを起動し、「ダイレクト送信」を選択します。

Point

- 携帯電話の操作については、携帯電話のマニュアルをご覧ください。

6 送信するパソコンとファイルを選択し、送信します。

続いて、パソコンで操作します。

7 「ファイルを受信しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。

Point

- ファイルをダブルクリックすると、ファイルが開いて内容を確認することができます。
- 受信したデータを保存しておきたいときは、「保存」をクリックして任意の場所に保存してください。
- 「受信データ」欄にあるデータを削除する場合は、データを選択し、「削除」をクリックしてください。

■「データ共有 / 取込」について

データを共有することは、「データ共有 / 取込」を使ってもできます。「データ共有 / 取込」は、F-LINK 対応のパソコンや携帯電話から直接データの取り込みができます。詳しい使い方については、F-LINK のヘルプをご覧ください。

- 「データ共有 / 取込」で共有しているフォルダーが共有相手から読み取りできないときは、次の手順に従って、設定を変更してください。
  1. (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」の順にクリックし、「ネットワークと共有センター」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
  「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。
  2. 「共有の詳細設定の変更」をクリックします。

3.「パスワード保護共有」の「パスワード保護の共有を無効にする」の ◎ を ◉ にしてください。

一度設定すると、次回以降設定を変更する必要はありません。

●「データ共有 / 取込」で携帯電話の共有フォルダーを開くまでに時間がかかる場合や読み込みに失敗する場合は、次の設定を変更してください。

1.「Internet Explorer」を起動して、「ツール」▶「インターネット オプション」の順にクリックします。
2.「接続」の「LAN の設定」をクリックします。
3.「設定を自動的に検出する」および「LAN にプロキシサーバーを使用する」の ☑ をクリックして □ にしてください。

パワーオフスピーカー

パワーオフスピーカーとは

パソコンが電源オフ／スリープ／休止状態のときに、市販のオーディオプレーヤーをマイク・ラインイン兼用端子に接続して、パソコンを外付けのスピーカーとして利用する機能です。

パワーオフスピーカーをお使いになるうえでの注意

●この機能を「使う」に設定した場合、パソコンの電源が切れている状態でも、オーディオケーブルまたは電源ケーブルを抜き差しするときにノイズが発生する場合があります。

●音量調節は、接続しているオーディオプレーヤーで行ってください。パソコン側では、音量調節はできません。また、その後にオーディオプレーヤーをお使いになるときは、元の音量に戻してお使いください。

●パソコンで設定したサウンドの設定（左右バランス、音量など）は、反映されません。

●パソコンとオーディオプレーヤーを接続するケーブルは添付されていません。別途ご用意ください。

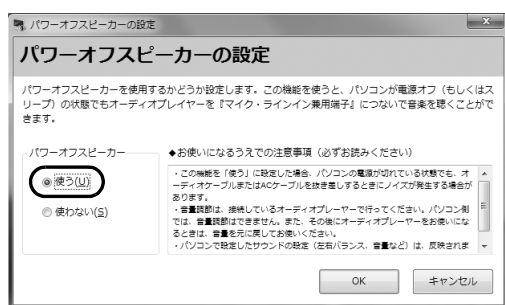
●AC アダプタをコンセントに接続してご利用ください。

パワーオフスピーカーの設定をする

ご購入時の状態では、この機能は無効になっています。次の手順で設定を有効にしてください。

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「PowerUtility」▶「パワーオフスピーカー」▶「パワーオフスピーカーの設定」の順にクリックします。

「パワーオフスピーカーの設定」ウィンドウが表示されます。

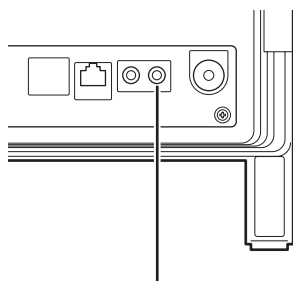
2 「お使いになるうえでの注意事項」をよくお読みになり、「パワーオフスピーカー」の「使う」の ◯ を ◉ にし、「OK」をクリックします。

パワーオフスピーカーを使う

パワーオフスピーカーの設定を行った後、次の手順を行います。

1 Windows を終了します（→ P.61）。

パソコンをシャットダウン、スリープ、または休止状態にしても利用できます。

2 オーディオプレーヤーの音量を小さくします。

3 パソコンのマイク・ラインイン兼用端子とオーディオプレーヤーをケーブルで接続します。

マイク・ラインイン兼用端子

4 オーディオプレーヤーを再生します。

必要に応じてオーディオプレーヤーの音量を調節してください。

お手入れ

このパソコンを快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明します。

⚠ 警告

- お手入れをする場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

- 清掃のときは、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
  故障・火災の原因となります。

パソコン本体やキーボードのお手入れ

重要

- 次のものは使わないでください。
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いものや、化学ぞうきん、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
  - ・アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。
- ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、リモコン（リモコン添付機種のみ）のお手入れを行うときは、あらかじめ乾電池や充電池を取り出してください。

●パソコン本体内部や通風孔について
- ・ほこりがたまらないように、定期的に清掃してください。
- ・掃除機を使ってほこりを吸い取ってください。
- ・詳しくは「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→ P.110）をご覧ください。

●パソコン本体やマウス、キーボード、リモコン（リモコン添付機種のみ）などの汚れを取る場合
- ・乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。

・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って、拭き取ってください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また拭き取るときは、パソコン本体やマウス、キーボード、リモコン（リモコン添付機種のみ）に水が入らないよう充分注意してください。

●キーボードのキーとキーの間のほこりなどを取る場合

・ゴミを吹き飛ばすのではなく、筆のような先の柔らかいものを使ってゴミを取ってください。ゴミを吹き飛ばすと、キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。

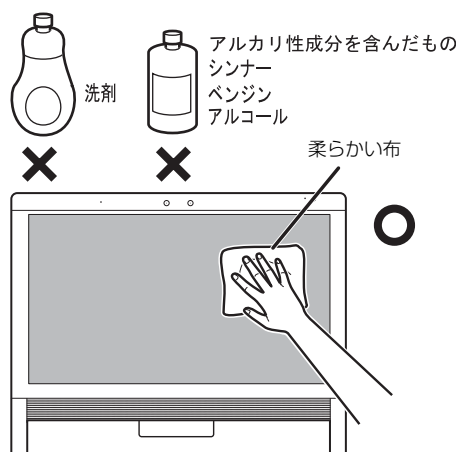
・掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。

液晶ディスプレイのお手入れ

重要

▶ 液晶ディスプレイのお手入れを行う場合の注意
市販のクリーナーや化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。

・アルカリ性成分を含んだもの
・界面活性剤を含んだもの
・アルコール成分を含んだもの
・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
・研磨材を含んだもの

液晶ディスプレイは、ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

CD/DVD ドライブのお手入れ

市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーを使うと、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合があります。故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
うまく読み取れない場合には、ディスクの指紋、ほこりなどの汚れを拭き取ることで改善されることがあります。
拭き取り方法はディスクの種類により異なります。詳しくはディスクの説明書／レーベルなどをご覧ください。

パソコン本体内部や通風孔のお手入れ

パソコン本体の通風孔や内部にほこりがたまると、故障の原因となります。
ほこりの堆積量は、お客様の環境によって異なります。次の清掃方法に従って、1ヶ月に 1 度程度掃除してください。

■必要なものを用意する

●掃除機

■清掃方法

□パソコン本体のお手入れをするうえでの注意

●充分に換気してください。
清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、充分に換気してください。

●洗剤は使用しないでください。

●エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

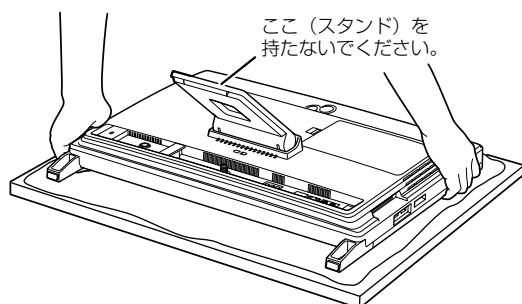
●清掃時に破損した場合、保証期間にかかわらず修理は有償となります。取り扱いについては、充分ご注意ください。

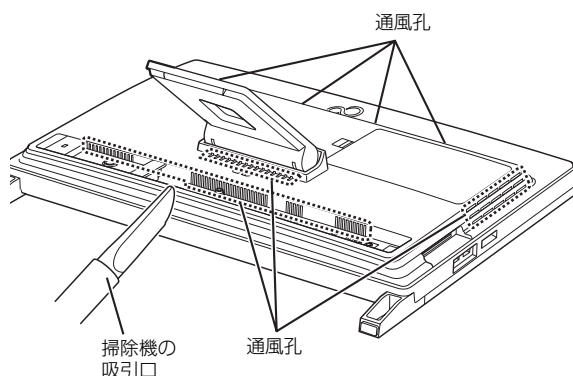
●静電気を放電してください。
パソコン本体内部は、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、掃除機の吸引口や人体にたまった静電気によって破壊される場合があります。パソコン本体内部のお手入れをする前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れたり、掃除機の吸引口先端を触れさせたりして、静電気を放電してください。

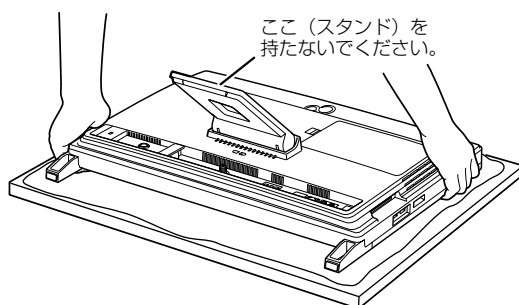
●装置内部には高温になる部分があります。
通風孔のお手入れを行うときは、パソコン本体の電源を切ってしばらくしてから行ってください。やけどの原因になることがあります。

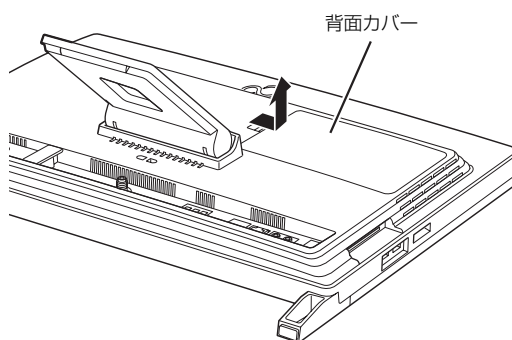
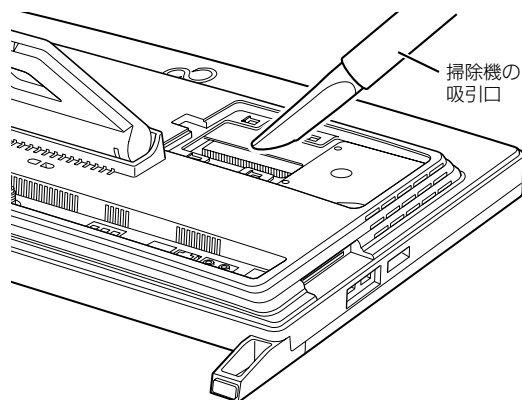
□通風孔の清掃方法

1 パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。

作業は厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上でしてください。特に、液晶ディスプレイに突起物があたらないようにしてください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 掃除機の吸引口にノズルを取り付け、通風孔のほこりを直接吸い取ります。

□パソコン本体内部の清掃方法

1 パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 背面カバーを取り外します。

3 掃除機でほこりを直接吸い取ります。

4 背面カバーを取り付けます。

5 パソコン本体の電源を入れ（→ P.59）、Windowsが起動することを確認してください。

■「お手入れナビ」について

このパソコンには、パソコン本体のお手入れ時期を通知するソフトウェア「お手入れナビ」がインストールされています。「お手入れナビ」は、定期的にパソコン本体のお手入れ時期を通知したり、パソコン本体内部や通風孔などにほこりがたまっている可能性があるときにお手入れ時期を通知したりします。なお、このパソコンご購入時には、定期的な通知が無効になっています。

ここでは、次の内容について説明します。

- 定期的なお手入れ時期の通知を有効にする方法
- 「お手入れナビ」が表示するメッセージと、メッセージが表示されたときの対処方法

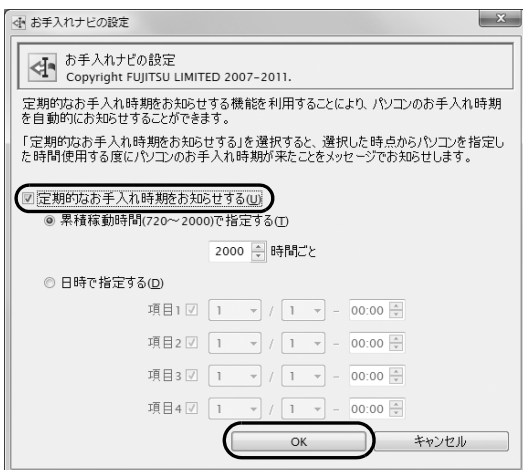
ほこりの堆積量は、お使いの環境によって異なります。「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」(→P.110)をご覧になり、1ヶ月に1度程度掃除してください。

□定期的なお手入れ時期の通知を有効にする

定期的に「お手入れナビ」からお手入れ時期がきたことを通知させる場合は、次の操作をしてください。

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「お手入れナビ」▶「お手入れナビの設定」の順にクリックします。

「お手入れナビの設定」ウィンドウが表示されます。

2 「定期的なお手入れ時期をお知らせする」の□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。

(画面は機種や状況により異なります)

□「お手入れナビ」が表示するメッセージと、その対処

- 「パソコンの内部や通風孔のお手入れの時期が来ました。」という画面が表示された場合

  定期的なお手入れ時期がくると、画面右下に「大切なお知らせです。こちらをクリックして、詳細をお確かめください。」という画面が表示されたり、画面右下の通知領域に(DustSolution)が表示されたりします。この場合は、次の手順で操作してください。

1 作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

2 画面右下の通知領域に(DustSolution)が表示されている場合は、(DustSolution)をクリックします。

3 「大切なお知らせです。こちらをクリックして、詳細をお確かめください。」をクリックします。

「大切なお知らせ」ウィンドウが表示されます。

4 「今すぐお手入れをする」の◎をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

「お手入れの手順」ウィンドウが表示されます。

5 画面のメッセージをよく読んでから、「今すぐ清掃をする」をクリックします。

パソコン本体の電源が切れたら、パソコン本体のお手入れをしてください(→P.110)。

- 警告メッセージが表示された場合

  パソコン本体内部や通風孔にほこりがたまっていたり、パソコン本体の通風孔をふさいでいる可能性がある場合や、パソコン本体内部のファンが正しく動作していない場合に、次の警告メッセージが表示されます。

  ・「パソコン内部の空気の流れがさえぎられ、高温になっています。」
  ・「パソコンのCPUファンが正しく動作していません。」
  ・「パソコンの System ファンが正しく動作していません。」

  警告メッセージが表示された場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了してから、画面の指示に従って操作してください。

ディスプレイに関する Q&A

このパソコンの液晶ディスプレイのご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。次の表に「参照先」が記載されている場合は、該当する項目もご覧ください。
問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」のご利用については、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口（Azby テクニカルセンター）」（→ P.156）をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
電源ランプが消灯している	AC アダプタが正しく接続されていない。	AC アダプタをコンセントに正しく奥まで確実に接続してください。	「初めて電源を入れる」（→ P.35）
	パソコンの電源が入っていない。	パソコンの電源を入れてください。	「Windows をスタートする」（→ P.59）
電源ランプが点滅している	パソコンが省電力状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すか、マウスを操作するか、またはパソコン本体の電源ボタンを押してください。[注] パソコンの省電力状態が解除されます。 注：パソコン本体の電源ボタンを４秒以上押すと、パソコンの電源が強制的に切れてしまいますので、ご注意ください。	Web『補足情報』
電源ランプが点灯している	おやすみディスプレイが実行中である。または「電源オプション」の設定に従ってディスプレイの電源が切れている。	次のいずれかの操作を行って、「おやすみディスプレイ」または「ディスプレイの電源を切る」を解除してください。 ・キーボードのキーを押す ・マウスを操作する	Web『補足情報』
	Windowsをクイックモードで終了している。	電源ボタンを押してください。	「Windows をスタートする」（→ P.59）

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
・文字の太さが場所によって異なる ・画面の内容が大きくぼやけて表示される	パソコンの設定が 1600 × 900 よりも低い解像度になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので、文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面の設定」で解像度を 1600 × 900 に設定してください。	Web『補足情報』
電源投入直後やWindowsの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り替わるため。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	―
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶ディスプレイの特性で、故障ではありません。	点灯したままの点や黒い点が見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	―
画面が明るすぎる	明るさが最大になっている。	ワイヤレスキーボードで明るさを調節してください。	「画面の明るさ」(→ P.73)
画面が暗い	明るさが最小になっている。	ワイヤレスキーボードで明るさを調節してください。	「画面の明るさ」(→ P.73)
画面が明るくなったり暗くなったりした	明るさセンサーがオンになっている。	パソコン本体を設置している環境の明るさに応じて画面の明るさが変わることがあります。 明るさセンサーをオフにして、ワイヤレスキーボードで明るさを調節してください。	Web『補足情報』
画面を切り替えても前の像がうすく残っている	長時間同じ静止画を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶ディスプレイの特性で、故障ではありません。	パソコン本体の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は約1日で自然に消えます。 像が残らないようにするには、スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	―
画面全体に表示されない	パソコンの設定が、拡大できない解像度になっている(標準表示仕様以外の解像度になっている)。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度に変更してください。	Web『補足情報』
画面の縦横比が崩れてしまう	パソコンの設定が標準表示仕様以外の解像度になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度に設定してください。	Web『補足情報』
ワイド切換が選択できない	パソコンの設定が、ワイド切換できない設定になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(1600 × 900、1024 × 768、800 × 600)に設定し、ディスプレイドライバーの設定を「ディスプレイスケーリングを保持」に変更してください。	Web『補足情報』
・画面がちらつく ・色がにじんだように見える	一部の階調、表示パターンによってちらつきや、にじみが発生します。	「カラー」の設定を変更して、ちらつきやにじみの少ない画質に調節してください。	Web『補足情報』

5 バックアップ

バックアップナビ

Windows が起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータのコピーを保存しておくことを「バックアップ」といいます。バックアップは大変重要ですので、忘れずに行うようにしてください。
このパソコンは「バックアップナビ」というバックアップツールを搭載しています。

バックアップナビの機能

２種類のバックアップ方法を組み合わせて効率的にバックアップをとりましょう。

■日々作成するデータをバックアップ

デジカメで撮った写真や、作成した文書などは定期的にバックアップしましょう。
「バックアップナビ」では、マイドキュメントやマイピクチャなどのそれぞれのユーザーが持っているフォルダーのデータを「マイデータ」と呼んでいます。
「バックアップナビ」では「マイデータ」をまとめて簡単にバックアップできます。
詳しくは「マイデータ」（→ P.116）をご覧ください。

自動バックアップ

「マイデータ」を定期的にバックアップするよう設定できます。「毎日」または「週に 1 回」など設定しておくと、忘れずにバックアップできて便利です。

●ご利用になるうえでの注意

・LIFEBOOK の場合、液晶ディスプレイは開いた状態でお使いください。
・テレビチューナー搭載機種およびワイヤレスTV 対応機種の場合、テレビ番組の視聴、録画中はバックアップしないでください。

このほかにも、いくつか注意していただきたい点があります。「自動バックアップの変更」画面右上の ? をクリックし、表示されるヘルプの注意事項をよく読んでから設定してください。

■C ドライブをまるごとバックアップ

トラブルに備えて、パソコンが快適に使用できている状態をまるごとバックアップしましょう。
「バックアップナビ」では C ドライブをまるごとバックアップできます。パソコンのセットアップが完了した後、およびインターネットやメールなどパソコンの設定を変更した後にバックアップすることをお勧めします。
詳しくは「パソコンの状態」（→ P.121）をご覧ください。

バックアップナビをお使いになるうえでの注意事項

■すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などは保存／復元できない場合があります。

■管理者権限を持つユーザーアカウントで Windows にログオンしていることを確認してください

管理者権限を持たない「標準ユーザー」で Windows にログオンしている場合は、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者権限を持つユーザーアカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。

■「バックアップナビ」以外のソフトウェアはすべて終了させてください

■D ドライブにバックアップしたデータは DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにコピーしてください

パソコンが故障したときは、D ドライブにバックアップしたデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。

■「トラブル解決ナビ」以外で領域を変更した場合は、「バックアップナビ」はお使いになれません

市販のソフトウェアなどでハードディスクの領域設定を行った場合は「バックアップナビ」はお使いになれません。
「バックアップナビ」を使える状態にするには、「リカバリ領域を復元する」（→ P.178）をご覧になり、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。

■このパソコンにバックアップした場合、他のパソコンには復元できません

バックアップしたデータを復元できるのは、このパソコンの C ドライブのみです。

■スリープや休止状態にしないでください

バックアップ／復元や、バックアップデータをディスクにコピー中にスリープや休止状態などの省電力状態にすると、データが正常に書き込まれなくなります。パソコンを省電力状態にする操作はしないでください。

■ディスクにコピーする場合の注意事項

- データを書き込めるディスクは、DVD-R、DVD+R、DVD+RW、DVD-RW、DVD+R DL です。Blu-ray Disc 対応機種では、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DLもお使いになれます。BDXL™対応Blu-ray Disc ドライブ搭載機種では BD-R XL もお使いになれます。
- 未使用のディスク、またはディスクの消去を行った再利用のディスクをお使いください。
  ディスクの消去を行う場合は、Windows 7 の機能を使わず、「Roxio Creator」の「クイック消去」か「完全消去」機能をお使いください。
- CD/DVD ドライブのない機種の場合、ディスクに書き込み可能な USB 接続の外付けドライブが必要です。
  「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM53）」をお勧めします。操作を開始する前にあらかじめ接続することをお勧めします。
- DVD などのディスクに書き込むには、「Roxio Creator」が必要です。
  「Roxio Creator」はこのパソコンに用意されています。「Roxio Creator」を削除すると、書き込みができなくなります。

マイデータ

バックアップ／復元できる項目

- ユーザーのデータ
  ライブラリに登録されているデータがバックアップされます。
  ・マイドキュメント
  ・マイビデオ
  ・マイピクチャ
  ・マイミュージック
- 自分で指定したフォルダー

「マイデータ」の注意事項

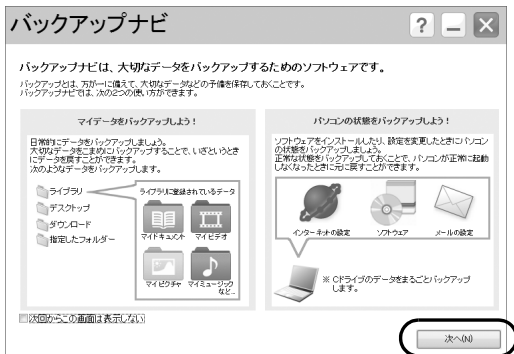
■次のデータは、バックアップできません

- 著作権保護された音楽データ、映像データ
  デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像データや音楽データなどはバックアップ／復元できない場合があります。
  著作権保護された音楽データ、映像データのバックアップ／復元については、お使いのソフトウェアのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- テレビ番組を録画したデータ
  容量が大きいため、個別に DVD などのディスクにバックアップすることをお勧めします。

「マイデータ」をバックアップする

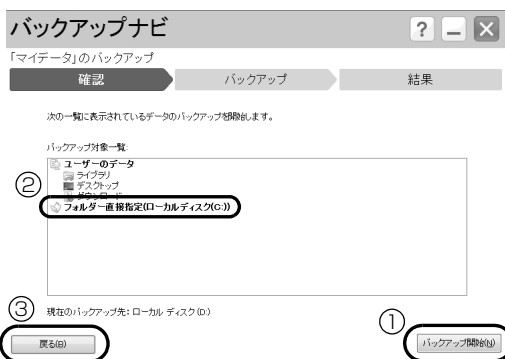
1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「バックアップナビ」▶「バックアップナビ」の順にクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

3 「バックアップナビ」の概要を説明するウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。

4 次の画面の操作をします。

①「バックアップする」タブをクリックします。
②「マイデータ」をクリックします。

5 ①「バックアップ開始」をクリックします。

Point

- ②「フォルダー直接指定」には自分で追加したフォルダーが表示されます。ユーザーのデータ以外にバックアップしたいフォルダーがある場合、③「戻る」をクリックし手順４の画面に戻り、「管理」タブから追加してください。

6 「バックアップが正常に完了しました。」というメッセージが表示されたら次の操作をします。

①「バックアップ結果」を確認します。
②いつの時点のバックアップかわかるように、コメントを記入します。
③「完了」をクリックします。
手順４の画面に戻ります。

これで「マイデータ」のバックアップは完了です。

「マイデータ」のバックアップデータをコピーする

ここではＤドライブにバックアップしたデータをディスクにコピーする手順を紹介します。コピー元やコピー先に他の媒体を選択する場合は画面の指示に従ってください。

1 バックアップナビを起動します。
「「マイデータ」をバックアップする」（→ P.116）の手順１～３を行ってください。

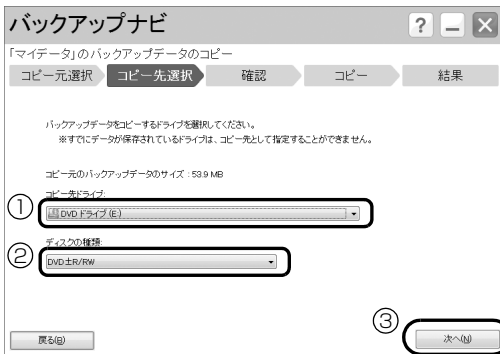
2 次の画面の操作をします。

①「管理」タブをクリックします。
②「マイデータ」をクリックします。

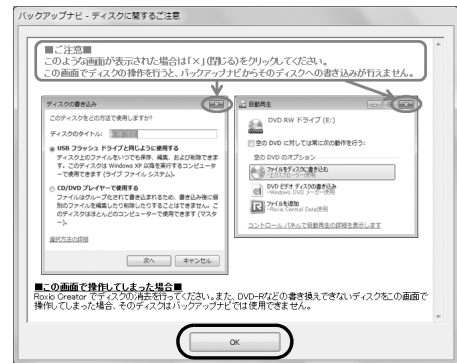
3「コピーする」をクリックします。

4 コピー元を選択します。

①「バックアップデータの保存場所」で「ローカルディスク（D:)」を選択します。
②「次へ」をクリックします。

5 コピー先を選択します。

①「コピー先ドライブ」で「BD ドライブ」（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc 搭載機種および Blu-ray Disc 搭載機種のみ）または「DVD ドライブ」を選択します。
②「ディスクの種類」ではお使いになるディスクの種類を選択します。
③「次へ」をクリックします。

6 内容を確認して「コピー開始」をクリックします。

7 内容を確認して「OK」をクリックします。

8「○枚目のディスクを書き込みます。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面に画面に指示されたレーベル名を記入します。
○は作成するディスクが何枚目か表示されます。
レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

9 記入したディスクをセットし、ディスクが認識されるまで 10 秒ほど待ちます。

Point

- ディスクをセットしたとき、「自動再生」または「ディスクの書き込み」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の [×] をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

10「OK」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。
書き込みが完了すると、CD/DVD ドライブが開きます。

11 ディスクを取り出します。

■「D ドライブのバックアップデータをEドライブにコピーしました。」というメッセージが表示された場合（ドライブ名はコピー先のドライブ名が表示されます）

手順 12 に進んでください。

■「○枚目のディスクを書き込みます。」というメッセージが表示された場合

手順 8 に戻ってください。

12「完了」をクリックします。

手順 3 の画面に戻ります。

これで「マイデータ」のバックアップデータのコピーは完了です。

「マイデータ」を復元する

重要

- バックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのままで復元すると、バックアップした時点でのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した設定や内容はすべて消えてしまいます。充分に注意してください。
- 複数のユーザーでパソコンをお使いの場合は、バックアップしたときと同じユーザー名で復元してください。バックアップしたときと違うユーザー名では正常に復元できない可能性があります。

1 バックアップナビを起動します。

「「マイデータ」をバックアップする」（→ P.116）の手順 1 ～ 3 を行ってください。

2 復元したいバックアップデータが、外付けのハードディスクや USB メモリにある場合は、接続します。

3 次の画面の操作をします。

①「復元する」タブをクリックします。

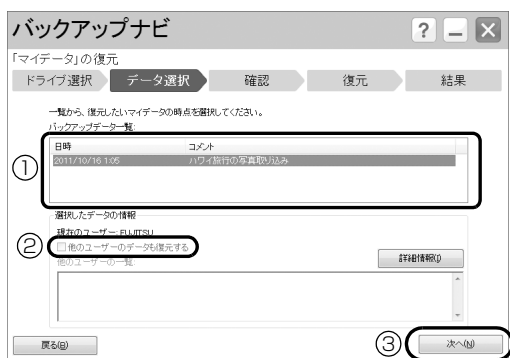
②「マイデータ」をクリックします。

4 次の画面の操作をします。

①「バックアップデータの保存場所」で復元したいバックアップデータを保存しているドライブまたは「BD ドライブ」、「DVD ドライブ」を選択します。

②「BD ドライブ」または「DVD ドライブ」を選択した場合はディスクが揃っていることを確認します。「ディスクチェック」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。ディスクの確認を終えた後、③「次へ」がクリックできるようになります。

③「次へ」をクリックします。

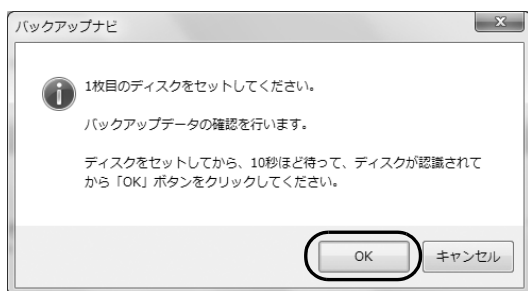
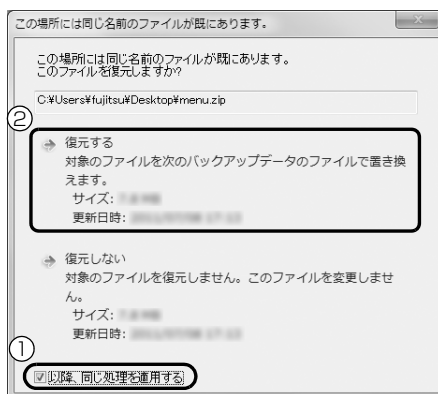
5 復元するデータを選択します。

①「バックアップデータ一覧」で復元したいバックアップデータを選択します。

②「マイデータ」にユーザーごとのデータを指定している場合、「他のユーザーの一覧」に表示されているユーザーのデータも復元するかどうかを指定します。自分以外のユーザーのデータも復元したい場合に、チェックします。

③「次へ」をクリックします。

6 内容を確認し、「復元開始」をクリックします。

7 手順 4 で「BD ドライブ」または「DVD ドライブ」を選択した場合は、画面に指定されたディスクをセットし、「OK」をクリックします。

1枚目の場合は手順4ですでにセットしています。複数枚のディスクから復元する場合は、この後、画面の指示に従って指定されたディスクをセットして操作を進めてください。

8「この場所には同じ名前のファイルが既にあります。」と表示されたら、①「以降、同じ処理を適用する」にチェックし、②「復元する」をクリックします。

9「復元を完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。

手順 3 の画面に戻ります。

ディスクがセットされている場合は取り出します。

これで「マイデータ」の復元は完了です。

パソコンの状態

ハードディスクのCドライブをまるごとバックアップします。パソコンにトラブルが発生した場合、Cドライブをまるごとバックアップしたときの状態に戻すことができます。

「パソコンの状態」の注意事項

■パソコンに不具合が起こっているときは、「パソコンの状態」をバックアップしないでください

「パソコンの状態」をバックアップすると、パソコンのCドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。

■保存先の容量を確認してください

「パソコンの状態」のバックアップデータは、前回のバックアップデータを上書きすることなく、バックアップするごとに新規で作成されます。Cドライブで使用している容量より保存先の容量が少ない場合は、「パソコンの状態」のバックアップはできません。
不要になったバックアップデータは削除してください（→P.127）。

「パソコンの状態」をバックアップする場所

「パソコンの状態」をバックアップする場所を選択できます。また、作成した「パソコンの状態」のバックアップデータをDVDなどのディスクや外付けハードディスクにコピーできます。

■Dドライブ

外部のドライブなどを接続する手間がなく簡単に「パソコンの状態」のバックアップ、復元できます。
ただし、次の場合は、Dドライブのバックアップも含めハードディスクのすべてのデータが使えなくなります。そのような場合に備え、このパソコンのハードディスク以外の場所にバックアップデータをコピーすることをお勧めします。

- ハードディスクの領域を変更したとき
  （ESPRIMO DH77/GおよびESPRIMO DH70/GNを除く）
  ハードディスク全体のファイルが削除されてしまうため、Dドライブに作成した「パソコンの状態」のバックアップデータも削除されます。領域変更する場合は、あらかじめパソコンのハードディスク以外にバックアップをコピーしてください。
- このパソコンが故障したとき
  パソコンが故障したときは、Dドライブに作成した「パソコンの状態」のバックアップデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。

■DVDなどのディスク

DVDなどのディスクに直接「パソコンの状態」をバックアップできません。いったんDドライブか外付けハードディスクかネットワーク上のドライブにバックアップをとり、その後「バックアップナビ」をお使いになりDVDなどのディスクにコピーしてください。

重要

- 必要なディスクの枚数は「パソコンの状態」のバックアップデータの容量やディスクの容量により異なります。
- 「パソコンの状態」のバックアップデータを書き込んだDVDなどを使って、パソコンを起動することはできません。

■外付けハードディスク、USBメモリ

直接「パソコンの状態」をバックアップできます。
外付けハードディスクはUSB接続のものを用意してください。USB接続以外の接続方式では正常に動作しない場合があります。

重要

- 「パソコンの状態」をバックアップ、および復元する場合、「バックアップナビ」起動時に外付けハードディスクやUSBメモリを接続しないでください。
  - ・外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま「パソコンの状態」のバックアップ、および復元を開始すると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
  - ・外付けハードディスクやUSBメモリは、「バックアップナビ」起動後に、画面の指示に従って接続してください。
- メモリーカードなどのその他の外部記憶装置は、必ずパソコンから取り外した状態で操作してください。

■ネットワーク上のドライブ
直接「パソコンの状態」をバックアップできます。
ネットワークの知識が必要です。別のパソコンの共有フォルダーに、「パソコンの状態」をバックアップしたり、そこから復元したりできます。
ネットワーク上のドライブを使う方法は、「AzbyClub サポート」(→ P.133)で紹介しています。「AzbyClub サポート」で Q&A ナンバー「4409-3381」を検索してご覧ください。

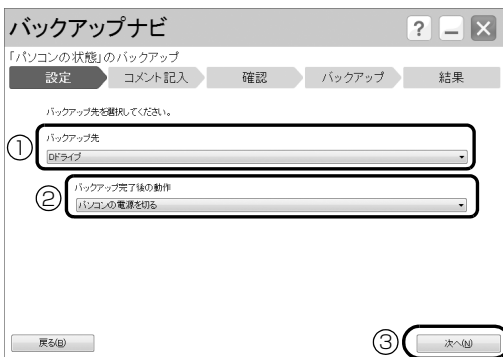
「パソコンの状態」をバックアップする

1 バックアップナビを起動します。

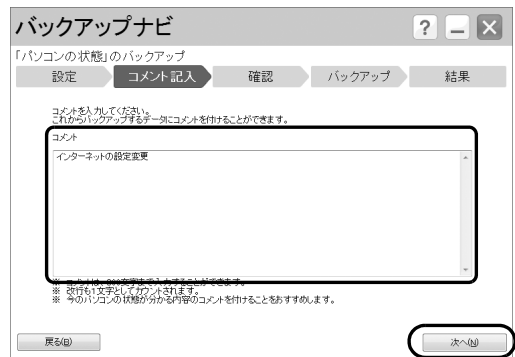
「「マイデータ」をバックアップする」(→ P.116)の手順 1 〜 3 を行ってください。

2 次の画面の操作をします。

①「バックアップする」タブをクリックします。
②「パソコンの状態」をクリックします。

3 次の画面の操作をします。

①「D ドライブ」または外付けハードディスクなどにバックアップする場合は「その他のドライブ」を選択します。バックアップ先の外付けハードディスクなどは後で接続します。
② D ドライブを選択した場合に表示されます。「パソコンの電源を切る」または「再起動する」を選択します。
③「次へ」をクリックします。

4 コメント入力域に、「パソコンの状態」のバックアップデータに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

いつの時点の「パソコンの状態」かがわかるように、コメントを入力してください。
例）・セットアップ直後
　　・光ファイバーに設定変更

5 内容を確認して「次へ」をクリックします。

6「OK」をクリックします。

■D ドライブにバックアップする場合
再起動して、「パソコンの状態」をバックアップし電源が切れます。
これで、バックアップは完了です。

Point

▶ バックアップ先にDドライブを選択した場合、バックアップ後初めてWindowsを起動したとき、バックアップの結果が表示されます。「完了」をクリックすると画面が閉じます。

- ここで作成した「パソコンの状態」のバックアップデータはデータの一覧に「New」と表示されています。

■その他のドライブにバックアップする場合

手順 7 に進んでください。

7 「「パソコンの状態のバックアップデータ」作成」という画面が表示されたら、パソコンの USB コネクタに外付けハードディスクや USB メモリを接続し、認識されるまで 10 秒ほど待ってから、「保存先選択」をクリックします。

8 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

① 保存先のドライブを選択します。

② 「次へ」をクリックします。

9 「次へ」をクリックします。

10 「実行」をクリックします。

「パソコンの状態」のバックアップが始まります。しばらくお待ちください。終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。

完了すると「「パソコンの状態のバックアップデータ」が作成されました。」と表示されます。

Point

- ここで作成した「パソコンの状態」のバックアップデータはデータの一覧に「NEW」と表示されています。

11 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、指定したドライブに「パソコンの状態」がバックアップされました。

「パソコンの状態」のバックアップデータをコピーする

D ドライブなどに作成した「パソコンの状態」のバックアップデータは DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにコピーできます。

Point

- 外付けハードディスクや USB メモリにコピーする場合は、「バックアップナビ」を起動する前に接続してください。

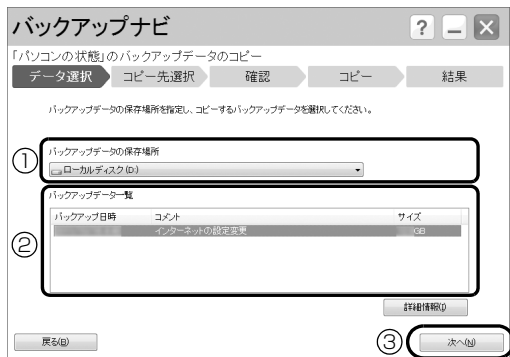
1 バックアップナビを起動します。

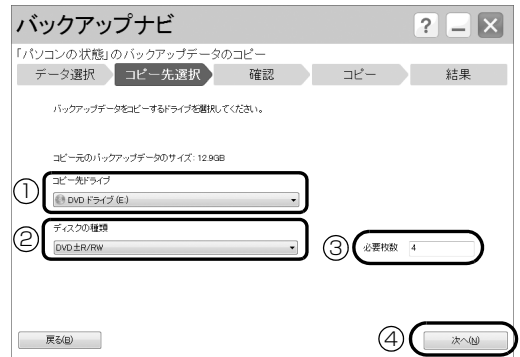
「「マイデータ」をバックアップする」（→ P.116）の手順 1 ～ 3 を行ってください。

2 次の画面の操作をします。

①「管理」タブをクリックします。
②「パソコンの状態」をクリックします。

3「コピーする」をクリックします。

4 コピー元を選択します。

①「バックアップデータの保存場所」で「ローカルディスク（D:)」を選択します。
②「バックアップデータ一覧」でコピーをとるバックアップをクリックします。
③「次へ」をクリックします。

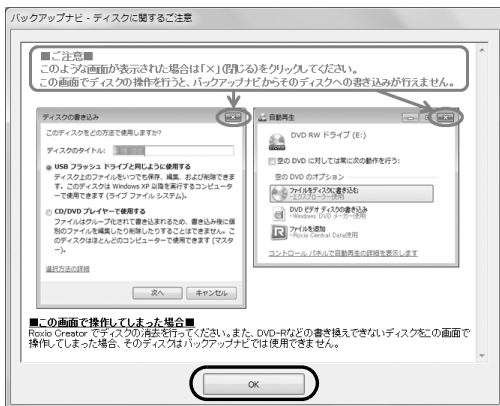
5 コピー先を選択します。

■DVD ドライブ以外にコピーする場合
①「コピー先ドライブ」で、コピー先のドライブを選択します。
④「次へ」をクリックします。

■DVD ドライブまたは BD ドライブにコピーする場合
①「コピー先ドライブ」で「BD ドライブ」(BDXL™ 対応 Blu-ray Disc 搭載機種および Blu-ray Disc 搭載機種のみ）または「DVD ドライブ」を選択します。
②「ディスクの種類」でお使いになるディスクの種類を選択します。
③ 必要枚数分のディスクを用意します。
④「次へ」をクリックします。

6 内容を確認して「コピー開始」をクリックします。

■DVD ドライブ以外にコピーする場合
コピーが始まります。
手順 12 に進んでください。

■DVD ドライブまたは BD ドライブにコピーする場合
手順 7 に進んでください。

7「OK」をクリックします。

8「○枚目のディスクを書き込みます。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面に画面に指示されたレーベル名を記入します。○は作成するディスクが何枚目か表示されます。

レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

9 記入したディスクをセットし、ディスクが認識されるまで 10 秒ほど待ちます。

Point

- ディスクをセットしたとき、「自動再生」または「ディスクの書き込み」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の ✕ をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

10「OK」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

書き込みが完了すると、CD/DVD ドライブが開きます。

11 ディスクを取り出します。

■「D ドライブのバックアップデータを E ドライブにコピーしました。」というメッセージが表示された場合（ドライブ名はコピー先のドライブ名が表示されます）

手順 12 に進んでください。

■「○枚目のディスクを書き込みます。」というメッセージが表示された場合

手順 8 に戻ってください。

12「完了」をクリックします。

手順 3 の画面に戻ります。

これで「パソコンの状態」のバックアップデータのコピーは完了です。

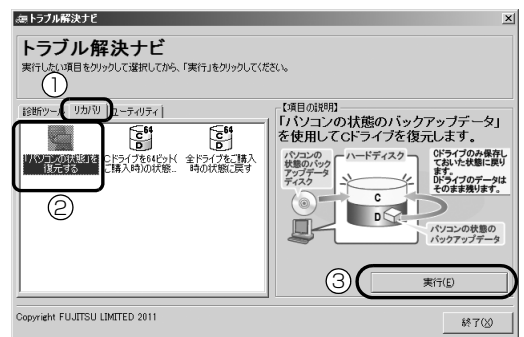
「パソコンの状態」を復元する

C ドライブをまるごと、「パソコンの状態」のバックアップ時点に戻します。

C ドライブの現在のデータは失われてしまいます。D ドライブまたは DVD などのディスクや別の媒体などにバックアップしてください。

1「トラブル解決ナビ」を起動します。

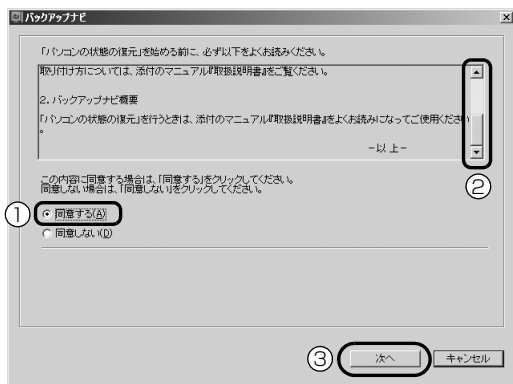
起動方法は「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.136）をご覧ください。

2 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

①「リカバリ」タブをクリックします。

②「「パソコンの状態」を復元する」をクリックします。

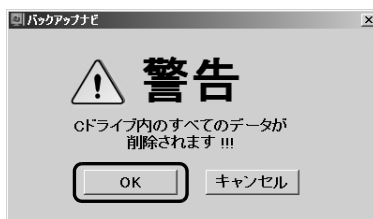
③「実行」をクリックします。
「バックアップナビ」の「ご使用上の注意」の画面が表示されます。

3 画面の内容を確認し、次の操作をします。

①「同意する」をクリックしてにします。
②「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
③「次へ」をクリックします。

4 復元したい「パソコンの状態」のバックアップデータを選択します。

① 復元する「パソコンの状態」のバックアップデータをクリックして選択します。
② D ドライブ以外に保存したバックアップデータを復元する場合、DVDなどのディスクをセットしたり、外付けハードディスクやUSBメモリを接続したりした後、「更新」をクリックします。
「作成されているバックアップデータの一覧」に「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されます。
③「決定」をクリックします。

- DVD などのディスクから復元する場合は、ディスクを用意し、画面の指示に従って操作してください。
- D ドライブに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されない場合
削除してしまっている可能性があります。ハードディスクの領域設定を変更した場合、C ドライブのデータもD ドライブのデータやバックアップデータも削除されます。
（ESPRIMO DH77/G および ESPRIMO DH70/GN は領域設定を変更できません。）

5「OK」をクリックします。

「パソコンの状態」のバックアップデータを使ってC ドライブの復元が始まり、復元の進行状況を示す画面が表示されます。

6 そのまましばらくお待ちください。
終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。
しばらくすると、「リカバリが正常に完了しました。」と表示されます。

Point

- 複数枚の DVD などのディスクから復元する場合は、次のディスクを入れるようメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

7「OK」をクリックします。
パソコンが再起動します。

これで、「パソコンの状態」のバックアップデータを使った復元が完了しました。

「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する

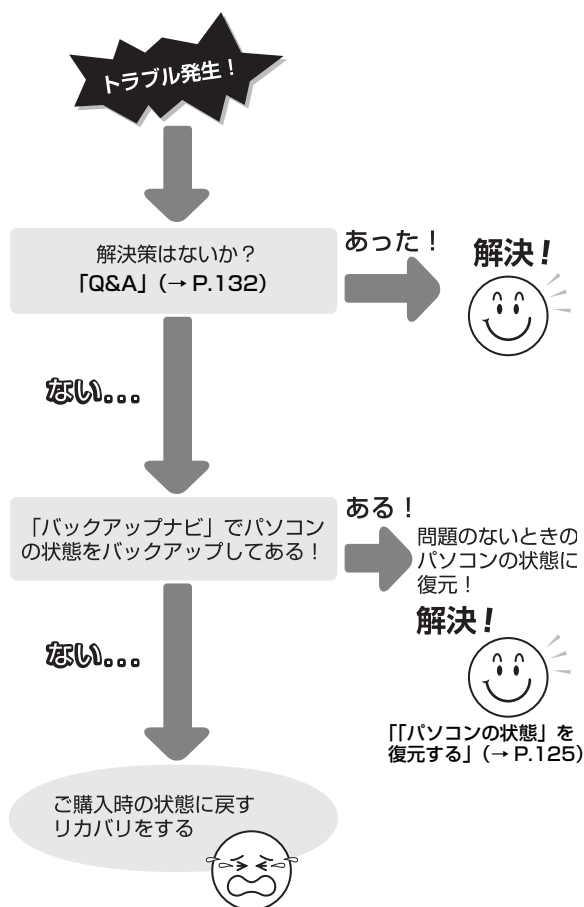
「バックアップナビ」の「管理」タブで、D ドライブなどに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除できます。画面の指示に従って操作してください。

Point

- 外付けハードディスクや USB メモリに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する場合は、「バックアップナビ」を起動する前に外付けハードディスクや USB メモリを接続してください。

6 ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻す必要があるか再確認

Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリをすると、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいます。そのためリカバリ後には、セットアップを行ったり、必要に応じてソフトウェアをインストールしたり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。
通常はご購入時の状態に戻すリカバリを行う必要はほとんどありません。本当にご購入時の状態に戻す必要があるか、下の図でもう一度確認してください。

ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

バックアップをする

リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて削除されます。
必要なデータはバックアップしてください。
バックアップ方法については、「バックアップ」（→ P.115）をご覧ください。

ご購入時の状態に戻すリカバリの注意

■外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください

リカバリを行う前に必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■付属ディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器（プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器）は取り外してください

セットした ExpressCard などもすべて取り外してください。アンテナケーブルや LAN ケーブルなどもすべて抜いてください。接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。
LIFEBOOK をお使いの場合は、マウスも取り外してください。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からソフトウェアのインストール終了まで、早く終了する機種でも2〜3時間はかかります。半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

■機種名（品名）を確認してください

お使いのパソコンによって、作業などが異なります。まず、機種名（品名）などを確認してください。

■LIFEBOOK をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください

作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

パソコンが再起動して画面が暗くなる場合は、手順に記載しています。

手順に記載がないのに、画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

- ESPRIMO の場合
  マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを 1 回押してください。または、キーボードの
  【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。
- LIFEBOOK の場合
  フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。

それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押してください。

■電源が切れない

電源ボタンを 4 秒以上押して（⏻（電源）に触れて電源を入れる機種では 4 秒以上触れて）電源を切ってください。

ディスクが必要な場合

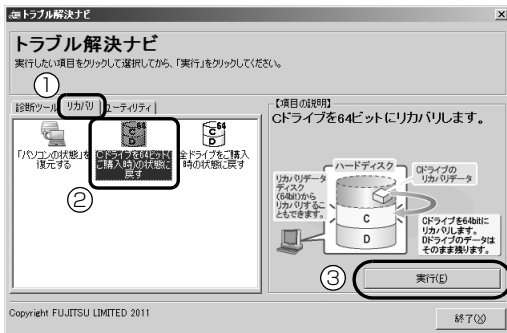
- リカバリ領域を削除している場合、リカバリ領域が破損してしまった場合は、「リカバリディスクセット」が必要です
- ディスクがない場合や破損してしまった場合、弊社のホームページから購入できます
  「リカバリディスク有償サービス」
  http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/
  ただし、Webカスタムメイドモデルの「リカバリディスクセット」は電話で申し込んで購入してください。
  「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
  0120-950-222（通話料無料）
- CD/DVD ドライブが搭載されていない機種でディスクを使ってリカバリする場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください
  ・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM53）」をお勧めします。
  ・リカバリを開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

準備ができたらリカバリを実行します。ハードディスクのCドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域（または「リカバリディスクセット」）からWindowsやソフトウェアがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

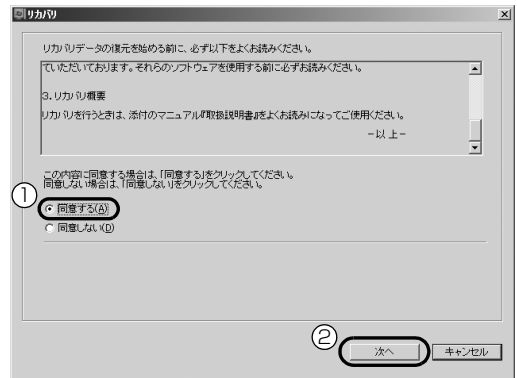
Cドライブを初期状態に戻す

1 「トラブル解決ナビ」を起動します。

「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.136）をご覧ください。

2 次の画面の操作をします。

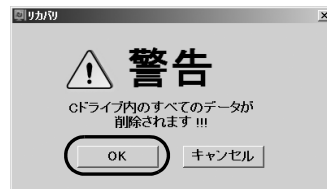
（画面は機種や状況により異なります）

①「リカバリ」タブをクリックします。
②「Cドライブを64ビット（ご購入時）の状態に戻す」（LIFEBOOK MH30/Gの場合は「Cドライブを32ビット（ご購入時）の状態に戻す」）をクリックします。
③「実行」をクリックします。

3 「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。

①「同意する」をクリックして◉にします。
「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
②「次へ」をクリックします。

Point

- ハードディスクにリカバリデータがない場合は、リカバリディスクセットを要求するメッセージが表示されます。ディスクを用意し、画面の指示に従って操作してください。

4 警告画面で、「OK」をクリックします。

復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。
終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。

5 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「リカバリが正常に完了しました。」と表示されます。

6 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。「セットアップする」（→ P.39）をご覧になり、セットアップしてください。ただし、ユーザー登録は再度行う必要はありません。

Point

- 「Office 2010」搭載機種で、「リカバリディスク有償サービス」で購入したリカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、「Office 2010」がインストールされた状態にリカバリされません。
  セットアップ後に「Office 2010」のパッケージを使い、インストールしてください。
  インストール方法についてはパッケージに同梱されている『お使いになる前に』をご覧ください。

7 Q&A

トラブル発生時の基本的な対処

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時に対応していただきたい順番に記載しています。

1 **落ち着いて状況を確認する（→ P.132）**
2 **マニュアルで調べる（→ P.133）**
3 **インターネットで調べる（→ P.133）**
4 **「富士通ハードウェア診断ツール」を使う（→ P.134）**
5 **サポートの窓口に相談する（→ P.136）**

落ち着いて状況を確認する

トラブルが発生したときは、落ち着いて、直前に行った操作や現在のパソコンの状況を確認しましょう。

■表示されたメッセージはメモをしておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモしておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■パソコンや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まずパソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- ●電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？またゆるんだりしていませんか？
- ●電源コンセント自体に問題はありませんか？
  他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ●使用する装置の電源スイッチはすべて入っていますか？
  ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- ●キーボードの上に物を載せていませんか？
  キーが押され、パソコンが正常に動作しないことがあります。

この他、「起動・終了」（→ P.137）の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

■「省電力ユーティリティ」の設定を確認する（「省電力ユーティリティ」搭載機種のみ）

「省電力ユーティリティ」を使って「省電力モード」にしている場合は、設定によってはオーディオや有線LAN、無線 LAN などが使用できなくなります。また、「省電力モード」のときに CPU のパフォーマンスを下げる設定をしている場合は、動画の再生時にコマ落ちが発生することがあります。
このような場合は、「省電力ユーティリティ」の設定を確認してください。
「省電力ユーティリティ」については、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「省電力ユーティリティ」▶「ヘルプ」の順にクリックして、表示される説明をご覧ください。
Web『補足情報』

■以前の状態に戻す

周辺機器の取り付けやソフトウェアのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いったん以前の状態に戻してください。

- ●周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- ●ソフトウェアをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、「Readme.txt」などの補足説明書、インターネット上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください。
発生したトラブルに該当する記述があれば、指示に従ってください。

■セーフモードで起動する

セーフモードで起動できるか確認してください。セーフモードは、Windows が正常に起動できないとき、必要最低限の機能で起動するモードです。そのためトラブルの原因を突き止めるのに適しています。
起動方法は次のとおりです。

1. **パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。**
2. **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**
3. **キーボードの【F8】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。**
4. **パソコンの電源を入れます。**

5 FUJITSUのロゴ画面が表示されたらすぐ【F8】を押します。

【F8】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

6 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、お使いのOSが選択されていることを確認します。

Point

- Windows が起動してしまった場合は、（スタート）▶ シャットダウン の ▶「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
- 「詳細ブートオプション」画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

7 【↑】【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押します。

セーフモードで起動します。

■BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

Windows が起動しないときなど、BIOS セットアップを起動し、BIOS の設定を戻すと問題が解決できることがあります。

Point

- BIOS パスワードを設定していた場合、BIOS をご購入の状態に戻してもパスワードは解除されません。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

3 キーボードの【F2】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

4 パソコンの電源を入れます。

5 FUJITSUのロゴ画面が表示されたら【F2】を押します。

【F2】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。

Point

- Windows が起動してしまった場合は、（スタート）▶ シャットダウン の ▶「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
- BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

6 【←】、【→】、【↑】または【↓】で「終了」メニュー▶「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。

7 「はい」を選んで【Enter】を押します。

8 「変更を保存して終了する」を選んで【Enter】を押します。

9 「はい」を選んで【Enter】を押します。

Windows が起動します。

マニュアルで調べる

このマニュアルの「よくあるトラブルと解決方法」（→ P.137）をご覧になり、発生したトラブルの解決方法がないかご確認ください。

インターネットで調べる

富士通のサポートページ「AzbyClub サポート」では「Q&A」「ネットで故障診断」などのサポート情報や、「パソコン活用」「ビギナーガイド」などの活用情報、このパソコンに関連したドライバーを提供しています。ドライバーをアップデートしたりインストールし直したりすることで、トラブルが解決できる場合がありますので、最新のドライバーについても、あわせてご確認ください。

■「AzbyClub サポート」

http://azby.fmworld.net/support/

次のような情報を提供しています。

●Q&A、パソコン活用情報

数多くの Q&A や、便利なパソコンの使い方を紹介しています。キーワードから検索したり、困っていることから調べたりできます。

●ウイルス・セキュリティ情報

●よくあるお問い合わせ

●最新のドライバーやマニュアルのダウンロード

Point

- Q&Aで解決しなかった場合は、専用の受付フォームからお問い合わせいただく、メールサポートをご利用いただけます。Web上の質問フォームから送信してください。
  ご利用には、ユーザー登録が必要です（→P.147）。

■「ネットで故障診断」

http://azby.fmworld.net/webpcrepair/

無料で故障診断・修理申し込みができます。

●トラブル箇所・状況ごとに解決手順を案内
●故障診断時には修理の概算見積金額を表示
●引き取り修理（パソコン修理便）申し込み
●コールバック（ご希望日時に富士通からお電話を差し上げるサービス）申し込み

「サポートナビ」

「サポートナビ」を使うと富士通のサポートページに簡単にアクセスすることができます。「サポートナビ」は、次のいずれかの方法で起動してください。
・サポート（Support）ボタンを押します。
・（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「サポートナビ」の順にクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windowsが起動しなくなったときに、このパソコンのハードウェア（CPU、メモリ、ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVDドライブ）に問題がないか診断します。

●「トラブル解決ナビ」から起動できます（→P.136）。
●パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
●診断したいハードウェアを選択できます。
●診断時間は5～20分程度です。

■「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する

1 「トラブル解決ナビ」を起動し（→P.136）、「診断ツール」タブ▶「富士通ハードウェア診断ツール」▶「実行」の順にクリックします。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。

2 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。
「注意事項」ウィンドウが閉じます。

3 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をクリックします。
ハードウェア診断が始まります。
診断時間は通常5～20分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。

Point

- 「CD/DVD ドライブに CD-ROM または DVD-ROM をセットしてください」などと表示された場合は、お手持ちの CD や DVD をセットして「診断開始」をクリックしてください。ただし、何も書き込まれていないディスクや、コピーガードされたメディア（映画などの DVD/Blu-ray Disc やコピーコントロール CD など）は使用できません。
- 診断を取りやめる場合は「スキップ」をクリックしてください。

4 「診断結果」ウィンドウの表示された内容を確認します。

表示された内容に従って操作を行ってください。エラーコードが表示された場合には、メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

5 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

6 「終了」をクリックします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

7 「はい」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウに戻ります。

「診断プログラム」実行後に「富士通ハードウェア診断ツール」を使用した場合は、パソコンの電源が切れます。

Point

- Windows が起動しなくなったときは、起動メニューから起動できる「診断プログラム」を使用してもハードウェアの障害箇所を診断できます。

  診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

1. BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→ P.133）。
2. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
3. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
4. サポート（Support）ボタンを押します。

   または、パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

   軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。
5. 起動メニューが表示されたら、【↓】を押して、「診断プログラム」を選択し、【Enter】を押します。
6. 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、【Y】を押してハードウェア診断を開始します。

   ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんパソコンが再起動した後で診断結果が表示されます）。

・トラブルが検出されなかった場合

【Enter】を押してください。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。

この後の操作については、「「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する」（→ P.134）をご覧ください。

・トラブルが検出された場合

画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、【Y】を押してパソコンの電源を切ってください。

サポートの窓口に相談する

本章をご覧になり、トラブル解決のための対処をした後も回復しない場合には、サポートの窓口に相談してください。

■電話相談サポート（Azby テクニカルセンター）

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→ P.156）をご覧ください。

■故障や修理に関する受付窓口

「修理サービスを利用する」（→ P.157）をご覧ください。

■パソコン修理便

「お引き取りとお届け（パソコン修理便）」（→ P.158）をご覧ください。

■ソフトウェアに関するお問い合わせ

本製品に添付されているソフトウェアは、提供会社によってお問い合わせ先が異なります。お問い合わせについては、「ソフトウェアのお問い合わせ先」（→ P.151）をご覧ください。

「トラブル解決ナビ」を起動する

■ハードディスクから起動する

1 パソコンの電源が切れた状態で、サポート（Support）ボタンを押します。

Point

- 起動メニューが表示されない場合
  Windows が起動してしまった場合は、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。

2 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビディスク」から起動する

「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」から「トラブル解決ナビ」を起動する方法です。パソコンを廃棄するときやリカバリ領域の削除／復元をするときなど、特別な操作をするときだけ行います。

1 パソコンの電源が切れた状態で、サポート（Support）ボタンを押します。

Point

- 起動メニューが表示されない場合
  Windows が起動してしまった場合は、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。

2 アプリケーションメニューが表示されたら、【Tab】を押して起動メニューに切り替えます。

3 「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

4 【↓】を押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】を押します。

5 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビ」が起動しない場合の解決方法

「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、次のように対処してください。

- BIOS の設定を初期値に戻すと解決する場合があります（→ P.133）。
- 市販のソフトウェアや、Windows 7 の「ディスクの管理」で領域設定を変更している場合は、「リカバリ領域を復元する」（→ P.178）をご覧になり、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。

よくあるトラブルと解決方法

起動・終了

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	AC アダプタが正しく接続されていない	AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（→ P.35）。
	上記の対処で解決しない場合	AC アダプタをいったん取り外し、2 ～ 3 分放置後、再び取り付けてください。
ビープ音（ブザー）が鳴る	連続して誤った BIOS パスワードを入力した	電源ボタンを4秒以上押して電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れて、操作をやり直してください。
画面に何も表示されない	画面が暗すぎる	画面を明るくしてください（→ P.73）。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない場合	電源ボタンを4秒以上押して、電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れ直してください。 なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。
Windowsが起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧になり、正しく取り付けられているか確認してください。
	Windows を正常に終了できなかった	セーフモードで起動し、パソコンを再起動してください（→ P.132）。
	上記の対処で解決しない場合	ハードウェアの診断を行ってください(→P.134)。
電源が切れない	Windows が動いていない	次の手順で Windows を終了させてください。 ハードディスクが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】を押す。 2. 画面右下の をクリックする。
	ポインティングデバイスが使えない	次の手順で、Windows を終了させてください。 1. 【Windows】を押す。 2. カーソルキーで シャットダウン を選択して、【Enter】を押す。
	上記の対処で解決しない場合	電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ってください。なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

症状	考えられる原因	対処方法
勝手に電源が入る	リモコンのパソコン電源ボタンが押されている	リモコンを確認してください。
	他のワイヤレスキーボードを誤認している	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.65）をご覧になり、再認識させてください。

Point

▸ このパソコンには、Windows が起動しなくなったとき、C ドライブにあるお客様のデータファイル（ドキュメントや画像など）を D ドライブにコピーする「かんたんバックアップレスキュー Light」が搭載されています。
お使いになるには、「トラブル解決ナビ」を起動し（→ P.136）、「ユーティリティ」タブの「かんたんバックアップレスキュー Light」をクリックしてください。なお、操作については、表示された「必ずお読みください」をご覧ください。

Windows・ソフトウェア関連

症状	考えられる原因	対処方法
ソフトウェアが見つからない	－	どのソフトウェアを使えば良いかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます(→P.97)
ソフトウェアが動かなくなった	－	次の手順でソフトウェアを終了させてください。 なお、ソフトウェアを強制終了した場合、ソフトウェアの作業内容を保存することはできませんので、ご注意ください。 1. 【Ctrl】＋【Shift】＋【Esc】を押す。 2. 「アプリケーション」タブをクリックする。 3. 動かなくなったソフトウェアを選択し、「タスクの終了」をクリックする。
ソフトウェアのインストールが正常に行われない	セキュリティ対策ソフトの影響を受けている	セキュリティ対策ソフトをいったん終了してから、インストールしてください。
	上記の対処で解決しない場合	各ソフトウェアのサポート窓口にお問い合わせください（→ P.151）。
ソフトウェアがうまく動かない	同時に複数のソフトウェアを起動している	使用していないソフトウェアを終了させてください。
	ハードディスクの空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。
	ソフトウェアの設定が間違っている	ソフトウェアのマニュアルやヘルプをもう一度ご覧になり、正しく設定されているか、注意事項や制限事項はないか確認してください。
	ファイアウォール機能が動作を制限している	お使いの環境に応じてファイアウォール機能の設定を変更してください。
	上記の対処で解決しない場合	ソフトウェアを再起動してください。

症状	考えられる原因	対処方法
ユーザーアカウント制御画面が表示される	−	ログオンしているユーザーアカウントの種類によって、対処が異なります。 **■管理者の場合** 「はい」をクリックする。 **■標準ユーザーの場合** 管理者権限をもつユーザーアカウントのパスワードを入力する。
画面右下の通知領域にソフトウェアのアイコンが表示されない	ソフトウェアが起動していない	(スタート)▶「すべてのプログラム」の順にクリックし、表示されるメニューからソフトウェアを起動してください。
	アイコンが隠れている	通知領域にある をクリックしてください。
「ジェスチャーコントロール機能」ウィンドウが表示される	ジェスチャーコントロール機能が動作している	ジェスチャーコントロール機能を使わない場合は、をクリックして、「ジェスチャーコントロール機能」ウィンドウを閉じてください。ジェスチャーコントロール機能について、詳しくは「ジェスチャーコントロール機能」(→ P.69)をご覧ください。

ポインティングデバイス

症状	考えられる原因	対処方法
マウスポインターが動かない	マウスが正しく動作しづらい場所で使っている	次のようなものの表面を避けて使用してください。 ・光を反射しやすいもの ・光沢があるもの ・濃淡のはっきりした柄のあるもの ・同じパターンが連続しているもの
	マウスのスクロールホイールを押している	スクロールホイールから指を離し、マウスの左右どちらかのボタンを押してください。
マウスポインターの動きがおかしい	−	次の手順で「マウスのプロパティ」を表示し、設定を変更してください。 1. (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」の順にクリックします。 2.「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックします。

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス

症状	考えられる原因	対処方法
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスが使えない	ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの電源が入っていない	底面の電源スイッチを ON 側にしてください。
	電池が正しくセットされていない、または電池が切れている	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.65）をご覧になり、電池を正しくセットしてください。
	設置場所が適切でない	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.65）をご覧になり、設置場所を変更してください。
	正しく認識されていない	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.65）をご覧になり、再認識させてください。
	USB 機器の影響を受けている	パソコンに USB 機器を接続している場合、その USB 機器がお使いの OS に対応していないと、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの動作に影響を与えるおそれがあります。USB 機器のマニュアルをご確認ください。
勝手に文字が入力される	近くのワイヤレスキーボードが誤認識されている	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.65）をご覧になり、再認識させてください。
キーを押し続けた状態になる	設置環境が変化した	ワイヤレスキーボードやパソコンを移動したり、間に障害物を置いたり、近くで電子レンジが動作を始めたりした場合、キーボードからの電波が届きにくくなり、動作が不安定になることがあります。 設置環境を元に戻してください。
マウスポインターが勝手に移動する	近くのワイヤレスマウスが誤認識されている	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.65）をご覧になり、再認識させてください。

キーボード

症状	考えられる原因	対処方法
押したキーと違う文字が入力される	Num Lock が有効になっている	【Num Lk】を押してください。
	Caps Lock が有効になっている	【CapsLock 英数】を押してください。
	文字の入力方法が変更されている	【Alt】＋【カタカナ ひらがな】（カタカナ／ひらがな）を押してください。
数字が入力できない	Num Lock が無効になっている	【Num Lk】を押してください。
キーボードに液体をこぼしてしまった	–	1. すぐにパソコンの電源を切り、AC アダプタを取り外してください。 2. キーボードを水平にしたまま、乾いた柔らかい布で液体を拭き取ってください。 3.「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」に点検を依頼してください（→P.156）。

文字入力

症状	考えられる原因	対処方法
入力した文字が上書きされる	上書き入力モードになっている	【Insert】を押してください。
文字が正しく入力できない	入力モードが変更されている	言語バーの入力モードを変更してください。
	「ローマ字入力／かな入力」が変更されている	【Alt】＋【カタカナ ひらがな】（カタカナ／ひらがな）を押してください。

サウンド

症状	考えられる原因	対処方法
スピーカーから音が出ない	ミュート（消音）になっている	ミュート（消音）ボタンを押して、スピーカーを ON にしてください。
	音量が小さい	ボリュームボタン（＋）を押して、適切な音量にしてください。
	ヘッドホンを接続している	ヘッドホンを取り外すか、ヘッドホンを接続したときの設定を変更してください（Web『補足情報』）。
音が割れる	音量が大きすぎる	ボリュームボタン（－）を押して、適切な音量にしてください。
マイクからうまく録音ができない	録音の設定が適切でない	録音の設定を確認してください（Web『補足情報』）。

CD/DVD

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない	ディスクが正しくセットされていない	ディスクのレーベル面を手前側またはデータの読み取り面を裏側にセットしてください(→P.78)。
	ディスクの表面が汚れている	指紋やほこりなどを拭き取ってください。
	対応していないディスクを再生しようとしている	「取り扱い」－「CD/DVD ドライブ」(→ P.74)をご覧になり、対応しているか確認してください。ポータブルCD/DVDドライブをお使いの場合は、ポータブル CD/DVD ドライブのマニュアルをご覧になり、対応しているか確認してください。
取り出せない	電源が入っていない	電源を入れてから、CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
	－	1. (スタート)▶「コンピューター」をクリックします。 2. CD/DVD ドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「取り出し」をクリックします。
	上記の対処で解決しない場合	1. パソコンの電源を切ります。 2. CD/DVD ドライブにある小さな穴に、クリップの先などを差し込みます。 3. トレーを静かに引き出し、ディスクを取り出します。

メモリーカード

症状	考えられる原因	対処方法
メモリーカードの内容が正しく表示されない	メモリーカードが書き込み禁止になっている	書き込み禁止の状態を解除し、差し込み直してください。

有線 LAN

症状	考えられる原因	対処方法
ネットワークに接続できない	LAN ケーブルが外れている	LAN ケーブルを接続してください。
	LAN ケーブルや、ケーブルのコネクタに損傷がある	LAN ケーブルを交換してください。
	「省電力ユーティリティ」の設定を変更している	「省電力ユーティリティ」の設定を確認してください。「省電力ユーティリティ」については、(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「省電力ユーティリティ」▶「ヘルプ」の順にクリックして、表示される説明をご覧ください。
	ECO（エコ）ボタンを押している（「省電力ユーティリティ」で有線 LAN を無効に設定した場合）	ECO（エコ）ボタンを押して、通常モードに切り替えてください。
	ネットワーク機器の電源が入っていない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。
	ネットワーク機器が正常に動作していない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
	無線 LAN と有線 LAN の設定を同じにしている	「インターネットの設定をする」（→ P.48）をご覧になり、設定を確認してください。
	スリープや休止状態からレジュームした	ネットワークに接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。
	上記の対処で解決しない場合	(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Plugfree NETWORK」▶「ネットワーク診断」の順にクリックし、ネットワークの状態を診断してください。

無線 LAN

無線 LAN 搭載機種のみ

症状	考えられる原因	対処方法
ネットワークに接続できない	電波が発信されていない（ソフトウェアで電波を停止している）	(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「無線 LAN 電波オン／オフツール」▶「無線 LAN 電波オン／オフツール」の順にクリックし、表示された画面で、「電波発信」をクリックしてください。
	「省電力ユーティリティ」の設定を変更している	「省電力ユーティリティ」の設定を確認してください。「省電力ユーティリティ」については、(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「省電力ユーティリティ」▶「ヘルプ」の順にクリックして、表示される説明をご覧ください。
	ECO（エコ）ボタンを押している（「省電力ユーティリティ」で無線 LAN を無効に設定した場合）	ECO（エコ）ボタンを押して、通常モードに切り替えてください。
	ネットワーク機器の電源が入っていない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。
	ネットワーク機器が正常に動作していない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
	パソコンとネットワーク機器の設置場所が適切でない	パソコンとネットワーク機器の距離が遠かったり、間に障害物があったりすると、電波が届きにくくなります。 設置場所を変えることで、改善できる場合があります。
	無線 LAN と有線 LAN の設定を同じにしている	「インターネットの設定をする」（→ P.48）をご覧になり、設定を確認してください。
	無線LANのプロファイルが正しくない	
	スリープや休止状態からレジュームした	ネットワークに接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。
	上記の対処で解決しない場合	(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Plugfree NETWORK」▶「ネットワーク診断」の順にクリックし、ネットワークの状態を診断してください。

USB 機器

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器が使えない	ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続してください。
	ドライバーに問題がある	USB 機器のマニュアルをご覧になり、必要なドライバーをインストールしてください。
	USB 機器の消費電力が大きすぎる	次の手順で、USB コネクタの電力使用状況を確認し、必要に応じて使用しない USB 機器を取り外してください。 1. (スタート)▶「コントロールパネル」の順にクリックする。 2. 「システムとセキュリティ」▶「システム」の順にクリックする。 3. 「システム」ウィンドウ左の「デバイスマネージャー」をクリックする。 4. 「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」をダブルクリックし、「USB Root Hub」をダブルクリックする。 5. 「電力」タブをクリックし、USB 接続されているデバイスが必要とする電力が、使用可能な電力の合計を超えていないか確認する。
	上記の対処で解決しない場合	Windows を再起動して、USB 機器を接続し直してください。

ハードディスク

症状	考えられる原因	対処方法
ハードディスクからカリカリ音がする	−	パソコンを操作していなくても、ハードディスクが動作することがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。
何も操作しなくてもハードディスク/CDアクセスランプが点滅する	−	パソコンを操作していなくても、ハードディスクが動作することがあるため、ハードディスク/CDアクセスランプが点滅することがあります。故障ではありません。
頻繁にフリーズするなど、動作が不安定になる	C ドライブの空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。また、万が一に備えてバックアップをとっておくことをお勧めします(→ P.115)。

メール

症状	考えられる原因	対処方法
受信したメールが文字化けしている	機種依存文字を使用している	送信者に機種依存文字を使わずにメールを送るよう依頼してください。
メールを送受信できない	インターネットに接続していない	「インターネットの設定をする」（→ P.48）をご覧になり、接続してください。
	メールアドレスが間違っている	メールアドレスを確認してください。
	メールソフトの設定が間違っている	プロバイダーのマニュアルをご覧になり、メールソフトの設定を確認してください。
	上記の対処で解決しない場合	時間をおいてから送受信してください。 それでも改善されない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。

リカバリ

症状	考えられる原因	対処方法
ご購入時の状態に戻すリカバリができない	リカバリ領域を削除した、または破損している	「リカバリデータディスク」を使用してリカバリしてください（→ P.128）。 「リカバリデータディスク」がない、または破損している場合は、「ディスクが必要な場合」（→ P.129）をご覧になり、「リカバリデータディスク」をご購入ください。

8 サポートのご案内

ユーザー登録のご案内

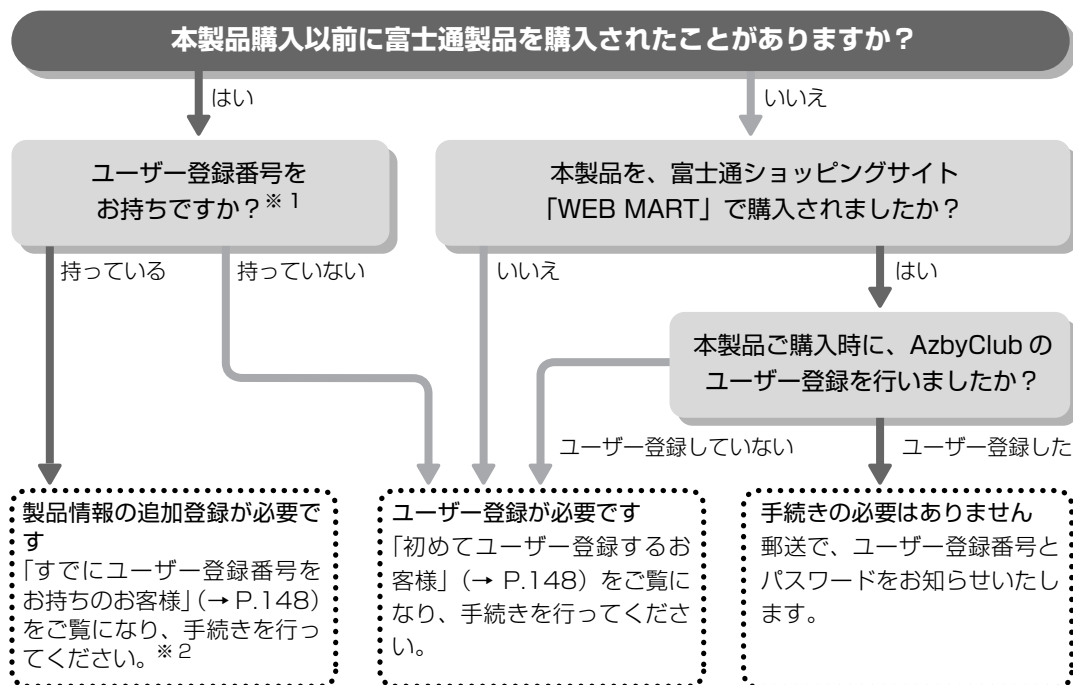
ユーザー登録とは

ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです。
ユーザー登録をすると、富士通パソコンユーザーの会員組織「AzbyClub（アズビィクラブ）」の会員となります。（入会費･年会費無料）
AzbyClub 会員になると、1 年間の無料電話相談などの手厚いサポートや会員専用の充実したサービスをご利用いただけます。詳しくは、「AzbyClub 会員のためのサポート＆サービス紹介」（→ P.149）をご覧ください。
また、ユーザー登録の際に、「AzbyClub プレミアム」にあわせてお申し込みいただくと、よりあんしん・べんり・おとくにパソコンライフをお楽しみいただけます。詳しくは、「AzbyClub プレミアム（有料）」（→ P.150）をご覧ください。

重要

- ご登録いただける住所は、日本国内のみとなります。
- ご登録いただいた情報を基に、「AzbyClub 会員規約」で規定された範囲で、アンケートや弊社または弊社の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートやサービスなどのご案内をさせていただく場合があります（受け取りの中止は随時行えます）。なお、アンケートなどを送付するときに、必要情報を委託先に預託することがあります。

ユーザー登録をする前に

次の図でユーザー登録が必要か、ご確認ください。

※１　ユーザー登録番号をお忘れの場合は、「ユーザー登録番号やパスワードを忘れた場合」（→ P.149）をご覧になり、手続きを行ってください。
※２　本製品を、富士通ショッピングサイト「WEB MART」でご購入のお客様は、製品情報の追加登録は不要です。

ユーザー登録をする

ここではインターネットでユーザー登録する方法を説明します。操作できない場合など、ユーザー登録に関するお問い合わせは、「電話お問い合わせ窓口」（→P.166）をご覧ください。

■必要なものを用意してください。

□保証書

製品の情報を確認するときに必要になります。
登録後も大切に保管してください。

□筆記用具

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを本マニュアルに控えていただくときに必要になります。

■初めてユーザー登録するお客様

インターネットのユーザー登録専用ホームページからユーザー登録してください。インターネットに接続している場合のみ、専用ページに進むことができます。

1 「富士通パソコンユーザー登録」ボタンをクリックし、表示された画面上の説明をお読みになり、ユーザー登録開始 をクリックします。

「富士通パソコンユーザー登録」ボタンは
デスクトップの右上にあります

（画面は機種や状況により異なります）

Point

- 「富士通パソコンユーザー登録」ボタンがない場合は、デスクトップ上の （富士通パソコンユーザー登録）をクリックします。

2 画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを、次の欄に記入して、大切に保管してください。記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

ユーザー登録の際お申し込みいただける「AzbyClub プレミアム」とは

インターネットショッピングなどでの専用特典や、専用ダイヤルによる手厚い電話サポートなどが受けられる、AzbyClub会員向けのサービスです。詳しくは「AzbyClubプレミアム（有料）」（→P.150）をご覧ください。

■すでにユーザー登録番号をお持ちのお客様

インターネットの「マイページ」から、今回ご購入いただいたパソコンの情報を追加登録してください。

1 AzbyClub の「マイページ」にアクセスし、ユーザー登録番号とパスワードを入力して「ログイン」をクリックします。

http://azby.fmworld.net/

2 ログイン後のページで「登録情報変更」をクリックします。

※ もう一度、ユーザー登録番号とパスワードを入力する場合があります。

3 画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。

Point

- ユーザー登録情報を変更したいときは、AzbyClub の「マイページ」(http://azby.fmworld.net/) の「登録情報変更」から行ってください。弊社より、常に最適なサポートやサービスをご提供させていただくため、住所やメールアドレスなどが変更になった場合には、登録情報の更新をお願いいたします。

■ユーザー登録番号やパスワードを忘れた場合

AzbyClub の「マイページ」から、手続きを行います。
「登録番号の再通知 / パスワードの再発行」から、ユーザー登録番号の確認やパスワードの再発行をしてください。
http://azby.fmworld.net/

AzbyClub 会員のためのサポート&サービス紹介

「AzbyClub(アズビィクラブ)」とは、富士通パソコンユーザーの会員組織です。会員の特典として、富士通のパソコンをより楽しく快適に利用いただくために、次のサポートやサービスをご用意しております。

AzbyClub「マイページ」

http://azby.fmworld.net/

(画面は状況により異なります)

富士通パソコンユーザーのためのポータルページです。
ユーザー登録をすると、登録した機種にあわせた情報がご覧になれます。
ほかにも、インターネット検索のための検索バーをはじめ、ニュースやお天気情報、富士通パソコンユーザー向けのお買い物やサービス情報、無料壁紙、富士通からの重要なお知らせなど、役立つ内容があります。

■登録した機種にあわせた情報

機種にあわせたおすすめQ&A情報で、操作上のお悩みを事前チェック&らくらく解決することができます。

■パソコン使いこなし・サービス紹介コーナー
すぐに使えるパソコンテクニックや、富士通パソコンユーザー向けのサービス情報などが毎週更新されます。

■壁紙コーナー
季節ごとの美しい風景や、かわいい動物の壁紙を無料でダウンロードできます。

壁紙ダウンロード
心地良さそうに佇む仔猫の壁紙を公開！
ダウンロードページへ

AzbyClub メール配信

お持ちの富士通のパソコンやAzbyClubに関する最新情報をはじめ、サポート情報、各種キャンペーン、お買い得情報などをお届けします。
詳しくは、「マイページ」の「メールマガジン」をご覧ください。

AzbyClub 会員専用サポート

マニュアルや、AzbyClub ホームページなどで確認しても、問題が解決できない場合、電話やメールで技術相談を受けられます。
詳しくは、「サポート窓口に相談する」（→ P.151）をご覧ください。

AzbyClub プレミアム（有料）

http://azby.fmworld.net/premium/
AzbyClub プレミアムにお申し込みいただくと、パソコンをより「あんしん」「べんり」「おとく」にご利用いただけます。

※ お選びいただくコースによって特典内容が異なります。
※ 一部のコースは無料でご利用いただけます。
※ サービスの詳細や最新の情報はホームページをご覧ください。

サポート窓口に相談する

マニュアルやインターネットで調べてもトラブルが解決しない場合は、サポート窓口にご相談ください。
ご相談内容によって、お問い合わせ先が異なります。次の内容をご覧になり、お問い合わせ窓口をご確認ください。

ソフトウェアのお問い合わせ先

「サポート対象外のソフトウェア」、「ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」以外のソフトウェアは、弊社がサポートいたします。
各ソフトウェアのサポート先をご確認ください。
搭載されているソフトウェアはお使いの機種により異なります。

■サポート対象外のソフトウェア

次のソフトウェアは、各ソフトウェア提供会社により無料で提供されている製品のため、**ユーザーサポートはありません。**

Adobe® Reader®、Adobe® Flash® Player、Java SE Runtime Environment 6

■ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア

お問い合わせ先についてお間違えのないよう、お確かめのうえお問い合わせください。

●有料のサポートについて
ソフトウェアのお問い合わせ先の中には、サポートを有料としている場合があります。

●ご使用にあたって
本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件に従い、取り扱われるものとします。

記号	**@nifty でブロードバンド**	**ニフティ株式会社**　@nifty お申し込み受付デスク 電話：0120-50-2210 受付時間：10:00 ～ 19:00（年中無休）　※携帯電話・PHS 着信可
D	**DigiBook®Browser for FUJITSU**	**株式会社 DigiBook** 電話：03-6805-9240　FAX：03-5468-1250 受付時間：10:00 ～ 17:00 URL：https://secure.digibook.net/contact/ E メール：info@digibook.net
E	**e 解説 Microsoft Office 2010 教室**	**株式会社イーフロンティア**　ユーザーサポート係 電話：0570-028-222（携帯電話からの場合：03-3267-1129） 受付時間:10:00～12:00、13:00～17:00(土･日･祝祭日･指定休業日を除く) URL：http://www.e-frontier.co.jp/support/
G	**GAMEPACK2012F**	**ダットジャパン株式会社**　ユーザーサポートセンター 電話：011-716-5310　FAX：011-716-5350 受付時間:10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00(土･日･祝祭日･年末年始を除く) URL：http://www1.datt.co.jp/f/ E メール：support@datt.co.jp
	Google Chrome	**グーグル株式会社**　ヘルプセンター（Google Chrome） URL：http://www.google.co.jp/support/chrome/

※搭載されているソフトウェアはお使いの機種により異なります。

<table>
<tr><td>G</td><td>Googleツールバー</td><td>グーグル株式会社　ヘルプセンター（Google ツールバー）
URL：http://www.google.co.jp/support/toolbar/</td></tr>
<tr><td>I</td><td>i - フィルター ® 6.0</td><td>デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話：0570-00-1334
受付時間：10:00 ～ 18:00（指定休業日を除く）
URL：http://www.daj.jp/faq/
お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/
90 日間の試用期間中、サポートいたします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">M</td><td>Microsoft® Office Home and Business 2010
Microsoft® Office Personal 2010
Microsoft® Office Personal 2010 2 年間ライセンス版
・ Microsoft® Excel® 2010
・ Microsoft® OneNote® 2010
・ Microsoft® Outlook® 2010
・ Microsoft® PowerPoint® 2010
・ Microsoft® Word 2010
・ Microsoft® Office ナビ 2010
・ Microsoft® PowerPoint® 2010 楽しもう フォト ウィザード</td><td>日本マイクロソフト株式会社　無償サポート
電話：0120-54-2244
セットアップ、インストールに関するお問い合わせ：
受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、
土・日／ 10:00 ～ 17:00（祝祭日・年末年始・指定休業日を除く）
基本操作に関するお問い合わせ：
受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、
土／ 10:00 ～ 17:00（日・祝祭日・年末年始・指定休業日を除く）
・基本操作に関するお問い合わせについては、お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して 90 日間が有効期間です（サポート ライフサイクル期間内）。
URL：http://support.microsoft.com/</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Silverlight™</td><td>日本マイクロソフト株式会社
次の手順でお問い合わせください。
1. Silverlight サポートページにアクセスします。
URL：http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=199242
2. ページ右側の「お問い合わせ」の下にある「マイクロソフトへ問い合わせる」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、お問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>W</td><td>Windows Live®
・Windows Live® Messenger
・Windows Live® Writer
・Windows Live® フォト ギャラリー
・Windows Live® ムービー メーカー
・Windows Live® メール
・Windows Live® Mesh</td><td>日本マイクロソフト株式会社
次の手順でお問い合わせください。
1. サポートページにアクセスします。
URL：http://www.windowslivehelp.com/
2. 「Windows Live Solution Center へようこそ」の表内から確認する製品を選択します。
3. 疑問点の解決方法を検索し、解決しないときは各ページの「質問する」リンクからお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>Y</td><td>YouCam</td><td>サイバーリンク株式会社　サイバーリンク・カスタマーサポート
電話：0570-080-110（PHS、一部の IP 電話の場合：03-5205-7670）
受付時間：10:00 ～ 13:00、14:00 ～ 17:00
（土・日・祝祭日・指定休業日を除く）
URL：http://support.jp.cyberlink.com/</td></tr>
</table>

※搭載されているソフトウェアはお使いの機種により異なります。

あ行	**ウイルスバスター 2012 クラウド ™**	**トレンドマイクロ株式会社** ウイルスバスターサービスセンター 電話：0570-01-9610 ・「0570」から始まる電話番号はナビダイヤルと呼ばれる、NTT コミュニケーションズ（株）のサービス名称です。 ・上記ナビダイヤルは東京、大阪、九州に着信し、通話料はお客様のご負担となります。 ・PHS、海外からはご利用いただけません。 受付時間：9:30 ～ 17:30（年中無休） URL：http://www.trendmicro.co.jp/support/ メール・電話でサポートを受けるには？： http://tmqa.jp/contents/oem/fujitsu/vbfaq/Inqinformation.asp 90 日間の試用期間中、サポートいたします。
か行	**角川類語新辞典**	**株式会社角川学芸出版** 編集局辞書デジタル編集室 電話：03-5215-7825（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「Azby テクニカルセンター」（→ P.156）へお問い合わせください。
	学研パーソナル英和辞典 **学研パーソナル和英辞典** **学研パーソナル現代国語辞典** **学研パーソナル版漢字辞典**	**株式会社学研教育出版** デジタルコンテンツ事業室 電話：03-3493-3286（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「Azby テクニカルセンター」（→ P.156）へお問い合わせください。
	現代用語の基礎知識 2011 年版	**株式会社自由国民社** 辞典編集部 電話：03-6233-0788（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：9:30 ～ 12:00、13:30 ～ 17:30（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「Azby テクニカルセンター」（→ P.156）へお問い合わせください。
	広辞苑第六版	**株式会社岩波書店** 電子出版編集部 電話：03-5210-4082（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「Azby テクニカルセンター」（→ P.156）へお問い合わせください。
さ行	**ジーニアス英和辞典 MX** **ジーニアス和英辞典 MX** **新漢語林 MX** **明鏡国語辞典 MX** **あふれる新語** **KY 式日本語** **問題な日本語** **築地魚河岸ことばの話**	**株式会社大修館書店** 電子出版開発室 電話：03-3294-2352（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 16:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「Azby テクニカルセンター」（→ P.156）へお問い合わせください。
	新和英中辞典第 5 版 **リーダーズ英和辞典第 2 版**	**株式会社研究社** 電子出版室 電話：03-3288-7711（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「Azby テクニカルセンター」（→ P.156）へお問い合わせください。

※搭載されているソフトウェアはお使いの機種により異なります。

た行	**デイリー日中英・中日英辞典** **デイリー日中英３か国語会話辞典** **デイリー日韓英・韓日英辞典** **デイリー日韓英３か国語会話辞典** **デイリー日西英・西日英辞典** **デイリー日西英３か国語会話辞典** **デイリー日伊英・伊日英辞典** **デイリー日伊英３か国語会話辞典** **デイリー日独英・独日英辞典** **デイリー日独英３か国語会話辞典** **デイリー日仏英・仏日英辞典** **デイリー日仏英３か国語会話辞典**	**株式会社 三省堂**　CD-ROM 製品 ユーザーサポート係 電話：03-3230-9416（携帯電話からの場合：03-3230-9580） （辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土･日･祝祭日･指定休業日を除く） E メール：e-info@sanseido-publ.co.jp 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「Azby テクニカルセンター」（→ P.156）へお問い合わせください。
	デジタル全国地図いつも NAVI（ナビ）	**株式会社ゼンリンデータコム**　お客様相談室 URL：http://www.zmap.net/contactus/index.html E メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net 90 日間の試用期間中、サポートいたします。
	とびだす熱帯魚！	**株式会社アンバランス** ユーザーサポート 電話：03-5283-3625 FAX:03-5283-3665 受付時間：13:00-18:00（土・日・祝祭日を除く） URL：http://www.unbalance.co.jp/support/ E メール：support@unbalance.co.jp
な行	**ノートン TM インターネットセキュリティ 2012** **(NortonTM Internet Security 2012)**	**株式会社シマンテック**　シマンテック・テクニカル・サポートセンター （PC バンドル版窓口）ユーザー登録、製品のご購入、製品 CD-ROM の不良、製品のアクティブ化などのお問い合わせ窓口 URL：http://symss.jp/jpo-fujitsu-reg/ 電話：03-5642-2686 受付時間：月～金／ 10:00 ～ 19:00、土・日・祝祭日／ 10:00 ～ 16:00 ・このセンターは技術的なお問い合わせ用の窓口です。 ・ご利用期間は更新期間（90 日間）となります。（更新サービス延長を申し込みいただくと、引き続きこのサポートをご利用いただけます。詳しくは、製品別サポートページ （URL：http://symss.jp）をご覧ください。） ・更新サービス延長のお申し込みは、サポートセンターとは異なるお問い合わせ先になります。 シマンテック・ストア　URL：http://www.symantecstore.jp/users.asp 電話：0570-005557（ナビダイヤル） 営業時間：10:00 ～ 17:00 （土・日・祝祭日を除く）
は行	**筆ぐるめ Ver.19**	**富士ソフト株式会社**　インフォメーションセンター 電話：03-5600-2551 受付時間：9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00 （土･日･祝祭日および指定休業日を除く／ 11月1日から12月30日までは無休） URL：http://info.fsi.co.jp/fgw/　　E メール：users@fsi.co.jp

※搭載されているソフトウェアはお使いの機種により異なります。

まと行	マカフィー® サイトアドバイザーライブ 30日期間限定版	マカフィー株式会社 ①マカフィー・テクニカルサポートセンター 電話：0570-060-033（携帯電話からの場合：03-5428-2279） 受付時間：9:00 ～ 21:00（年中無休） ②マカフィー・カスタマーオペレーションセンター 電話：0570-030-088（携帯電話からの場合：03-5428-1792） 受付時間：9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） ①②共通 URL：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/ お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter.asp 30日間の試用期間中、サポートいたします。

※搭載されているソフトウェアはお使いの機種により異なります。

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

Azby テクニカルセンターは、AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。音声ガイダンスに従って、窓口番号を選択してください。

Azbyテクニカルセンター

キューゴーマル フジツー
0120-950-222

▶▶▶ダイヤル 1 をプッシュ

通話料無料 / 受付時間：9:00～21:00

携帯電話,PHS, 海外からはこちら

ゴーイチヨン ニーニーゴーゴー
045-514-2255

（通話料金お客様負担）

受付時間：9：00～17：00

※ 電話番号はお間違えのないように、充分ご確認のうえおかけください。
※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※ サポート内容は予告なく変更する場合があります。

詳しくはホームページ（http://azby.fmworld.net/azbytech/）をご覧ください。

■お問い合わせ前に確認してください

●「AzbyClub サポート」（http://azby.fmworld.net/support/）で解決方法を確認しましたか？
知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。詳しくは「インターネットで調べる」（→ P.133）をご覧ください。

●ユーザー登録はしましたか？
電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法は「ユーザー登録のご案内」（→ P.147）をご覧ください。

●ソフトウェアのお問い合わせ先を確認しましたか？
各ソフトウェア提供会社のお問い合わせ先は「ソフトウェアのお問い合わせ先」（→ P.151）をご覧ください。

●お使いのパソコンをお手元に用意いただいていますか？
お電話中に操作を行っていただく場合がございますので、お手元にご用意ください。

●データのバックアップはしましたか？
大切なデータの予備を保存しておくと、安心です。バックアップ方法については「バックアップ」（→ P.115）をご覧ください。

■ご利用料金とお支払いについて

●ご利用料金

・パソコン本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、**1 年間無料**でご利用いただけます。[注]

注： Refreshed PC に関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり 2,000 円（税込）となります。
また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9 時～17 時となります。

・2 年目以降
お問い合わせ 1 件あたり 2,000 円（税込）

※ AzbyClub カードでお支払いの場合は、1,500 円 / 件（税込）でご利用いただけます。

Point

▶ お問い合わせ 1 件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。（ただし14日以内に限ります）
▶ AzbyClub カードについて詳しくは、（http://azby.fmworld.net/azbycard/）をご覧ください。

●お支払い方法
お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジットカード支払い	音声ガイダンスで、クレジットカード番号、有効期限の入力をお願いします。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途 200 円かかります。

■電話相談サポートの活用方法について

●サポートコール予約
http://azby.fmworld.net/callback/
サポートコールの予約ができます（24 時間受付）。

●電話窓口の混雑状況
http://azby.fmworld.net/konzatsu/
つながりやすさの状況をホームページで公開しています。「つながりやすい時間帯」を参考におかけください。

FAX 情報サービス

「パソコンが起動しない場合」、「画面がおかしい場合」などのトラブルの内容に応じた解決方法を、FAX で入手できます。
初めてご利用いただく際は、「0001（FAX 資料番号一覧）」をお取り出しいただき、ご希望の資料番号をご確認ください。
音声ガイダンスに従って、ご希望の資料番号と # を入力した後、FAX のスタートボタンを押して、受話器を戻してください。

FAX 情報サービス

キューゴーマル　フジツー
0120-950-222

ダイヤル 9 をプッシュ

通話料無料 / 受付時間：24時間365日

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

修理サービスを利用する

修理を申し込む前の準備

●故障かどうかをもう一度ご確認ください
パソコンのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に「故障や修理に関する受付窓口」へのお電話の半数以上は、パソコンの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。
「ネットで故障診断」（http://azby.fmworld.net/webpcrepair/）で、本当にパソコンが故障しているか確認してください。

●修理規定をご確認ください
お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→ P.167）を確認のうえ、同意をお願いします。

●修理料金の目安をご確認できます
ホームページで概算修理料金をご覧ください。
http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html
また、「FAX 情報サービス」（→ P.157）でも概算修理料金表を入手できます。（資料番号：6121）

●保証書をお手元にご用意ください
保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日（保証開始日）から 1 年間となります。保証期間内は無料で修理させていただきます。
ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。

●故障品をお手元にご用意ください
お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。

●データのバックアップをおとりください
修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置（ハードディスク等）内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身で DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
バックアップの方法については「バックアップ」（→ P.115）をご覧ください。
また、パソコンの故障などによりお客様がバック

アップできない場合には、「PC データ復旧サービス」（有料）もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス（有料）

http://azby.fmworld.net/datarescue/

修理の申し込み

パソコンの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

■ホームページで申し込む（ネットで故障診断）

「ネットで故障診断」では、パソコンが故障しているかどうかを調べることができます。
故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

ネットで故障診断

http://azby.fmworld.net/webpcrepair/

■電話で申し込む

音声ガイダンスに従って、窓口番号を選択してください。

故障や修理に関する受付窓口
（富士通パーソナルエコーセンター）

キューニーロク　ニーニーマル
0120-926-220

ダイヤル 2 ▶▶▶ 2 をプッシュ

通話料無料 / 受付時間：9:00〜21:00

携帯電話,PHS, 海外からはこちら

ゴーイチヨン　ニーニーロクマル
045-514-2260

（通話料金お客様負担）

受付時間：9：00〜17：00

※ 電話番号はお間違えのないように、充分ご確認のうえおかけください。
※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※ **ご購入後 1ヶ月以内のパソコン**は、2 ▶▶▶ 1「富士通パソコン診断センター」にご相談ください。

重要

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→ P.167）の第 13 条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。

お引き取りとお届け（パソコン修理便）

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンを引き取りに伺います。
引き取りから修理・お届けまで約 7 日間です（土・日・祝日を含む）。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。
　また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

■お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降（9:00 〜 21:00 [注]）で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情等により指定日時にお伺いできない場合があります。

■お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。
梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

重要

- 次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。
  ・Windowsのユーザーアカウントのパスワード
  ・BIOS パスワード
  ・ハードディスクパスワード

●保証書を用意してください（保証期間中の場合）。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。
●宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。
●引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

●「修理状況確認サービス」（http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/）で携帯電話やパソコンのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

■お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について
- ・保証期間内（保証開始日より 1 年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
- ・保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）

※ 交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

■ホームページで確認する（修理状況確認サービス）

パソコンや携帯電話（i モード、Ezweb、Yahoo! ケータイ）で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）を入力して、修理状況を確認できます。

修理状況確認サービス

パソコンでも携帯電話でも
http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/

携帯電話から
バーコード読み取り機能付きの携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。

※ 携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話のメーカーにお問い合わせください。
※ スマートフォンでもご利用いただけます。

■電話で確認する

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）と、修理お申し込み時にご登録されたお電話番号を入力してください。

富士通修理お問い合わせダイヤル

0120-926-220（キューニーロク ニーニーマル）
ダイヤル 3 をプッシュ
通話料無料 / 受付時間：24時間365日

携帯電話,PHS, 海外からはこちら
045-514-2260（ゴーイチヨン ニーニーロクマル）
（通話料金お客様負担）
受付時間：9：00～17：00

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

訪問修理サービス（有料）

弊社指定の修理サービス会社がご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。
ご利用料金は、修理作業完了後に、修理担当者に現金でお支払いください。

●訪問修理の料金体系

	訪問料金	修理料金
保証期間内（保証開始日より 1 年間）	有料	無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
保証期間外	有料	有料

※ 離島の場合は、訪問料金とは別に、訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をご負担いただく場合があります。訪問修理サービスの詳細は、「富士通パーソナルエコーセンター」にお問い合わせください。

PC 引取点検サービス（有料）

パソコンを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・ソフトウェアの点検や、外部・内部の清掃を行う有料サービスです。

PC引取点検サービス

http://azby.fmworld.net/support/repair/tenken

9 廃棄・リサイクル

富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内

個人でご購入のお客様が本製品を廃棄する場合は、次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

お申し込みホームページ	**http://azby.fmworld.net/recycle/**
お問い合わせ電話番号	03-5715-3140（通話料金お客様負担） 受付時間 9:00 ～ 17:00 （土・日・祝日および弊社指定休日を除く）

注　引越しなどでパソコンのリサイクルをお急ぎの場合は、お手続きの早いクレジットカードでのお支払いでお申し込みいただくことをお勧めします。
詳しくは、上記ホームページより「引越しなどでお急ぎの方へ」をクリックしてください。

重要

- 法人、企業のお客様へ
  お申し込みホームページは、個人のお客様専用のため、法人、企業のお客様はご利用いただけません。
  法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

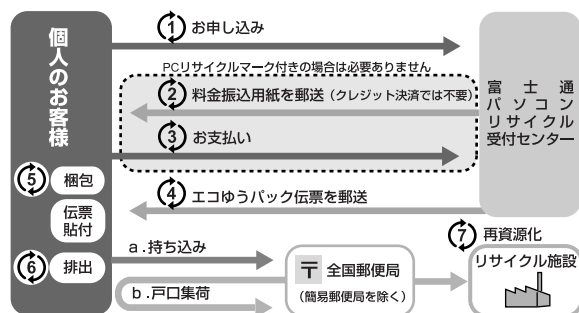
PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです。PC リサイクルマークが付いた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。

PC リサイクルマークの付いていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。

（装置銘板は機種により異なります）

ご利用の流れ

最新の情報はお申し込みホームページでご確認ください。

1 お申し込み

使用済みの富士通個人向けパソコンのリサイクル回収のお申し込みをしてください。PC リサイクルマークのあるパソコンについては、無料でリサイクル回収いたします。

・ホームページからいつでもお申し込みいただけます。

・付属ディスプレイのある ESPRIMO の場合、パソコン本体と付属ディスプレイそれぞれの申し込み手続きと梱包が必要です。

2 料金振込用紙を郵送

お支払い方法で郵便振替、コンビニエンスストア振込を選択されたお客様へ、料金振込用紙が郵送されます。

注　クレジットカード決済時は、料金振込用紙の郵送はありません。

3 お支払い

回収再資源化料金をお支払いいただきます。

お支払い方法は、クレジットカード決済（ホームページから申し込みの場合のみ）、郵便振替またはコンビニエンスストア振込がご利用いただけます（手数料はかかりません）。郵便振替、コンビニエンスストア振込の場合は、当社からお送りする振込用紙でお支払いください。

4 エコゆうパック伝票を郵送

PC リサイクル専用の「エコゆうパック伝票」が郵送されます。

5 梱包・伝票貼付

お申し込みのパソコンを梱包し、「エコゆうパック伝票」を外側に貼り付けてください。

6 梱包済みパソコンの排出

パソコンの回収は郵便事業株式会社の支店・郵便局（簡易郵便局を除く）にお持ち込みいただくか、戸口集荷にてうけたまわります。戸口集荷の場合、引き取り日時については直接お客様と郵便事業株式会社の支店・郵便局で調整していただきます。

注　エコゆうパックは、コンビニエンスストアではお取り扱いできません。

注　回収後の申し込みのキャンセルおよびリサイクル製品の返却はできません。

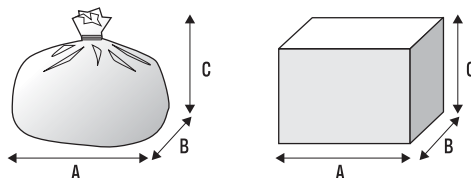
7 再資源化

お引き渡しいただいたパソコンは、当社指定の配送業者が当社指定の再資源化処理業者まで配送します。再資源化処理業者にて、法律に沿った適正な再資源化処理を行います。

サービスをご利用になるうえで

- 他社製パソコンは弊社では回収・再資源化できません。**各製造メーカー**にお申し込みください。
- ガラス面が破損した CRT ディスプレイなど、運送上危険なものは回収できません。
- ご購入時の標準添付品のうち、マウス、キーボード、ケーブル類、スピーカーなどは本体といっしょに梱包していただければ同時に回収いたします（マニュアル、CD-ROM 媒体などは回収できません）。
- 弊社ホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/recycle_rurles.html）、またはエコゆうパック伝票に同封されている「使用済家庭用パーソナルコンピュータ回収委託規約」を必ずお読みいただき、**同意したうえ**でお引き渡しください。
- エコゆうパックは、コンビニエンスストアではお取り扱いできません。
- エコゆうパック伝票には**有効期限があります**ので、すみやかにお引き渡しいただきますようお願いいたします。
- お引き渡しされた後は、再資源化のキャンセル／パソコンの**返却はできません。**
- お引き渡しになるときには、パソコン内のデータは**お客様ご自身の責任**で消去してください。データの消去については、「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」（→ P.162）をご覧ください。
- 廃棄前に、メモリーカードや DVD などのディスクがパソコン本体にセットされたままになっていないか確認してください。

梱包するときに

- 梱包の条件は次のとおりです。

・厚手のポリ袋（薄手のポリ袋は 2 枚重ね）やビニール袋などの破れにくい袋、もしくは段ボール箱

・使用済みパソコンは、重さ 30kg まで

・A ＋ B ＋ C の長さ＝ 1.7m 以内

※ 1.7m 以内になるように梱包願います。

・同梱できるもの

プリンターなどの周辺機器、取扱説明書、マニュアル、CD や DVD など

- エコゆうパック伝票はビニールケースに入れたまま、裏面をはがし、梱包箱（もしくは袋）の上面や側面の目立つ場所に貼り付けてください。

●梱包した使用済みパソコンが 30kg を超える、梱包の縦、横、高さの合計が 1.7m を超えるなどの理由により、郵便局で引き取りができない場合があります。そのときは、富士通パソコンリサイクルのお問い合わせ電話番号にご連絡ください。

廃棄に関するご注意

ここでは、本製品（付属品を含む）を廃棄する場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。
ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

① データを「ごみ箱」に捨てる
②「削除」操作を行う
③「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
④ ソフトで初期化（フォーマット）する
⑤ 付属のリカバリー CD を使い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。
まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に②～⑤の操作をしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。
したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。
パソコンユーザが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェア

あるいはサービス（有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

■ハードディスクデータ消去

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の 1 つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。
「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェアを使ってデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。

□お使いになるうえでのご注意

- 必要なデータはバックアップしてください
- 「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」が必要です
  「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、必ずリカバリディスクセットを作成してください（→ P.174）。
  購入することもできます。購入方法は、「ディスクが必要な場合」（→ P.129）をご覧ください。
- 「ハードディスクデータ消去」実行後にご購入時の状態に戻す場合
  「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」を使って起動してください。
  「トラブル解決ナビ」が表示されたら、「リカバリ」タブで「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を選択します。リカバリディスクセットを使い、画面の指示に従って操作してください。
- データ消去終了まで、数時間かかります
  途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます

□準備

- 外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください
- 周辺機器は取り外してください
- CD/DVDドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください
  - ・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM53）」をお勧めします。
  - ・操作を開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。
- LIFEBOOKの場合、必ずACアダプタを接続してください

□ハードディスクデータ消去手順

1 **「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」を使って「トラブル解決ナビ」を起動します。**
「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.136）の「「トラブル解決ナビディスク」から起動する」をご覧ください。

2 **「ユーティリティ」タブをクリックして「ハードディスクデータ消去」をクリックし、「実行」をクリックします。**
「ハードディスクデータ消去」の画面が表示されます。

3 **内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、「同意します」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。**
消去するハードディスクを選択する画面が表示されます。

4 **データを消去したいハードディスクが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。**
データを消去する方式を選ぶ画面が表示されます。

Point

- ESPRIMO DH77/G および ESPRIMO DH70/GN では、「全てのハードディスク」を選択してください。

5 通常は「固定データ書き込み」または「DoD 標準（米国国防総省規格）」のどちらかを選んで◉にし、「次へ」をクリックします。
ハードディスクが SSD（フラッシュメモリディスク）の場合は、「SSD 対応（フラッシュメモリディスク用）」を選んでください。
エラーが発生したときの処理を選ぶ画面が表示されます。

6 内容をよくお読みになり、「ハードディスクのエラーを検出した時点で処理を中断します【推奨】」または「エラーを検出した際、その部分をスキップして処理を継続します」のどちらかをクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。
ハードディスクの情報と、データ消去中の注意事項が表示されます。

7 内容をよくお読みになり、データの消去を実行しても良い場合は、「開始」をクリックします。
確認のウィンドウが表示されます。

8 「OK」をクリックします。
データ消去が始まります。消去には、数時間かかります。

9 「電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。」と表示されたら、「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」を取り出し、電源ボタンを 4 秒以上押して（⏻（電源）に触れて電源を入れる機種では 4 秒以上触れて）電源を切ります。

■法人・企業のお客様へ
弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ消去サービス」をご用意しております。
消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

ソフト消去	専用ソフトウェアを使って、ハードディスクに対して 2 回上書き（ランダムデータ＋0 データ）することにより残存するデータを完全に消去します。DoD や NSA［エヌエスエー］など海外の各種消去規格にも対応可能です。
ハード消去	消磁装置を使用してハードディスクを磁気的に破壊します（最大磁力：1.3 テスラ）。

消去作業完了報告書として、作業実施日、消去済み機器一覧、ならびに消去方法を記載した物を納品物として提供します。
詳しくは、「データ消去サービス」（http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/h_elimination/）をご覧ください。
お問い合わせ／お申し込みは、上記ホームページのフォームでお受けしています。

使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■個人のお客様へ
使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■法人、企業のお客様へ
使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

LED バックライト付ではない液晶ディスプレイの蛍光管には水銀が含まれております。
液晶ディスプレイの仕様については、「仕様一覧」をご覧ください。

使用済みバッテリの取り扱いについて

LIFEBOOK

- リチウムイオン電池のバッテリパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

■個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、一般社団法人 JBRC［ジェイビーアールシー］のホームページ（http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html）をご覧ください。

弊社は、一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

Point

- リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出しください。パソコンのリサイクルについては、「富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内」（→ P.160）をご覧ください。

■法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

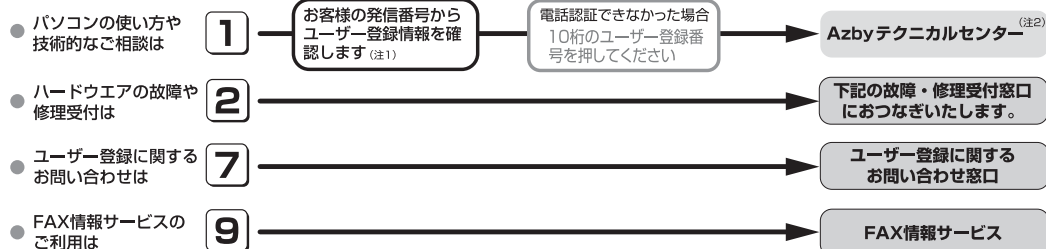
Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

電話お問い合わせ窓口

パソコンについて困ったときのための電話相談窓口です。

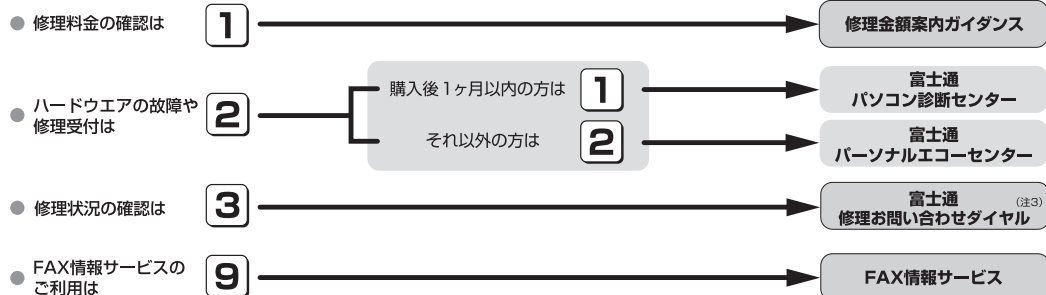
※最新の情報はホームページをご覧ください。（http://azby.fmworld.net/support/contact/madoguchi/）

音声ガイダンスに従って窓口番号を選択してください。

故障や修理に関する受付窓口

通話料無料　キューニーロク ニーニーマル **0120-926-220**　受付時間は窓口によって異なります

携帯電話、PHS、海外からはこちら　ゴーイチヨン ニーニーロクマル **045-514-2260**（通話料金お客様負担）　受付時間：9：00～17：00

※最新の情報はホームページをご覧ください。（http://azby.fmworld.net/support/repair/contact/）

音声ガイダンスに従って窓口番号を選択してください。

※電話番号はお間違えのないように、十分ご確認のうえおかけください。
※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。

注1: ユーザー登録されている電話番号とお客様の発信電話番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。
非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。
注2: 初めてパソコン本体に電源を入れた日（保証開始日）から1年間無料でご利用いただけます。
注3: 修理状況、見積り金額のご確認には、「修理お問合せ伝票番号」（8桁）が必要となります。音声ガイダンスに従って、「修理お問合せ伝票番号」を入力してください。

音声ガイダンスで「番号が確認できません」というメッセージが流れたら
●プッシュボタン式の電話機で、電話回線の契約が「ダイヤル回線」の場合
→ 電話がつながった後に、トーン切替ボタン（一般的に[＊]ボタン）を押してください。
●ダイヤル式の電話機（一般的な黒電話機）の場合
→ 電話がつながった後、窓口選択ができませんので、ダイヤルせずにそのままお待ちください。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

第 1 条（本規定の適用）

1.　富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が「富士通パーソナルエコーセンター」< 0120-926-220（通話料無料）>にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ「http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合ならびに販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。

2.　前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第 2 条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第 3 条（修理の形態）

1.　富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。

(1)　引取修理（パソコン修理便）
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。なお、当該引き取りおよびお届けにかかる送料は、保証期間（保証書に定める保証期間をいい、以下同じとします）の内外を問わず、無料となります。

(2)　訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。

2.　前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、AC アダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第 4 条（保証期間内の修理）

1.　保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。

2.　前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

(1)　保証書が対象機器に添付されていない場合

(2)　保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合

(3)　ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合

(4)　火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合

(5)　寿命部品や消耗品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合

(6)　接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアの使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合

(7)　お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合

(8)　お客様が設定したパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、マザーボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合

(9)　お客様のご使用環境や対象機器の維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合
（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）

3.　第 1 項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。

(1)　第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料

(2)　ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料

第 5 条（保証期間外の修理）

1.　お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。

2.　次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。

(1)　第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料

(2)　ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料

3.　お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第 6 条第 2 項および第 3 項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。

4.　お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第 6 条（修理料金の見積もり）

1.　修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等お伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定

の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。

2. 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から 1 か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
3. 第 1 項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第 7 条（修理料金等の支払い方法）

第 4 条または第 5 条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第 8 条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として 7 日間で対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7 日間を超える場合があるものとします。

(1) お客様から伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
(2) 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
(3) 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
(4) お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
(5) 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
(6) 補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品をいい、以下同じとします）が在庫切れの場合

第 9 条（修理品の保管期間）

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了ならびに返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から 6 か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用ならびに当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第 10 条（故障部品の取り扱い）

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条（修理ご依頼時の注意事項）

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

(1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
(2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）なお、修理ならびに修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
(3) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
(4) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
(5) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。
(6) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
(7) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体（CD、DVD、メモリーカード、フロッピィディスク、MO 等）、他の機器との接続ケーブル、ならびに添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
(8) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
(9) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。
   a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
   b. ウイルスの除去
   c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
   d. データ等のバックアップおよび復旧作業
(10) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品は、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む）とします。

2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

(1) 修理を実施すること。

(2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

(3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

(4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに、当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。

3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条（責任の限定）

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。

2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。

3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。
また、富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。

4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条（変更）

富士通は、本規定の内容を変更する必要が生じた場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付　則

本規定は、2011 年 5 月 10 日から実施します。

■対象機器

・FMV シリーズ
・ESPRIMO ／ LIFEBOOK（品名が以下のように表記される製品）

または、

AzbyClub 会員規約

第 1 条（適用範囲）

1. 本会員規約は、富士通株式会社（以下「富士通」といいます）が提供する「AzbyClub」（アズビィクラブ）の各サービス（以下「本サービス」といいます）を、次条に定める会員（以下「会員」といいます）が利用する場合に適用されます。

2. 本会員規約とは別に、富士通が本サービス毎に利用規約または利用条件（以下あわせて「利用規約等」といいます）を定めた場合には、会員は、当該利用規約等に従って本サービスを利用するものとします。なお、本会員規約と利用規約等の定めが異なる場合は、当該利用規約等の定めが優先して適用されるものとします。

第 2 条（会員）

1. 会員とは、本会員規約末尾記載の本サービスの対象製品（以下「サービス対象製品」といいます）を購入し、富士通に対しユーザー登録をしていただいた方で、これに対し富士通が本サービスの利用に必要なユーザー登録番号およびパスワードを発行した方をいいます。

2. ユーザー登録の登録料ならびに AzbyClub の入会金および年会費は無料です。ただし、ユーザー登録の際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第 3 条（本サービス）

1. 富士通は、会員に対し、日本国内において日本語にて以下のサービスを提供します。
   (1) 会員専用ホームページにおけるサービス
      (a) サービス対象製品に関する最新情報および Q&A 情報の提供
      (b) ソフトウェアのダウンロードサービス
      (c) その他の富士通が別途定めるサービス
   (2) サービス対象製品に関する、Azby テクニカルセンターによるサポート
      (a) 電話サポート
      (b) E メールサポート
   (3) AzbyClub ポイントサービス

2. 富士通は、本サービスに係る業務の一部または全部を第三者に委託できるものとします。

第 4 条（会員専用ホームページにおけるサービス）

1. 富士通は、会員に対し、インターネット上に開設した会員専用ホームページを通じてサービス対象製品に関する最新情報および Q&A 情報を提供します。

2. 前項におけるサービスの他、富士通は、ソフトウェアのダウンロードサービスなど別途富士通が定めるサービスを会員に対して実施します。なお、当該サービスの詳細内容、および必要な場合はその利用規約等については、別途富士通から通知するものとします。

3. 当該サービスには有料サービスと無料サービスがあり、有料サービスの利用料金については、会員専用ホームページに掲載するとおりとします。なお、会員が当該サービスを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第 5 条（Azby テクニカルセンターによるサポート）

1. 富士通は、会員に対し、電話または E メールにて、以下のサポート（以下「技術サポート」といいます）を提供します。
   (1) サービス対象製品の仕様、利用方法、動作環境に関する質問・相談への対応。
   (2) サービス対象製品の導入支援。
   (3) サービス対象製品が正常に動作しない場合の問題解決のための支援。
2. 技術サポートにおける会員からの問い合わせの受付方法および受付時間については、本会員規約末尾記載のとおりとします。
3. 会員は、技術サポートを利用する場合、サービス対象製品の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容等については、事前に会員の責任においてバックアップをとるものとします。
4. 以下の作業は、技術サポートの対象とならない場合があることを、会員はあらかじめ了承するものとします。
   (1) サービス対象製品以外のハードウェアおよびソフトウェアに対するサポート作業
   (2) サービス対象製品にインストールされているソフトウェアについて、会員が別途バージョンアップ版やアップグレード版等を購入し、バージョンアップやアップグレードを行ったソウトウェアのサポート作業
   (3) 質問に対する作業が、連続的かつ長時間にわたる作業
   (4) 電話または E メールによるサポートが、不可能または不適切と富士通が判断した場合におけるサポート作業
   (5) マニュアルに記載されていないような、通常想定できない使用方法に対するサポート作業
   (6) ハードウェアの故障・修理に関するお問い合わせ
   (7) その他富士通がサポート対象にならないと判断した作業
5. 技術サポートの利用料金（以下「技術サポート料」といいます）については、本会員規約末尾記載のとおりとします。なお、会員が会員専用ホームページおよび E メールにより技術サポートを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。
6. 前項において技術サポート料が有料となる場合、その支払方法は、原則としてクレジットカード（MASTER/VISA/JCB）での支払いとします。ただし、例外として富士通が認めた場合、別途富士通が指定するコンビニエンスストアでの支払いも可能とします。なお、支払方法は一括払いとします。
7. 前項におけるクレジットカードでの支払いの場合、技術サポート料は当該クレジット会社の会員規約において定められている振替日に会員指定の銀行から引き落とされるものとします。また、コンビニエンスストアでの支払いが認められた場合は、会員は、技術サポート料を別途富士通が定める期日までに支払うものとします。なお、当該支払に要する手数料は、会員の負担とします。

第 6 条（AzbyClub ポイントサービス）

1. 富士通は、以下に定める会員に対し、AzbyClub ポイントサービス（以下「ポイントサービス」といいます）を提供します。
   (a) ポイントサービス開始後、富士通が提供するショッピングサイト WEB MART（以下「WEB MART」といいます）で商品を購入した会員
   (b) AzbyClub カードを所有している会員
   (c) その他、富士通が別途通知した会員
2. 会員は、発行された AzbyClub ポイント（以下「ポイント」といいます）を蓄積、消費することにより、WEB MART での商品購入時における割引の適用、AzbyClub で実施する懸賞への応募、景品との交換その他のサービスを利用できます。なお、各サービスの具体的な内容およびポイント消費数等の詳細については、別途定めるものとします。
3. ポイントには、AzbyClub や WEB MART 等での商品購入に伴い発行されるポイント（以下「ショッピングポイント」といいます）と、富士通が提供する各種サービスの利用に伴い発行されるポイント（以下「キャンペーンポイント」といいます）の 2 種類があります。なお、ポイント発行数については、別途各サービス毎に定めるものとします。
4. キャンペーンポイントは、別途定める上限数を超えて蓄積することはできません。
5. ショッピングポイントは、会員が購入した商品が出荷された時点で発行されます。なお、WEB MART において富士通が定める「販売条件」（以下「販売条件」といいます）に基づき会員が当該商品を返品した場合は、当該ポイントは無効となります。
6. 会員が WEB MART での商品購入時に割引の適用を目的としてポイントを消費する場合、当該ポイントの消費は、商品の代金決済が完了した時点で確定するものとします。なお、販売条件に基づき会員が商品を返品した場合は、当該ポイントの消費はなかったものとして扱われます。
7. ポイントの有効期間は、発行から 1 年目の日の属する月の末日までとします。ただし、当該有効期間内にポイントの発行または消費があった場合、会員が保有するすべてのポイントの有効期間は、当該発行または消費のあった日から 1 年目の日の属する月の末日まで、自動的に延長されるものとします。
8. 会員は、ポイントの第三者への譲渡、売買、現金との交換等は一切できないものとします。
9. ポイントの発行および消費は、本会員規約の第 2 条第 1 項に定めるユーザー登録番号およびパスワードにより管理されるものとし、ポイントサービスの利用時に会員がこれらを入力しなかったことにより、ポイントの発行が受けられない、もしくはポイントを消費できずに商品購入時の割引が受けられない等の不利益を被ったとしても、富士通は一切責任を負わないものとします。
10. 会員が、本会員規約の第 11 条（退会）または第 12 条（会員資格の取消等）に基づき、AzbyClub を退会し、または会員資格を取り消された場合、ユーザー登録が抹消された時点で当該会員の保有するすべてのポイントは無効となります。
11. 富士通は、事前に会員に通知することにより、ポイントサービスを終了することがあります。この場合、会員の保有するポイントは、第 7 項にかかわらず、当該ポイントサービスの終了日をもってすべて無効となります。

第 7 条（会員の遵守事項）

1. 会員は、富士通が本サービスを提供するにあたり必要と判断したデータおよび情報等を、富士通に提供するものとします。
2. 会員は、富士通が依頼する問題解決に必要と判断した予防または修正のための作業をすみやかに実施するものとします。
3. 会員は、本会員規約に基づき本サービスを受ける権利につき、第三者に譲渡、再許諾等できないものとします。また、本サービスにより富士通が会員に提供した情報その他著作物は、その会員のみ利用することができるものであり、会員は富士通の書面による事前の承諾なくして、当該情報その他著作物を第三者に利用させないものとします。
4. 会員は、氏名、住所等、富士通への届出内容に変更があった場合は、すみやかにその旨富士通へ届け出るものとします。会員が当該届出を怠った場合、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことがあります。

5. 会員は、サービス対象製品に関する所有権、使用権等を保有する等、サービス対象製品を適法に利用していることを富士通に対し保証するものとします。万が一適法に利用していないことが判明した場合には、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことができるものとします。
6. 会員は、富士通より通知されたユーザー登録番号、パスワードを自己の責任をもって管理するものとし、それらが不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとします。

第８条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本サービスの利用にあたり会員が富士通に登録した情報のうち、当該会員個人を識別できる情報（以下「会員の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
   (1) 本サービスを提供すること。
   (2) 本サービスの向上を目的として、E メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
   (3) 本サービスの向上を目的として、会員における E メールの開封状況、富士通の Web ページの閲覧状況、その他会員における本サービスの利用に関する情報を収集、および分析すること。
   (4) 会員に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、E メール、郵便、電話等により会員へ提供すること。
   (5) 会員の個人情報の取り扱いにつき、個別に会員の同意を得るために、当該会員に対し E メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに当該同意を得た利用目的に利用すること。
   (6)キャンペーン品・モニター品・当選賞品などを会員へ発送すること。
2. 富士通は、会員から AzbyClub ユーザー名の利用申込みがあった場合に限り、ニフティ株式会社の提供するサービスを利用するために、会員の個人情報のうち AzbyClub ユーザー名発行に必要な情報（氏名、住所、電話番号など）を契約に基づきニフティ株式会社に提供します。
   AzbyClub ユーザー名については、付則に記載します。
3. 富士通は、前各項に定める利用目的のために必要な範囲で、会員の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
4. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、会員の個人情報につき、本条に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第９条（サービスの打ち切り）

富士通は、会員への事前の通知により、本サービスの提供の全部または一部を打ち切る場合があることを会員は了承するものとします。

第 10 条（責任の限定）

1. 富士通は、会員が本サービスを利用することにより得た情報等について何らの保証をするものではありません。
2. 本サービスのうち有料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、当該本サービスの利用料金相当額を限度として富士通は賠償責任を負うものとします。ただし、本サービスのうち無料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、富士通は賠償責任を負わないものとします。
3. いかなる場合においても富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益ならびに第三者からの損害賠償請求に基づく損害については、責任を負わないものとします。
4. 本サービスの利用または利用不能により会員が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、第 2 項および前項の規定は適用されないものとします。

第 11 条（退会）

1. 会員が AzbyClub からの退会を希望する場合は、事前に富士通に届け出るものとします。なお、AzbyClub から退会すると、同時にユーザー登録も抹消されます。

第 12 条（会員資格の取消等）

1. 会員が次のいずれかに該当する場合、富士通はその会員資格を取り消し、同時にユーザー登録のすべてを抹消することがあります。
   (1) ユーザー登録時に虚偽の事項が記載されていたことが判明した場合
   (2) 本サービスのうち有料サービスを利用した際に、利用料金の支払を遅滞もしくは拒否した場合
   (3) 本会員規約に違反した場合
   (4) 本サービスの運営を妨げる行為を行った場合
   (5) 他者になりすまして本サービスを利用した場合
   (6) 他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する行為をした場合
   (7) 富士通が事前に承認した場合を除き、本サービスを使用して、営業活動、営利を目的とした利用およびその準備を目的とした利用を行った場合
   (8) その他富士通が不適切と判断した行為を行った場合
2. 前項のいずれかの行為を会員が行ったことにより、富士通が損害を被った場合、富士通は会員に対し当該損害の賠償を請求することがあります。

第 13 条（本サービスの中断）

富士通は、天災地変、労働争議等の不可抗力により本サービスの提供ができない場合、本サービス提供用の設備の保守上または工事上やむをえない場合、その他富士通がその運用上または技術上、本サービスの一時的な中断を必要とした場合には、本サービスの提供を中断することがあることを、会員は了承するものとします。

第 14 条（変更）

富士通は、以下の事項を変更する必要が生じた場合は、会員に対する通知をもって変更できるものとします。

(1) 本会員規約ならびに利用規約等の内容
(2) 本サービスの利用料金
(3) サービス対象製品
(4) 本サービスの内容

第 15 条（通知）

本サービスならびに本会員規約における富士通から会員への通知は、会員専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

会員と富士通の間で、本サービスにつき訴訟を提起する場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

付則

本会員規約は、2011 年 5 月 10 日から改定実施します。

■サービス対象製品（※ 1）

・ESPRIMO（※ 2）
・LIFEBOOK（※ 2）
・FMV-DESKPOWER（※ 3）
・FMV-TEO
・FMV-BIBLO（※ 3）
・FMV-STYLISTIC（※ 4）
・Pocket LOOX（※ 4）
・INTERTOP（※ 4）
・FMV-TOWNS（※ 4）
・ファミリーネットワークステーション（※ 4）
・FMV ステーション（※ 4）
・メディアタンク（※ 4）
・Refreshed PC（※ 4）
・その他、富士通が別途「サービス対象製品」と定める富士通製品

※1：ソフトウェアについては、上記製品にあらかじめインストールされているもののうち、富士通がサポートするもののみが対象となります。その他のソフトウェアのサポート窓口については、製品添付のマニュアルをご確認ください。
※2：以下の条件を満たす製品が対象です。
（1）日本国内において購入された日本国内向け製品
（2）品名が以下のように表記される製品

または、

※3：以下OSがプレインストールされたFMVを除きます。
・Microsoft® Windows® 3.1 Operating System
・Microsoft® Windows® 95 Operating System
・Microsoft® Windows® 98 operating system
・Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION
・Microsoft® Windows® Millennium Edition
※4：本サービスはESPRIMO/LIFEBOOK、FMV-DESKPOWER/TEO/BIBLO シリーズでの利用を基本とさせていただいております。その他の機器での利用に際しては、会員専用ホームページにおけるサービスの利用が一部制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■技術サポートの受付方法、受付時間ならびに利用料

※最新の情報につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。

（1）受付方法および受付時間

	受付方法	受付時間
電話による技術サポート	電話での受付	9時～21時365日（システムメンテナンス日を除く）
	会員専用ホームページによる予約受付	24時間365日（システムメンテナンス日を除く）
メールによる技術サポート	会員専用ホームページによるお問い合わせ受付	

注・受付時間は、サービス対象製品および受付方法により異なる場合があります。詳細につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。また、受付時間内であっても、時間帯により電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

（2）利用料

次の料金表のとおりとします。

① 電話による技術サポートの場合：以下のとおりとします。

期間	技術サポート料
無料期間中（無料期間は下表をご参照ください）	何度でも無料
無料期間終了後	2,000円／件（税込） ただし、AzbyClub カードでのお支払の場合：1,500円／件（税込）

<無料期間>

サービス対象製品のモデル [＊1]	無料期間
2009年冬モデル（2009年10月発表）以降のモデル	初めてパソコンに電源をいれた日（以下「保証開始日」といいます）から1年間
2009年夏モデル（2009年4・6月発表） 2009年春モデル（2008年12月発表）	2011年3月31日まで [＊2]
2008年秋冬モデル（2008年8・11月発表）以前のモデル	2010年5月31日まで [＊2]

＊1：ご使用になっているパソコンのモデルが分からない方は、以下ホームページをご確認ください。
http://azby.fmworld.net/machineselect/seasoncheck/
＊2：無料期間が「保証開始日から1年間」よりも短い場合、無料期間を「保証開始日から1年間」まで延長いたします。

② Eメールによる技術サポートの場合：無料

注・技術サポートの中断（会員規約第 13 条）が生じた場合でも、無料期間は延長されません。
・お問い合わせ件数につきましては、電話された回数とは関係なく、会員からお問い合わせいただいた技術相談 1 項目に対し、富士通が回答したことをもって 1 件とします。なお、富士通は、当該回答後14日以内に限り、当該回答の内容に関する会員からのお問い合わせを受け付けます。この場合、件数は加算されません。1件のお問い合わせの中に複数の技術相談項目が含まれていた場合は、複数件として扱います。
・サービス対象製品を複数台所有しておられる場合、1台でも無料期間内であれば、他のサービス対象製品（Refreshed PC、FMV らくらくパック利用規約に定めるサービス対象製品および FMV らくらくパソコン利用規約に定めるサービス対象製品は除く）についても無料で技術サポートをご利用いただけます。
・富士通 WEB MART、購入相談窓口にて、電話サポートにつき「お問い合わせ初回より有料」を選択してご購入いただいた富士通製品の扱いについて
当該富士通製品に関しましては、サービス対象製品であっても、上記の料金表の電話サポートに関する無料期間は適用されず、お問い合わせ 1 件目より有料（通常 2,000 円／件（税込）、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込））とさせていただきます。

○ Refreshed PCの扱いについて
Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しましては、電話での受付時間は月～金曜日（祝日を除く）の9:00～17:00とします。また、技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話および E メールいずれもお問い合わせ 1 件目より有料（通常2,000円／件（税込)、AzbyClubカードでのお支払の場合1,500円／件（税込））とさせていただきます。

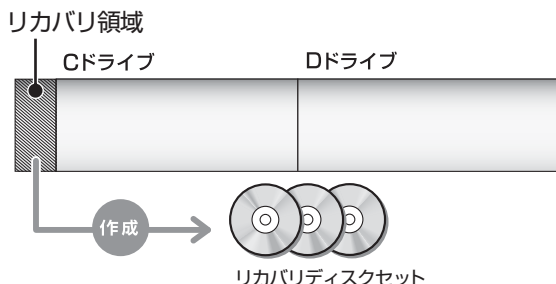
○ FMV らくらくパックおよびFMVらくらくパソコンの扱いについて
FMV らくらくパックおよび FMV らくらくパソコンに関する技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話およびEメールいずれもお問い合わせ1件目より有料（通常2,000円

／件（税込)、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込)）とさせていただきます。

■ AzbyClub ユーザー名について

1. 富士通は、会員が希望する場合、会員に対し、ユーザー登録番号とは別に、AzbyClub ユーザー名およびパスワード（以下あわせて「AzbyClub ユーザー名等」といいます）を無料で発行します。ただし、AzbyClub ユーザー名等の発行にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。なお、AzbyClub ユーザー名等の発行を受けるためには、会員は、ニフティ株式会社が定める@nifty会員規約および個人情報保護ポリシーに同意する必要があります。
2. 会員は、富士通により発行された AzbyClub ユーザー名等を自己の責任をもって管理するものとし、AzbyClub ユーザー名等が不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとします。
3. 会員は、AzbyClub ユーザー名等を使用して、本サービスの他、ニフティ株式会社および富士通が指定するその他の第三者（以下「提携先」といいます）の提供するサービス（以下「提携サービス」といいます）を利用することができます。会員は、提携サービスに関して問い合わせがある場合、当該提携サービスの提供元に対して直接問い合わせるものとします。
4. 会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して提携サービスを利用する場合、会員は、提携先の定める利用規約等に従うものとします。なお、ニフティ株式会社以外が提供する提携サービスの利用に際しては、当該提携サービス提供元の会員規約および個人情報保護ポリシーへの同意が別途必要になる場合があります。
5. 会員が有償の提携サービスを利用した場合、当該有償提携サービスの利用料金は、富士通からではなく、当該有償提携サービスの提供元から請求される場合があります。
6. 提携サービスについて、富士通は、何らの保証も行わないものとします。本サービスの利用を除き、AzbyClub ユーザー名等の利用に関して、富士通は一切の責任を免れるものとし、会員は、提携サービスに起因して損害を被った場合であっても、富士通に対し、一切の請求を行わないものとします。
7. 会員は、富士通所定の方法により届け出ることにより、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除することができます。なお、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除した場合であっても、会員は、本会員規約に基づく会員資格を失わないものとします。
8. 富士通は、以下の場合に、本会員規約に基づく会員資格を失わせることなく、会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを、一時停止または削除することができるものとします。
   （1）会員が提携サービスの利用規約等に基づき当該提携サービスの利用資格を一時停止または取り消された場合。
   （2）会員が提携サービスの利用資格を自ら一時停止し、もしくは取り消した場合。
   （3）その他の理由により富士通が必要と認めた場合。

リカバリディスクセットを作っておく

このパソコンには、トラブルに備えて、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に、ご購入時の C ドライブの中身が保存されています。パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に復元できます。
リカバリ領域のデータを利用できなくなる場合に備え、パソコンご購入後はできるだけ早く、リカバリ領域のデータをディスクにバックアップしてください。

■リカバリディスクセットとは
「バックアップナビ」を使って作成する次のディスクです。
お使いの機種の基本 OS については「仕様一覧」(→ P.183) をご覧ください。

Point

- リカバリディスクセットの作成には長時間かかります。時間に余裕をもって作業をしてください。
  またリカバリディスクセットは購入できます。購入方法については「ディスクが必要な場合」(→ P.129) をご覧ください。

□BD-R で作成した場合

- トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク （64 ビット版）

Point

- BD-R でリカバリディスクセットを作成したり、使用したりできるのは、BDXL™ 対応 Blu-ray Disc 搭載機種および Blu-ray Disc 搭載機種のみです。

□DVD-R で作成した場合
（LIFEBOOK MH30/G を除く）

- トラブル解決ナビディスク
- リカバリデータディスク 1（64 ビット版）
- リカバリデータディスク 2（64 ビット版）
- リカバリデータディスク 3（64 ビット版）[注]
- ソフトウェアディスク 1
- ソフトウェアディスク 2 [注]

注：お使いの機種によっては、ない場合もあります。

□DVD で作成した場合（LIFEBOOK MH30/G）

- トラブル解決ナビディスク
- リカバリデータディスク 1（32 ビット版）
- リカバリデータディスク 2（32 ビット版）
- ソフトウェアディスク 1

リカバリディスクセットを作るうえでの注意

■LIFEBOOK をお使いの方は、AC アダプタを接続してください

■ディスクを用意してください

- お使いになれるディスク
  DVD-R または BD-R です。その他のディスクはお使いになれません。
- 画面の指示に従ってディスクのレーベル面にディスクの内容を記入してからセットします。

■「Roxio Creator」が必要です
「Roxio Creator」はこのパソコンに用意されています。「Roxio Creator」を削除すると、リカバリ領域のデータをディスクに書き込むことができなくなります。

■CD/DVD ドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください
ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM53）」をお勧めします。作成を始める前に接続してください。
ポータブル CD/DVD ドライブでお使いになれるのは DVD-R のみです。

■リカバリデータディスクおよびソフトウェアディスクではパソコンは起動できません

リカバリディスクセットの作成手順

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「バックアップナビ」▶「バックアップナビ」の順にクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

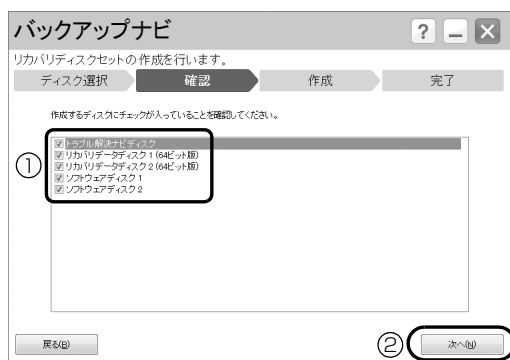
3 「バックアップナビ」の概要をウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。

4 次の画面の操作をします。

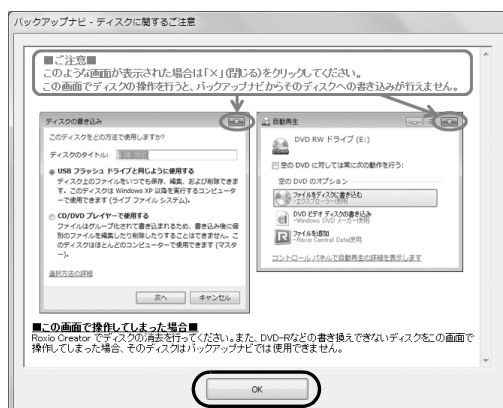
① 「管理」タブをクリックします。
② 「リカバリディスクセット」をクリックします。

5 次の画面の操作をします。

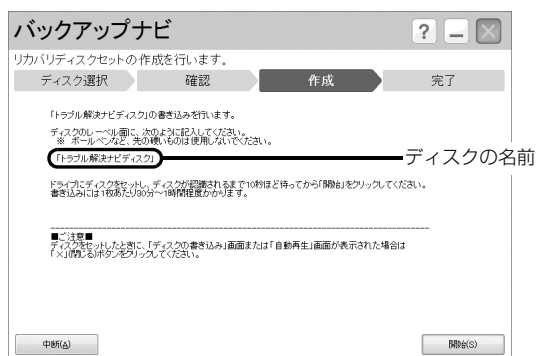
① BDXL™ 対応 Blu-rayDisc 搭載機種および Blu-ray Disc 搭載機種で BD-R をお使いになる場合は、クリックして選択してください。
② 必要なディスクの枚数を確認します。
③ 「次へ」をクリックします。

6 作成するディスクを選択します。

（画面は機種や状況により異なります）

① すべてのディスクにチェックが入っていることを確認してください。ご購入時の状態に戻すリカバリにはすべてのディスクが必要です。
② 「次へ」をクリックします。

7 内容を確認して「OK」をクリックします。

8 「「○○○」の書き込みを行います。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面に○○○と記入します。

○○○は作成するディスクの名前が表示されます。

レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

9 記入したディスクをセットします。

Point

- ディスクをセットしたとき、「自動再生」または「ディスクの書き込み」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の ✕ をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

10 ディスクが認識されるまで10秒ほど待ってから、「開始」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。書き込みが完了すると CD/DVD ドライブが開き、メッセージが表示されます。

■「「○○○」の書き込みを行います。」というメッセージが表示された場合

手順 11 に進んでください。

■「リカバリディスクセットの作成に成功しました。」というメッセージが表示された場合

手順 12 に進んでください。

11 ディスクを取り出して、次に作成するディスクのレーベル面に○○○と記入し、手順 9 に戻ります。

12 ディスクを取り出して、「完了」をクリックします。

手順 4 の画面に戻ります。

これでリカバリディスクセットの作成は完了です。

ハードディスクの領域について

C ドライブと D ドライブの割合を変更する

ESPRIMO DH77/G および ESPRIMO DH70/GN を除く

C ドライブと D ドライブの割合を変更すると、すべてのデータが削除されます。本当に変更が必要か検討してから操作してください。

■注意事項

- データはすべて削除されます
  この操作をすると、ハードディスク内のデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）がすべて削除されます。あらかじめ必要なデータを DVD や外付けのハードディスクなどにバックアップしておいてください。
- 外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください
  外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- NTFS に設定されます
  FAT32 に設定してある場合も、C ドライブ、D ドライブ共に自動で NTFS に変更されます。
- ドライブの容量制限
  C ドライブ、D ドライブ共に 100GB より小さい容量には変更できません。
- 領域設定を変更するときは、必ず「トラブル解決ナビ」をお使いください
  市販のソフトウェアや、Windows 7 の「ディスクの管理」で領域設定を変更してしまうと、「バックアップナビ」の「パソコンの状態」のバックアップや復元、および C ドライブをご購入時の状態に戻すリカバリなどができなくなります。
  この場合は、「リカバリ領域を復元する」（→ P.178）をご覧になり、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。
- D ドライブを少なくしすぎないようにしてください
  D ドライブの容量が少ないと、「バックアップナビ」を使ったバックアップができなくなってしまう場合があります。
- LIFEBOOK をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください

■領域設定の変更手順

1「トラブル解決ナビ」を起動します。

「「トラブル解決ナビ」を起動する」(→ P.136) をご覧ください。

2 次の画面の操作をします。

(アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります)

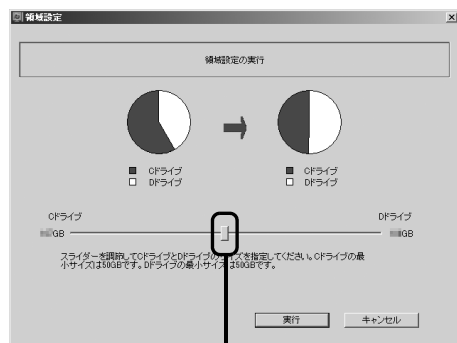
①「ユーティリティ」タブをクリックします。

②「領域設定」をクリックします。

③「実行」をクリックします。

3「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。

4 スライダーを左右にドラッグして、C ドライブと D ドライブの容量を指定します。

(画面は機種や状況により異なります)

5 容量を決めたら、「実行」をクリックします。

6「はい」をクリックします。

ハードディスクの領域が設定されます。

7「完了」をクリックします。

8 この後、C ドライブをご購入時の状態に戻します。

「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」(→ P.130) をご覧ください。

ご購入時に戻すリカバリを実行すると、領域の変更が完了します。

リカバリ領域を削除する

リカバリ領域を削除して、その分ハードディスクの使用できる容量を増やすことができます。

ただしリカバリ領域を削除すると、ハードディスクの C ドライブと D ドライブがご購入時の状態に戻ります。そのためすべてのデータが削除されます。本当にリカバリ領域の削除が必要か検討してから操作してください。

Point

- ESPRIMO DH77/GおよびESPRIMO DH70/GNの場合、Cドライブのみご購入時の状態に戻り、D ドライブのデータは削除されません。

■注意事項

●ハードディスクの内容はすべて削除されます

あらかじめ必要なデータを DVD や外付けのハードディスクなどにバックアップしておいてください。

ESPRIMO DH77/G および ESPRIMO DH70/GN の場合のみ、D ドライブのデータは削除されません。

●リカバリ領域の削除後にはリカバリディスクセットを使ってご購入時の状態に戻すリカバリを行う必要があります

「リカバリディスクセット」を必ず作成してください(→ P.174)。

購入することもできます。購入方法は「ディスクが必要な場合」(→ P.129) をご覧ください。

●外付けハードディスクなどは必ず取り外してください

外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

●CD/DVDドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください

・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM53)」をお勧めします。

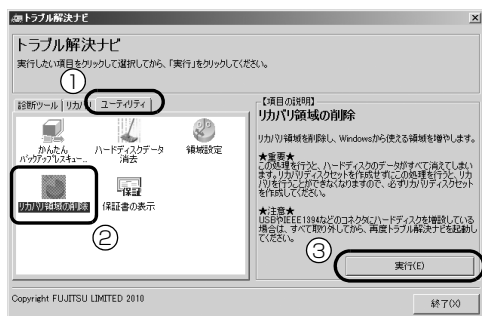
・操作を開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

●LIFEBOOK をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください

■リカバリ領域の削除手順

1 「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」を使って「トラブル解決ナビ」を起動します。

「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.136）の「「トラブル解決ナビディスク」から起動する」をご覧ください。

2 次の画面の操作をします。

（アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります）

①「ユーティリティ」タブをクリックします。

②「リカバリ領域の削除」をクリックします。

③「実行」をクリックします。

ご使用上の注意が表示されます。

3 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックしてにし、「次へ」をクリックします。

「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。

4 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. リカバリディスクセットの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリを実行する

の順に進んでいきます。画面のメッセージに従って操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」と表示されたら手順 5 に進んでください。

5 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

「セットアップする」（→ P.39）をご覧になり、セットアップしてください。ただし、ユーザー登録は再度行う必要はありません。

リカバリ領域を復元する

削除したリカバリ領域を復元するためには「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を行います。リカバリ領域のみ復元することはできません。

「リカバリディスクセット」を用意してください。

重要

- ESPRIMO DH77/G および ESPRIMO DH70/GN の場合でも、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を行うとハードディスクの内容はすべて削除されます。D ドライブの内容もすべて削除されます。

■注意事項

●ハードディスクの内容はすべて削除されます

リカバリ領域を復元するときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。このためハードディスクの内容はすべて削除されます。あらかじめ必要なデータを DVD や外付けのハードディスクなどにバックアップしておいてください。

●「リカバリディスクセット」が必要です

リカバリ領域の復元には、「リカバリディスクセット」が必要です。「リカバリディスクセット」を作成していない場合や、紛失・破損された場合は購入できます。詳しくは「ディスクが必要な場合」（→ P.129）をご覧ください。

●外付けハードディスクなどは必ず取り外してください

外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

●CD/DVDドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブルCD/DVDドライブを用意してください

・ポータブルCD/DVDドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM53）」をお勧めします。

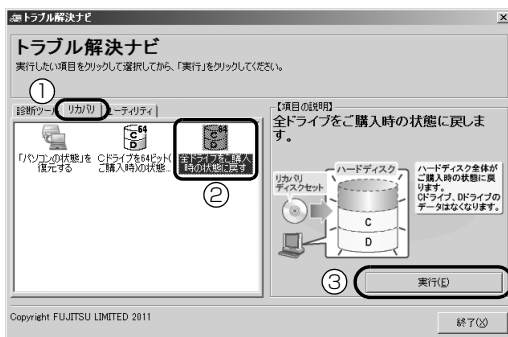
・操作を開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

●LIFEBOOKをお使いの方は、必ずACアダプタを接続してください

■リカバリ領域の復元手順

1 「トラブル解決ナビディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64ビット版）」を使って「トラブル解決ナビ」を起動します。

「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→P.136）の「「トラブル解決ナビディスク」から起動する」をご覧ください。

2 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

①「リカバリ」タブをクリックします。

②「全ドライブをご購入時の状態に戻す」をクリックします。

③「実行」をクリックします。

ご使用上の注意が表示されます。

3 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックしてにし、「次へ」をクリックします。

4 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. リカバリディスクセットの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリ領域にリカバリデータを復元する
4. リカバリを実行する

の順に進んでいきます。画面のメッセージに従って操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」と表示されたら手順5に進んでください。

5 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

「セットアップする」（→P.39）をご覧になり、セットアップしてください。ただし、ユーザー登録は再度行う必要はありません。

インターネットを安心してお使いいただくために

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。
特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ●アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- ●他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ●出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ●暴力残虐画像を集めたサイト
- ●毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。
有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。
「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の 2 つの方法があります。
「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- ●パソコンにフィルタリングの機能をもつソフトウェアをインストールする
- ●インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する

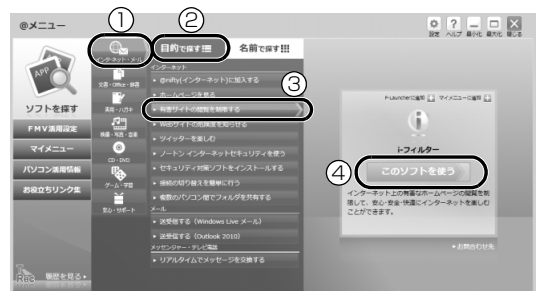
これらのソフトウェアのインストール方法やご利用方法については、それぞれのソフトウェアの説明書またはヘルプをご確認ください。
なお、ソフトウェアやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

■「i - フィルター® 6.0」を使う

このパソコンには、「i -フィルター® 6.0」が用意されています。
ご利用期間 90 日間のお試し版となっていますので、ぜひお試しください。初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。
なお、お試し版を登録するにはメールアドレスが必要です。

1 インターネットに接続します。

2 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「3. ソフトを探す」の順にクリックします。

3 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

①「インターネット・メール」をクリックします。
②「目的で探す」をクリックします。
③「有害サイトの閲覧を制限する」をクリックします。
④「このソフトを使う」をクリックします。

4 **「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。**

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

「有害サイトフィルタリングソフト「i - フィルター 6.0」のご紹介」の画面が表示されます。

5 **「「i - フィルター 6.0」お試し版をインストールする」をクリックします。**

「i - フィルター® 6.0」の使用許諾の画面が表示されます。

この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

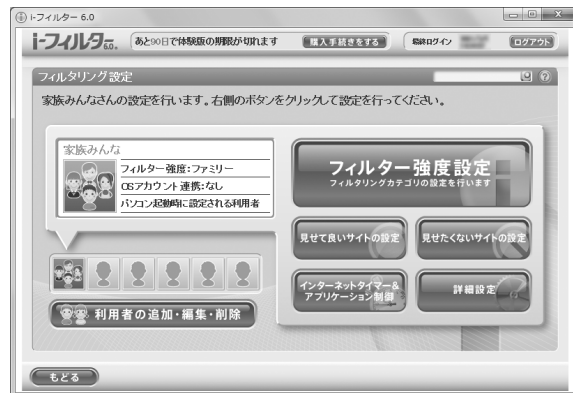
Point

- 次のような画面が表示された場合は、「i - フィルター® 6.0」はインストール済みです。
  「OK」▶「完了」の順にクリックして、画面を閉じてください。

6 **「i - フィルター 6.0」の画面が表示されたら、インターネットに接続していることを確認して、「「i - フィルター 6.0」お試し版を登録する」をクリックします。**

この後は画面の指示に従って登録を進めてください。

登録が完了すると「i - フィルター® 6.0」が利用できるようになります。

次回使うときは、画面右下の通知領域に表示されたアイコンから、設定を行うことができます。

利用開始から 90 日間を超えてご利用になる場合は、継続利用の登録（有償）を行うか、市販のフィルタリングソフトウェアをご購入のうえ、ご利用ください。

［参考情報］

- 社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
- デジタルアーツ株式会社（i-フィルター® 6.0 提供会社）
  「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

インターネットを安心して利用するためのソフトウェアについて

このパソコンには、危険なホームページへのアクセスを警告する、「サイトアドバイザーライブ」が用意されています。「サイトアドバイザーライブ」は、Web ブラウザーや検索エンジンと連動してホームページの安全性を表示したり、「保護モード」によって有害なサイトへの進入を制限したりします。

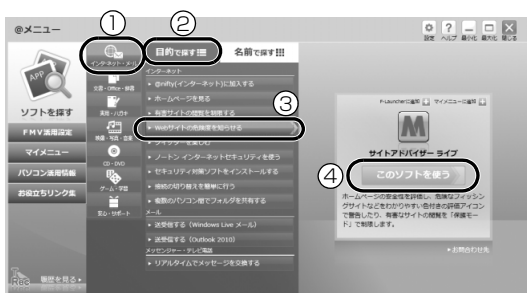
「サイトアドバイザーライブ」を利用するには、ユーザー登録してください。ユーザー登録にはメールアドレスが必要です。

また、利用開始から 30 日間を超えてご利用になる場合は、期間延長の手続き（有償）を行ってください。

初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。

1 **インターネットに接続します。**

2 **（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「3. ソフトを探す」の順にクリックします。**

3 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

①「インターネット・メール」をクリックします。
②「目的で探す」をクリックします。
③「Web サイトの危険度を知らせる」をクリックします。
④「このソフトを使う」をクリックします。

4「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。

5 この後は画面の指示に従ってインストールとユーザー登録を進めてください。

6「Internet Explorer」が起動します。

インストールとユーザー登録が完了すると「Internet Explorer」に「サイトアドバイザーライブ」の緑色のアイコンが追加されます。

11 仕様一覧

パソコン本体の仕様

■FH56/GD

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.191）をご覧ください。

品名			FH56/GD
基本 OS 注1			Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み
CPU			インテル® Core™ i7-2670QM プロセッサー（HT テクノロジー対応）
	動作周波数		2.20GHz （インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 対応：最大 3.10GHz）
	コア数／スレッド数		4 コア／ 8 スレッド
	2 次キャッシュメモリ		256KB × 4（CPU 内蔵）
	3 次キャッシュメモリ		6MB（CPU 内蔵）
システムバス			5.0GT/s DMI 注2
チップセット			モバイル インテル® HM65 Express チップセット
メインメモリ（標準／最大）注3			標準4GB（4GB×1） （デュアルチャネル対応DDR3 SDRAM、PC3-10600対応、CL9）、最大8GB
メモリスロット数（空き）			SO-DIMM スロット× 2（1）
表示機能	グラフィック・アクセラレーター		Intel® HD Graphics 3000（CPU 内蔵）
	ビデオメモリ		最大 1696MB（メインメモリと共用）注4
	液晶ディスプレイ 注5		LEDバックライト付高色純度・高速応答・高解像度液晶20型ワイドTFTカラー （スーパーファインVX液晶）（本体に内蔵）
	表示寸法（幅×高さ）		442 × 249mm
	画素ピッチ		0.276mm
	解像度／表示色注6		最大 1600 × 900 ドット／最大 1677 万色
ハードディスクドライブ注7			約 2TB（Serial ATA、5400 回転／分）
CD/DVD ドライブ			BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）
オーディオ機能			チップセット内蔵 +High Definition Audio コーデック （最大 192kHz ／ 24 ビット注8、ステレオ PCM 同時録音再生機能、 MIDI 再生機能［OS 標準］）
スピーカー／マイク			ステレオスピーカー、デジタルマイク（モノラル）（本体内蔵）注9
Web カメラ			内蔵（有効画素数 約 130 万画素）
入力装置	キーボード		輝度調整機能付ワンタッチボタン付ワイヤレス・キーボード （108 キー、無線方式）（単 3 形乾電池 1 個付属）
	ポインティングデバイス注10		横スクロール機能付ワイヤレス・マウス（レーザー式） （1000CPI、無線方式）（単 3 形乾電池 1 個付属）
	リモコン		リモコン（赤外線方式）（単 4 形乾電池 2 個付属）
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠注11、 Wakeup on LAN 機能対応
	無線 LAN 注12	規格	IEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠、IEEE802.11n準拠（Wi-Fi®準拠）注13
		内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注14
テレビ機能			ハイビジョン・テレビチューナー （地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタル放送）、 ダブル録画、ダブル AVCREC 対応注15

品名		FH56/GD
インターフェース	ダイレクト・メモリースロット注16	SD メモリーカード／メモリースティック対応
	USB 注 17	USB3.0 準拠× 2（左側面× 2） USB2.0 準拠× 4（右側面× 1（電源オフ USB 充電機能付）、背面× 3）
	映像出力	−
	映像入力	−
	キーボード（PS/2）	−
	LAN	RJ-45 × 1
	テレビアンテナ入力／ B-CAS カードスロット	地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子、 B-CAS カードスロット
	オーディオ注 18	マイク・ラインイン兼用端子、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
拡張スロット数（空き）：サイズ		−
電源供給方式		ACアダプタ：入力 AC100〜240V注19、出力 DC19V（6.32A）
消費電力注 20 （通常時／最大時／スリープ時）		約 40W ／約 122W ／約 2.2W
エネルギー消費効率（2011 年度基準）		富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）にある、 製品情報の仕様をご覧ください。
外形寸法（幅×奥行×高さ） （突起部含まず）		約 494 ×約 170 ×約 383mm（本体最小傾斜時） 約 494 ×約 260 ×約 348mm（本体最大傾斜時）
本体質量		約 6.7kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度 10 〜 35 ℃／湿度 20 〜 80%RH（動作時）、 温度 -10 〜 60 ℃／湿度 20 〜 90%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時ともに結露しないこと）
サポート OS 注 21		Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み、 Windows® 7 Professional 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み注 22、 Windows® 7 Ultimate 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み注 22

■FH54/GT

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.191）をご覧ください。

品名			FH54/GT
基本 OS [注1]			Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み
CPU			インテル® CoreTM i3-2350M プロセッサー（HT テクノロジー対応）
	動作周波数		2.30GHz
	コア数／スレッド数		2 コア／ 4 スレッド
	2 次キャッシュメモリ		256KB × 2（CPU 内蔵）
	3 次キャッシュメモリ		3MB（CPU 内蔵）
システムバス			5.0GT/s DMI [注2]
チップセット			モバイル インテル® HM65 Express チップセット
メインメモリ（標準／最大）[注3]			標準4GB（4GB×1） （デュアルチャネル対応DDR3 SDRAM、PC3-10600対応、CL9）、最大8GB
メモリスロット数（空き）			SO-DIMM スロット× 2（1）
表示機能	グラフィック・アクセラレーター		Intel® HD Graphics 3000（CPU 内蔵）
	ビデオメモリ		最大 1696MB（メインメモリと共用）[注4]
	液晶ディスプレイ [注5]		LED バックライト付高色純度・高速応答・高解像度液晶 20 型ワイド TFT カラー （スーパーファイン VX 液晶）（本体に内蔵）
	表示寸法（幅×高さ）		442 × 249mm
	画素ピッチ		0.276mm
	解像度／表示色[注6]		最大 1600 × 900 ドット／最大 1677 万色
ハードディスクドライブ[注7]			約 1TB（Serial ATA、7200 回転／分）
CD/DVD ドライブ			BDXLTM 対応 Blu-ray Disc ドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）
オーディオ機能			チップセット内蔵 +High Definition Audio コーデック （最大 192kHz ／ 24 ビット[注8]、ステレオ PCM 同時録音再生機能、 MIDI 再生機能［OS 標準］）
スピーカー／マイク			ステレオスピーカー、デジタルマイク（モノラル）（本体内蔵）[注9]
Web カメラ			内蔵（有効画素数 約 130 万画素）
入力装置	キーボード		輝度調整機能付ワンタッチボタン付ワイヤレス・キーボード （108 キー、無線方式）（単 3 形乾電池 1 個付属）
	ポインティングデバイス[注10]		横スクロール機能付ワイヤレス・マウス（レーザー式） （1000CPI、無線方式）（単 3 形乾電池 1 個付属）
	リモコン		リモコン（赤外線方式）（単 4 形乾電池 2 個付属）
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠[注11]、 Wakeup on LAN 機能対応
	無線 LAN [注12]	規格	IEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠、IEEE802.11n準拠（Wi-Fi®準拠）[注13]
		内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式[注14]
テレビ機能			ハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送）、ダブル録画[注15]

	品名	FH54/GT
インターフェース	ダイレクト・メモリースロット[注16]	SD メモリーカード／メモリースティック対応
	USB [注17]	USB3.0 準拠× 2（左側面× 2） USB2.0 準拠× 4（右側面× 1（電源オフ USB 充電機能付）、背面× 3）
	映像出力	−
	映像入力	−
	キーボード（PS/2）	−
	LAN	RJ-45 × 1
	テレビアンテナ入力／ B-CAS カードスロット	地上デジタルアンテナ入力端子、B-CAS カードスロット
	オーディオ[注18]	マイク・ラインイン兼用端子、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
拡張スロット数（空き）：サイズ		−
電源供給方式		ACアダプタ：入力 AC100〜240V[注19]、出力 DC19V（5.27A）
消費電力[注20] （通常時／最大時／スリープ時）		約 39W ／約 90W ／約 2.1W
エネルギー消費効率（2011 年度基準）		富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）にある、 製品情報の仕様をご覧ください。
外形寸法（幅×奥行×高さ） （突起部含まず）		約 494 ×約 170 ×約 383mm（本体最小傾斜時） 約 494 ×約 260 ×約 348mm（本体最大傾斜時）
本体質量		約 6.7kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度 10 〜 35 ℃／湿度 20 〜 80%RH（動作時）、 温度 -10 〜 60 ℃／湿度 20 〜 90%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時ともに結露しないこと）
サポート OS [注21]		Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み、 Windows® 7 Professional 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み[注22]、 Windows® 7 Ultimate 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み[注22]

■FH55/GN

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★　ご購入時に選択したものをご覧ください。

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.191)をご覧ください。

品名		FH55/GN	
基本 OS 注1		Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み	
CPU ★		インテル® Core™ i7-2670QM プロセッサー(HT テクノロジー対応)	インテル® Core™ i5-2450M プロセッサー(HT テクノロジー対応)
	動作周波数	2.20GHz (インテル® ターボ・ブースト・ テクノロジー 2.0対応:最大3.10GHz)	2.50GHz (インテル® ターボ・ブースト・ テクノロジー 2.0対応:最大3.10GHz)
	コア数/スレッド数	4 コア/ 8 スレッド	2 コア/ 4 スレッド
	2 次キャッシュメモリ	256KB × 4(CPU 内蔵)	256KB × 2(CPU 内蔵)
	3 次キャッシュメモリ	6MB(CPU 内蔵)	3MB(CPU 内蔵)
システムバス		5.0GT/s DMI 注2	
チップセット		モバイル インテル® HM65 Express チップセット	
メインメモリ(標準/最大)注3 ★		標準 4GB(4GB × 1)/標準 8GB(4GB × 2) (デュアルチャネル対応 DDR3 SDRAM、PC3-10600対応、CL9)、最大8GB	
メモリスロット数(空き)★		SO-DIMM スロット× 2(1)/ 2(0)	
表示機能	グラフィック・アクセラレーター	Intel®HD Graphics 3000(CPU 内蔵)	
	ビデオメモリ	最大 1696MB(メインメモリと共用)注4	
	液晶ディスプレイ注5	LEDバックライト付高色純度・高速応答・高解像度液晶20型ワイドTFTカラー (スーパーファインVX液晶)(本体に内蔵)	
	表示寸法(幅×高さ)	442 × 249mm	
	画素ピッチ	0.276mm	
	解像度/表示色注6	最大 1600 × 900 ドット/最大 1677 万色	
ハードディスクドライブ注7 ★		約 1TB(Serial ATA、7200 回転/分)、 約 2TB (Serial ATA、5400 回転/分)	
CD/DVD ドライブ		BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ(スーパーマルチドライブ機能対応)	
オーディオ機能		チップセット内蔵 +High Definition Audio コーデック (最大 192kHz / 24 ビット注8 ステレオ PCM 同時録音再生機能、 MIDI 再生機能[OS 標準])	
スピーカー/マイク		ステレオスピーカー、デジタルマイク(モノラル)(本体内蔵)注9	
Web カメラ		内蔵(有効画素数 約 130 万画素)	
入力装置	キーボード	輝度調整機能付ワンタッチボタン付ワイヤレス・キーボード (108 キー、無線方式)(単 3 形乾電池 1 個付属)	
	ポインティングデバイス注10	横スクロール機能付ワイヤレス・マウス(レーザー式) (1000CPI、無線方式)(単 3 形乾電池 1 個付属)	
	リモコン	リモコン(赤外線方式)(単 4 形乾電池 2 個付属)	

<table>
<tr><th colspan="3">品名</th><th colspan="2">FH55/GN</th></tr>
<tr><td rowspan="3">通信機能</td><td colspan="2">LAN</td><td colspan="2">1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠[注11]、
Wakeup on LAN 機能対応</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無線 LAN[注12]★</td><td>規格</td><td colspan="2">なし／
IEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠、IEEE802.11n準拠（Wi-Fi®準拠）[注13]</td></tr>
<tr><td>内蔵アンテナ</td><td colspan="2">なし／ダイバーシティ方式[注14]</td></tr>
<tr><td colspan="3">テレビ機能</td><td colspan="2">ハイビジョン・テレビチューナー
（地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタル放送）、
ダブル録画、ダブル AVCREC 対応[注15]</td></tr>
<tr><td rowspan="9">インターフェース</td><td colspan="2">ダイレクト・メモリースロット[注16]</td><td colspan="2">SD メモリーカード／メモリースティック対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB[注17]</td><td colspan="2">USB3.0 準拠× 2（左側面× 2）
USB2.0 準拠× 4（右側面× 1（電源オフ USB 充電機能付）、背面× 3）</td></tr>
<tr><td colspan="2">映像出力</td><td colspan="2">−</td></tr>
<tr><td colspan="2">映像入力</td><td colspan="2">−</td></tr>
<tr><td colspan="2">キーボード（PS/2）</td><td colspan="2">−</td></tr>
<tr><td colspan="2">LAN</td><td colspan="2">RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">テレビアンテナ入力／
B-CAS カードスロット</td><td colspan="2">地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子、
B-CAS カードスロット</td></tr>
<tr><td colspan="2">オーディオ[注18]</td><td colspan="2">マイク・ラインイン兼用端子、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子</td></tr>
<tr><td colspan="3">拡張スロット数（空き）：サイズ</td><td colspan="2">−</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源供給方式★</td><td>ACアダプタ：入力 AC100〜240V[注19]、
出力 DC19V（6.32A）</td><td>ACアダプタ：入力 AC100〜240V[注19]、
出力 DC19V（5.27A）</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力[注20]
（通常時／最大時／スリープ時）</td><td>約 39W ／約 124W ／約 2.1W</td><td>約 39W ／約 124W ／約 2.2W</td></tr>
<tr><td colspan="3">エネルギー消費効率（2011 年度基準）</td><td colspan="2">富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）にある、
製品情報の仕様をご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法（幅×奥行×高さ）
（突起部含まず）</td><td colspan="2">約 494 ×約 170 ×約 383mm（本体最小傾斜時）
約 494 ×約 260 ×約 348mm（本体最大傾斜時）</td></tr>
<tr><td colspan="3">本体質量</td><td colspan="2">約 6.7kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">盗難防止用ロック取り付け穴</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="3">温湿度条件</td><td colspan="2">温度 10 〜 35 ℃／湿度 20 〜 80%RH（動作時）、
温度 -10 〜 60 ℃／湿度 20 〜 90%RH（非動作時）
（ただし、動作時、非動作時ともに結露しないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="3">サポート OS[注21]</td><td colspan="2">Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み、
Windows® 7 Professional 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み[注22]、
Windows® 7 Ultimate 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み[注22]</td></tr>
</table>

■FH50/GN

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★　ご購入時に選択したものをご覧ください。

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.191）をご覧ください。

品名		FH50/GN		
基本 OS[注1]		Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み		
CPU ★		インテル® Core™ i5-2450M プロセッサー（HT テクノロジー対応）	インテル® Core™ i3-2350M プロセッサー（HT テクノロジー対応）	インテル® Pentium® プロセッサー B960
	動作周波数	2.50GHz（インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 対応：最大 3.10GHz）	2.30GHz	2.20GHz
	コア数／スレッド数	2 コア／ 4 スレッド		2 コア／ 2 スレッド
	2 次キャッシュメモリ	256KB × 2（CPU 内蔵）		
	3 次キャッシュメモリ	3MB（CPU 内蔵）		2MB（CPU 内蔵）
システムバス		5.0GT/s DMI[注2]		
チップセット		モバイル インテル® HM65 Express チップセット		
メインメモリ（標準／最大）[注3] ★		標準4GB（4GB×1）／標準8GB（4GB×2）（デュアルチャネル対応 DDR3 SDRAM、PC3-10600対応、CL9)、最大8GB		
メモリスロット数（空き）★		SO-DIMM スロット× 2（1）／ 2（0）		
表示機能	グラフィック・アクセラレーター★	Intel® HD Graphics 3000（CPU 内蔵）		Intel® HD Graphics（CPU 内蔵）
	ビデオメモリ	最大 1696MB（メインメモリと共用）[注4]		
	液晶ディスプレイ[注5]	LED バックライト付高色純度・高速応答・高解像度液晶 20 型ワイド TFT カラー（スーパーファイン VX 液晶）（本体に内蔵）		
	表示寸法（幅×高さ）	442 × 249mm		
	画素ピッチ	0.276mm		
	解像度／表示色[注6]	最大 1600 × 900 ドット／最大 1677 万色		
ハードディスクドライブ[注7] ★		約 500GB ／約 1TB（Serial ATA、7200 回転／分）、約 2TB（Serial ATA、5400 回転／分）		
CD/DVD ドライブ★		BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）／スーパーマルチドライブ（DVD ± R DL（2 層）書き込み対応）		スーパーマルチドライブ（DVD ± R DL（2 層）書き込み対応）
オーディオ機能		チップセット内蔵 +High Definition Audio コーデック（最大192kHz／24ビット[注8] ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能［OS標準］）		
スピーカー／マイク		ステレオスピーカー、デジタルマイク（モノラル）（本体内蔵）[注9]		
Web カメラ		内蔵（有効画素数 約 130 万画素）		
入力装置	キーボード	輝度調整機能付ワンタッチボタン付ワイヤレス・キーボード（108 キー、無線方式）（単 3 形乾電池 1 個付属）		
	ポインティングデバイス[注10]	横スクロール機能付ワイヤレス・マウス（レーザー式）（1000CPI、無線方式）（単 3 形乾電池 1 個付属）		
	リモコン★	テレビチューナー搭載機種の場合：リモコン（赤外線方式）（単 4形乾電池 2 個付属） テレビチューナー非搭載機種の場合：なし		

<table>
<tr><th colspan="3">品名</th><th colspan="3">FH50/GN</th></tr>
<tr><td rowspan="3">通信機能</td><td colspan="2">LAN</td><td colspan="3">1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠[注11]、
Wakeup on LAN 機能対応</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無線 LAN [注12] ★</td><td>規格</td><td colspan="3">なし／
IEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠、IEEE802.11n準拠（Wi-Fi®準拠）[注13]</td></tr>
<tr><td>内蔵アンテナ</td><td colspan="3">なし／ダイバーシティ方式[注14]</td></tr>
<tr><td colspan="3">テレビ機能★</td><td colspan="3">テレビチューナー搭載機種の場合：ハイビジョン・テレビチューナー
（地上デジタル放送）、ダブル録画[注15]
テレビチューナー非搭載機種の場合：なし</td></tr>
<tr><td rowspan="9">インターフェース</td><td colspan="2">ダイレクト・メモリースロット[注16]</td><td colspan="3">SD メモリーカード／メモリースティック対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB [注17]</td><td colspan="3">USB3.0 準拠× 2（左側面× 2）
USB2.0 準拠× 4（右側面× 1（電源オフ USB 充電機能付）、背面× 3）</td></tr>
<tr><td colspan="2">映像出力</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td colspan="2">映像入力</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td colspan="2">キーボード（PS/2）</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td colspan="2">LAN</td><td colspan="3">RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">テレビアンテナ入力／
B-CAS カードスロット★</td><td colspan="3">テレビチューナー搭載機種の場合：地上デジタルアンテナ入力端子、
B-CAS カードスロット
テレビチューナー非搭載機種の場合：なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">オーディオ[注18]</td><td colspan="3">マイク・ラインイン兼用端子、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子</td></tr>
<tr><td colspan="3">拡張スロット数（空き）：サイズ</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源供給方式</td><td colspan="3">AC アダプタ：入力 AC100 ～ 240V [注19]、出力 DC19V（5.27A）</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力[注20]
（通常時／最大時／スリープ時）</td><td>テレビチューナー搭載機種の場合
BDXL™対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種：
約38W／約105W／約2.1W
スーパーマルチドライブ搭載機種：
約38W／約105W／約2.2W
テレビチューナー非搭載機種の場合
BDXL™対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種：
約37W／約103W／約2.1W
スーパーマルチドライブ搭載機種：
約39W／約102W／約2.1W</td><td>テレビチューナー搭載機種の場合：
約38W／約105W／約2.1W
テレビチューナー非搭載機種の場合
BDXL™対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種：
約36W／約103W／約2.1W
スーパーマルチドライブ搭載機種：
約36W／約102W／約2.1W</td><td>テレビチューナー搭載機種の場合：
約38W／約85W／約2.1W
テレビチューナー非搭載機種の場合：
約36W／約83W／約2.1W</td></tr>
<tr><td colspan="3">エネルギー消費効率（2011年度基準）</td><td colspan="3">富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）にある、
製品情報の仕様をご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法（幅×奥行×高さ）
（突起部含まず）</td><td colspan="3">約 494 ×約 170 ×約 383mm（本体最小傾斜時）
約 494 ×約 260 ×約 348mm（本体最大傾斜時）</td></tr>
<tr><td colspan="3">本体質量</td><td colspan="3">約 6.7kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">盗難防止用ロック取り付け穴</td><td colspan="3">あり</td></tr>
<tr><td colspan="3">温湿度条件</td><td colspan="3">温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、
温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）
（ただし、動作時、非動作時ともに結露しないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="3">サポート OS [注21]</td><td colspan="3">Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み、
Windows® 7 Professional 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み[注22]、
Windows® 7 Ultimate 64 ビット 正規版 Service Pack 1 適用済み[注22]</td></tr>
</table>

仕様一覧の注記について

注１　日本語版です。
注２　DMIはDirect Media Interfaceの略です。
注３　パリティチェック機能はありません。
注４　・Intel® Dynamic Video Memory Technology（Intel® DVMT）を使用しており、パソコンの動作状況によりビデオメモリ容量が最大設定まで自動的に変化します。
・ビデオメモリの容量を任意に変更することはできません。
・ディスプレイドライバーの更新により、ビデオメモリ容量の最大値が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。
・ビデオメモリの最大値は、メインメモリの搭載状況により異なります。
注５　・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・このパソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色ムラが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが、故障ではありません。残像は、しばらくたつと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・表示する条件によっては、ムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが、故障ではありません。
注６　グラフィック･アクセラレーターの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって擬似的に表示されます。
注７　・「NTFS」を採用しています。また、Windows RE 領域とリカバリ領域に約 20GB 使用しています。残りの容量を C ドライブ、D ドライブにそれぞれ約 50% ずつ割り当てています。そのため、「コンピューター」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 20GB 少なく表示されます。なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「トラブル解決ナビ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。
・このマニュアルに記載のディスク容量は、$1MB=1000^2$byte、$1GB=1000^3$byte、$1TB=1000^4$byte 換算によるものです。
Windows 上で $1MB=1024^2$byte、$1GB=1024^3$byte、$1TB=1024^4$byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。
注８　再生時。録音時は最大 96kHz ／ 16 ビットです。なお、使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。
注９　デジタルマイクの音声は、スピーカーおよびヘッドホン・ラインアウト兼用端子から直接出力できません。
注 10　操作面の状態によっては正しく動作しない場合があります。また、スクロール機能は使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できない場合があります。
注 11　・1000Mbps は 1000BASE-T の理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。
・1000Mbpsの通信を行うためには、1000BASE-Tに対応したハブが必要となります。また、LANケーブルには、1000BASE-Tに対応したエンハンスドカテゴリ５（カテゴリ5E）以上のLAN ケーブルを使用してください。
注 12　無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。
Web『補足情報』
注 13　Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
注 14　IEEE802.11n 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。
注 15　同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応していません。

注 16 ・SD メモリーカード（SDHC、SDXC カードを含む）、メモリースティック（メモリースティック PRO を含む）の同時使用はできません。
・miniSDカード、microSDカード、microSDHCカード、メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duo、メモリースティックPRO-HG Duo、メモリースティックマイクロの場合、別途、専用のアダプターが必要となります。
・すべてのSDメモリーカード（SDHC、SDXCカードを含む）、メモリースティック（メモリースティックPROを含む）の動作を保証するものではありません。SDIOカード、マルチメディアカード（MMC）、およびセキュアマルチメディアカードには対応しておりません。
・メモリースティック（メモリースティック PRO を含む）は著作権保護機能が使用されているデータの読み書きはできません。
・メモリースティック／メモリースティック PRO の４ビットパラレルデータ転送に対応しております。
・メモリースティック PRO-HG Duo をご使用になる場合、４ビットパラレルでの転送になります。
・SD メモリーカード（SDHC、SDXC カードを含む）は著作権保護機能（CPRM）が使用されているデータの読み書きに対応しています。

注 17 USB1.1 対応の周辺機器も利用できます。USB2.0 または、USB3.0 で動作するには、対応の周辺機器が必要です。
また、すべての USB 対応機器の動作を保証するものではありません。

注 18 ・ご購入時の設定では、マイク・ラインイン兼用端子はマイク端子に設定されています。
・OS 上で設定を変更することにより、ラインイン端子として使用することもできます。なお、仕様は次のとおりとなります。
φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
マイク端子として使用する場合の入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1kΩ 以上（DC）2kΩ 以上
ラインイン端子として使用する場合の入力：1V 以下、入力インピーダンス 10kΩ 以上
・ご購入時の設定では、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子はヘッドホン端子に設定されています。
・OS 上で設定を変更することにより、ラインアウト端子として使用することもできます。なお、仕様は次のとおりとなります。
φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
ヘッドホン端子として使用する場合の出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω
ラインアウト端子として使用する場合の出力：1V 以上、負荷インピーダンス 10kΩ 以上

注 19 ・標準添付されている電源ケーブルは AC100V（国内専用）です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続すると、故障する場合があります。
・入力波形は正弦波のみサポート。

注 20 ・周辺機器の接続なしで、OS を起動させた状態の測定値です。
・電源オフ時の消費電力は、次のとおりです。なお、電源オフ時のエネルギー消費を回避するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
FH56/GDの場合：約1.8W以下
FH55/GN（インテル® Core™ i7-2670QMプロセッサー搭載）の場合：約1.5W以下
FH54/GT、FH55/GN（インテル® Core™ i5-2450Mプロセッサー搭載）、FH50/GNの場合：約1.6W以下

注 21 ・日本語版です。
・富士通は本製品で「サポート OS」を動作させるために必要な BIOS およびドライバーを提供しますが、すべての機能を保証するものではありません。

注 22 Windows® XP Mode のサポートは行っておりません。

その他の仕様

CD/DVD ドライブ

・各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。
・Blu-ray Disc の再生には CPU などのハードウェア性能の関係で動画や音声をスムーズに再生できず、コマ落ちや音途切れが発生する場合があります。また、使用する Blu-ray Disc、DVD のタイトルによってもコマ落ちや音途切れが発生するものや再生できないタイトルがあります。
・ディスクによってはご利用になれない場合もあります。
・書き込み、書き換え速度は、ドライブの性能値です。書き込み、書き換え速度に対応したディスクが必要になりますが、対応ディスクが販売されていない場合があります。
・読み出し、書き込み速度は、ディスクや動作環境によって異なる場合があります。
・DVD-R は、DVD-R for General Ver.2.0/2.1 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
・DVD-RAM はカートリッジから取り出した状態あるいはカートリッジなしでご使用ください。
・DVD-R DL は、DVD-R for DL Ver.3.0 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
　ただし、追記には未対応です。追記モードで記録された DVD-R DL の読み出しは保証していません。
・Ultra Speed CD-RW ディスクはご使用になれません。
・BD-RE Ver1.0 ディスクには対応しておりません。

ドライブ		BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）	スーパーマルチドライブ（DVD ± R DL（2 層）書き込み対応）
読み出し	CD-ROM	最大 24 倍速	最大 24 倍速
	CD-R	最大 24 倍速	最大 24 倍速
	CD-RW	最大 24 倍速	最大 24 倍速
	DVD-ROM	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD-R	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD+R	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD-RW	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD+RW	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD-RAM	最大 5 倍速	最大 5 倍速
	DVD-RAM2	−	−
	DVD-R DL（2 層）	最大 6 倍速	最大 8 倍速
	DVD+R DL（2 層）	最大 6 倍速	最大 8 倍速
	BD-ROM	最大 6 倍速	−
	BD-R	最大 6 倍速	−
	BD-R DL（2 層）	最大 6 倍速	−
	BD-R XL（3 層）	最大 4 倍速	−
	BD-RE	最大 5 倍速	−
	BD-RE DL（2 層）	最大 5 倍速	−
	BD-RE XL（3 層）	最大 2 倍速	−
書き込み／書き換え	CD-R	最大 24 倍速	最大 24 倍速
	CD-RW	最大 10 倍速	最大 10 倍速
	DVD-R	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD+R	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD-RW	最大 6 倍速	最大 6 倍速
	DVD+RW	最大 8 倍速	最大 8 倍速
	DVD-RAM	最大 5 倍速	最大 5 倍速
	DVD-RAM2	−	−
	DVD-R DL（2 層）	最大 6 倍速	最大 6 倍速
	DVD+R DL（2 層）	最大 6 倍速	最大 6 倍速
	BD-R	最大 6 倍速	−
	BD-R DL（2 層）	最大 6 倍速	−
	BD-R XL（3 層）	最大 4 倍速	−
	BD-RE	最大 2 倍速	−
	BD-RE DL（2 層）	最大 2 倍速	−
	BD-RE XL（3 層）	最大 2 倍速	−

スピーカー

方式	バスレフ型
スピーカーユニット	（口径：20（mm）× 2 個）× 2 インピーダンス 4Ω
定格入力	2W/ch
出力音圧レベル	77 ± 3dB/W（1m）
再生周波数	320Hz ～ 20kHz

テレビ機能

地上・BS・110 度 CS デジタルテレビチューナー搭載機種の場合

コネクタ	アンテナ入力端子：F 型コネクタ× 1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75ΩF 型コネクタ
BS アンテナ電源供給	右旋円偏波時：DC15V、最大 4W
受信周波数	地上デジタル：90 ～ 770MHz BS・110 度 CS デジタル：1032 ～ 2071MHz

地上デジタルテレビチューナー搭載機種の場合

コネクタ	アンテナ入力端子：F 型コネクタ× 1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75ΩF 型コネクタ
受信周波数	地上デジタル：90 ～ 770MHz

リモコン

通信方式		赤外線方式
使用可能距離		正面で約 7m
乾電池の寿命の目安		約 6ヶ月
使用可能範囲	水平	左：約 30°／右：約 30°
	垂直	上：約 30°／下：約 30°
使用電池		単 4 形乾電池 2 本

キーボード

キー配列	108 キー（テンキー付）＋ワンタッチボタン（3 個）＋音量調節ボタン（3 個）＋輝度調整ボタン（2 個）＋パソコン電源ボタン
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度 （ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 1 本または 充電式ニッケル水素電池（単 3 形）1 本
電池の寿命の目安	毎日 3.5 時間の使用で約 6ヶ月 （ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります）
外形寸法（W × D × H）	約 392mm ×約 149mm ×約 23mm（チルト未使用時）
質量	約 530g（電池含まず）

マウス

セレクトスイッチ動作形式	2 押ボタン、1 ホイール（左右チルト動作付）
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度 （ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 1 本または 充電式ニッケル水素電池（単 3 形）1 本
電池の寿命の目安	毎日 3.5 時間の使用で約 3ヶ月 （ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります）
外形寸法（W × D × H）	約 55mm × 約 100mm × 約 35mm
質量	約 57g（電池含まず）

ESPRIMO　FH シリーズ

取扱説明書

B6FJ-7901-01-01

発 行 日　　2012 年 1 月
発行責任　　富士通株式会社

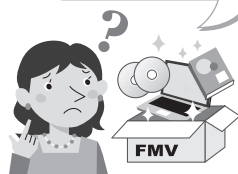
〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

㋐1202-1

■ 富士通の有料サービスのご案内

パソコン操作に困ったら、**お電話**ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します！

富士通パソコン出張サービス
PC家庭教師
（有料）

セットアップって
むずかしそう…
やってくれないかな。

パソコンはじめてパック

めんどうなパソコンのセットアップは、お任せください！

13,900円（税込）～

ウイルス感染!?
うちに来て、
みてほしい。

かけつけ診断

原因がわからないトラブルもプロが解決に導きます！

9,800円（税込）～※

デジカメの写真、
どうやって
プリントするの？

教えてパソコンレッスン

お客様の「したい」ことを丁寧にご説明します！

17,800円（税込）～

※診断の結果、必要なリカバリ等の作業が発生した場合、別途費用が発生します。

通話料無料

0120-37-2794（みんな つなぐよ）

■ 受付時間：10時～19時　■ 訪問時間：10時～20時　（有料サービス）

※携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

「PC家庭教師」は有料の出張サービスです。電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（本書の「付録」を参照）へお問い合わせください。

「PC家庭教師」のほかにも、富士通の有料サービス「AzbyClubバリューplus」では、多彩なメニューをご用意。
詳しくはホームページをご覧ください。

例 ●24時間営業の電話相談サービス ●3年間メーカー延長保証サービス　など

富士通 バリューplus　検索